GX

GX550

LEXUS



新たなアウトドア体験へ誘うザ・プレミアム・オフローダー、GX誕生。

常にイノベーティブな精神を貫いているLEXUSの次なる挑戦は、雄大であればあるほど厳しさを増すアウトドアにおいても、
愛車とともに楽しく豊かなときを過ごす、そんな心高まる体験を可能とすること。
岩場や水路などでのすぐれた悪路走破性、舗装路での、本格オフローダーでありながらリニアなステアリング応答性…。
オフロードでもオンロードでも、洗練されたLEXUSならではの乗り味を堪能できます。
オンからオフまでシーンを選ばず、あらゆる道を走破し、新たな体験を提供する本格オフローダー。
GXの魅力を、ぜひご体感ください。

CONTENTS PAGE

FEATURES 01-05
DRIVING 06-24
DESIGN 25-42
TECHNOLOGY 43-71
COMFORT 72-90
OVERTRAIL+ 91-93
INFORMATION 94-107

GXの主な特長

POINT1：シーンや道を選ばない走りの追求



世界中のあらゆる道を走り込んで鍛えた、
オフロードにおける上質な乗り味と
「Lexus Driving Signature」に基づく
オンロード性能の両立

POINT2：冒険心を呼び覚ます機能美



高い悪路走破性を実現するパッケージングを
モダンで洗練されたデザインに昇華した、
本格オフローダーの新たなるスタイル

POINT3：過酷な環境でも心からやすらげる室内



あらゆる環境下でも素の自分に戻れる
快適で安心感をもたらす室内空間

POINT4：自然をリスペクトし楽しむ思想から誕生



オフロード性能を徹底的に追求することで、
OVERTRAILプロジェクトのヒトと自然と
モビリティの共生を体現する
GX550“OVERTRAIL+”

※画像は一部実際の仕様と異なります。

存続の危機を乗り越え、
本格オフローダーの道を選びました。
コンセプトは“The Premium Off-roader”。

— GX Behind Story 1 —



2002年、初代GX470は、LXとRXの間に位置する、
高い走破性と上質なインテリアを両立したボディオンフレーム構造のSUVとして、
北米市場をメインとする海外専用車としてデビューしました。

2代目GX460も基本的にそのコンセプトを踏襲、
V8エンジンを搭載しながら比較的リーズナブルな価格もあり、
オフロードで使われる方もいらっしゃいましたが、
お子様の送り迎えといったファミリーユースでの3列SUVとしての用途が多かったのが事実です。
海外専用でより大型の3列SUV（TX）の企画が進むなか、
GXは、存続の危機を迎えていたのです。

そんな状況を大きく変えたのが、1枚のデザインスケッチ。
水素エンジンのROV CONCEPTと共に描かれたそのデザインは
新世代LEXUSの「スピンドルボディ」の考えを導入しつつ、これまでのLEXUSにはなかった
オフローダーとしての無骨さとLEXUSらしい洗練性をあわせ持ち、
見た瞬間にあらゆる関係者を魅了するものでした。

国内導入が決まったのもまさにこの頃です。
ライフスタイルの多様化が進み、アウトドア志向のお客さまや
無骨なデザインを好む方々への対応を本格的に始めようとしていたLEXUSにとって
GXはまさにぴったりのソリューションとなったのです。

こうして2代目までとはポジションを異にする
“本格オフローダー”としての3代目GXの開発がスタートしました。

キースケッチそのままのデザインで、LEXUSならではの“本物”を作り上げました。

ー GX Behind Story 2 ー



まず決めたのはボディオンフレームであること。
そして本格オフローダーに相応しいパッケージングにするために、
LXで受け継いできた、悪路走破性と居住性の両立を実現する
“黄金比”ホイールベース2,850mmをGXでも採用しました。
クルマとしての素性を刷新したGA-Fプラットフォームは、
短いオーバーハングを実現するためにGX専用のモディファイを施しました。

もちろんLEXUSのクルマである以上、「対話のできる走り」は欠かせません。
ラジエーターサポートまわりの補強やステアリング支持剛性のUP、
リヤのボディのブレースなどでボディの体幹をしっかりと鍛え、オンロードでの乗り味も追求、
フレーム車とは思えないほどの素直な操舵応答と扱いやすさを獲得しています。

また、GXは「人と自然とモビリティの共生」を掲げる
LEXUS Overtrail Projectをけん引するモデルでもあります。

カーボンニュートラルにしっかり取り組むことはもちろん、オフローダーとして
アウトドアやオーバーランディングにおいて最も大事なことは、
自然を壊さずに安心して自然に入り、そして無事に帰って来られること。
鍛え上げたオフロード性能はそのためにあるのです。

“安心”という意味ではドライバーの負担軽減も重要。
悪路での視界の良さや路面からのショックをいなす
足回りのセッティングなどが大きな効果をもたらします。

よりオフロードに特化したGX550“OVERTRAIL＋”も設定しました。
オフロード走行を念頭においたエクステリアや専用のカラーリング、
E-KDSSや進化したマルチテレインセレクトなど、
数々の専用装備を搭載し、オーナーの冒険心をさらに掻き立てる仕様としています。

デザインに、走りに、オフロードでも、オンロードでも、
レクサスらしさが息づく本格オフローダーが誕生しました。
ぜひともGXの魅力をご体感いただきたいと思います。

クルマと道と対話しながら、
オフロードもオンロードも走破する。



本格オフローダーの走りの進化。
LEXUSは、GXで世界を驚かせます。

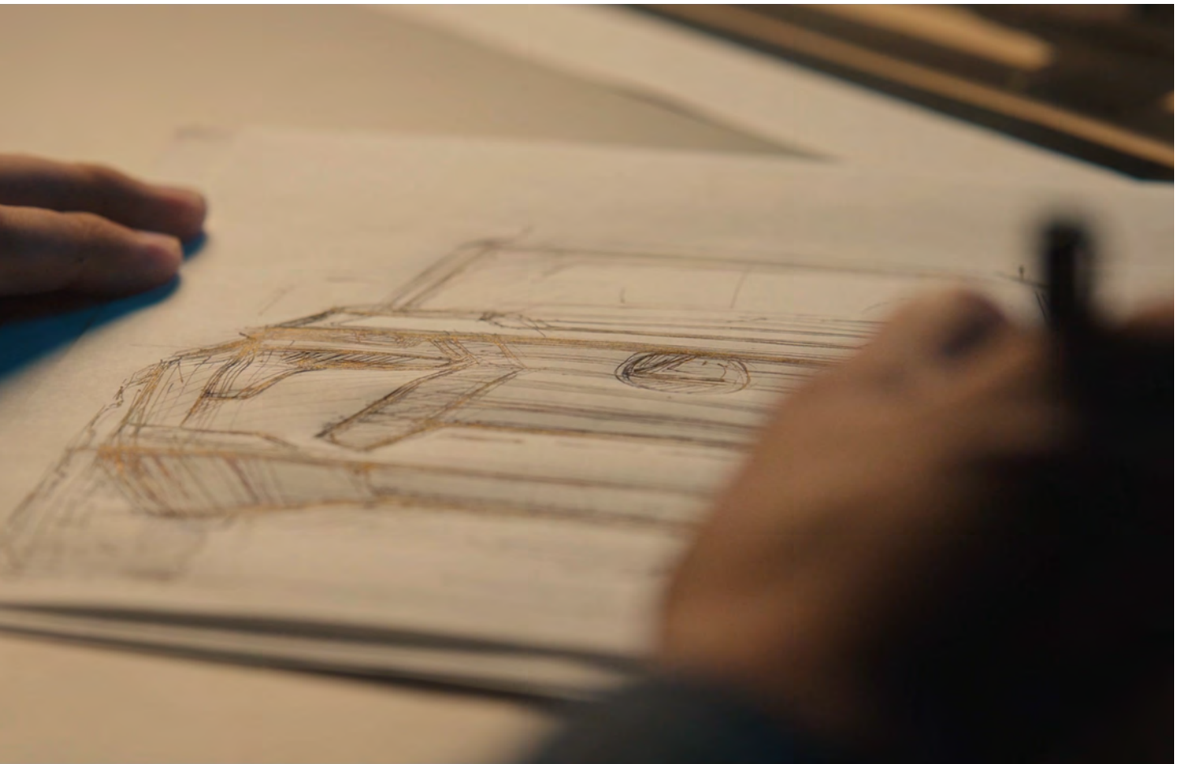
まずはレクサスならではの走りの味、「Lexus Driving Signature」を追求すべく、
走りの根本となる骨格を一から見つめ直しました。
伝統のボディオンフレーム構造を継承しつつGA-Fプラットフォームを採用、
アッパーボディも構造用接着剤の採用やスポット溶接打点の増加、
各部ブレースの追加など、クルマとしての体幹を徹底的に鍛え上げました。

クルマとしての素性を高めると、
サスペンション、ブレーキ、ステアリング、エンジンやオフロード性能を高める先進装備、
それぞれのポテンシャルを最大限発揮することができます。

オフロードでもオンロードでも、お客さまが意のままに扱いやすく、かつ快適であること。
レクサスのエンジニアたちはこの難易度の高い目標に真摯に向き合い、
何度も何度もチューニングを重ね、GXの走りを造り上げました。

**過酷を極める路面状況でも、都市の美しいアスファルトでも、
進化したパフォーマンスに安心を感じながら、
クルマと路面との対話を楽しみながら走る。
GXだからこそ味わえる走りの世界が、
お客さまに新たな感動を提供できると考えています。**

機能と走りに根差すことで、
悪路走破性と快適性の両立を達成。



次世代LEXUSデザインがすすめている
「機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求」を
本格オフローダーにおいても表現しました。

ホイールベースの黄金比2,850mmや充分な対地障害角などオフロード走行に
最適なパッケージングを追求。
その上で、スピンドルボディとプロテクター形状の融合や、低いベルトライン、
大きくえぐり取り低くなったボンネットフードのセンター部分や
高い位置のテールランプなど、オフロード走行をサポートする機能でスタイリングを構成。
**起伏の激しい地形や冠水した道路にも強く、視認性にもすぐれたデザインが、
行動範囲を広げるとともに安心感をもたらします。**

インテリアは、ドライバーが車両姿勢を感じ取りやすくするために垂直・水平基調とし、
センターディスプレイを低く配置するなど前方の視認性を確保しました。
世界観はスタイリングのタフなイメージにあえて合わせず、
LEXUSらしい上質な空間としています。
**窓の外が厳しい環境でも、森の中の別荘の一室のように、
快適にゆったりとお過ごしいただけます。**

環境や気象を問わずあらゆるシーンで快適さをもたらすデザインは、
さまざまな体験を重ねてきたお客さまにも新鮮な喜びを感じていただけると信じています。

あらゆる道で体感できる上質な走り

LEXUSが理想とする本格オフローダーとは、オフロード走行はもちろん、
オンロードにおいても質の高いドライビングを楽しめるクルマです。
強度と剛性感にすぐれ、さらに軽量化に寄与するGA-Fプラットフォームを採用し、
GXのために調整することでクルマの素性（体幹）を鍛えた上で、
対地障害角などオフロード走行性能を追求したパッケージング、
路面追従性を向上させるE-KDSS*などを通じて、すぐれた悪路走破性を獲得。
オンロード走行性能では、各部位の高剛性化や、
すっきりとした操舵感を実現する電動パワーステアリングなどにより、
減速・操舵・加速がシームレスに繋がる気持ち良さを実現し、
本格オフローダーでありながら「Lexus Driving Signature」を体現しています。
GXなら、あらゆる走行シーンで上質な走りを味わうことができます。

＊GX550“OVERTRAIL＋”に標準装備。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

GXに最適化したGA-Fプラットフォームにより基本素性が向上

GA-Fプラットフォーム

GX伝統のボディオンフレーム構造を踏襲しつつ、クルマとしての素性を根本から見直すべく、GA-Fプラットフォームを採用し、GXのために細部にわたりチューニングを施しました。サイドレールとクロスメンバーの一部には、板厚や材質が異なる鋼材を適材適所に接合（Tailor Welded Blank）することで、強度と剛性を確保しながら大幅に軽量化。衝突安全性能や静粛性、走りの質が進化しました。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

リニアでシームレスな加速を実現するパワートレーン [1]

V6 3.5 ℓ ツインターボエンジン

最高出力260kW(353PS)、最大トルク650N・mを発生。マルチホール直噴インジェクタ付D-4STの採用とロングストローク化、バルブ挟角の最適配置による高速燃焼と高効率ツインターボが力強い低速トルクとすぐれた過給レスポンスを生み出します。また高効率ツインターボにより、低速から立ち上がるワイドでフラットなトルク特性を実現し、オンロードでもオフロードでも力強く扱いやすい動力性能とすぐれた燃費・環境性能を両立しています。

急勾配や悪路環境での走行を考慮した設計

登降坂および左右の車体傾斜44度までのオイル供給性能を維持するために、オイルパン、オイルストレーナ等の潤滑系部品を最適設計しました。岩石路面や急勾配斜面でのエンジン信頼性を確保します。また、渡河や多塵環境下でのSUV特有の使われ方を想定し、防水・防塵性能が高いベアリングやオイルシールを採用しています。



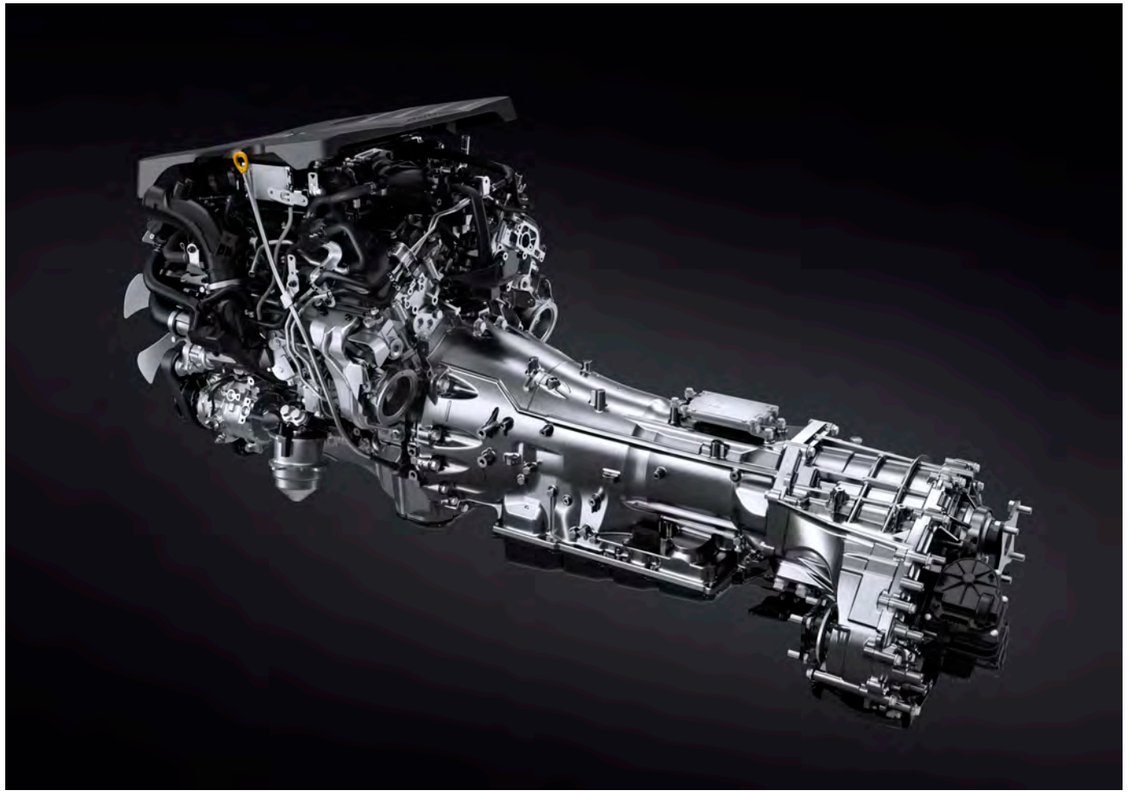
※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客さまの使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

リニアでシームレスな加速を実現するパワートレーン［2］

Direct Shift-10AT

発進時を除くほぼ全域でロックアップを作動させ、ダイレクトなフィーリングを実現。また、10速化により、ギヤステップのクロス化、全体のギヤレシオのワイドレンジ化を実現し、リズミカルで心地の良い走りのリズムと、高速燃費、発進加速、オフロード性能の向上を同時に果たしています。さらに、駆動力特性と変速タイミングを最適化。高回転域までの伸びやかなトルク特性を引き出すような気持ち良い加速感を生かし、ドライバーの意思に寄り添った力強い加速を実現しています。



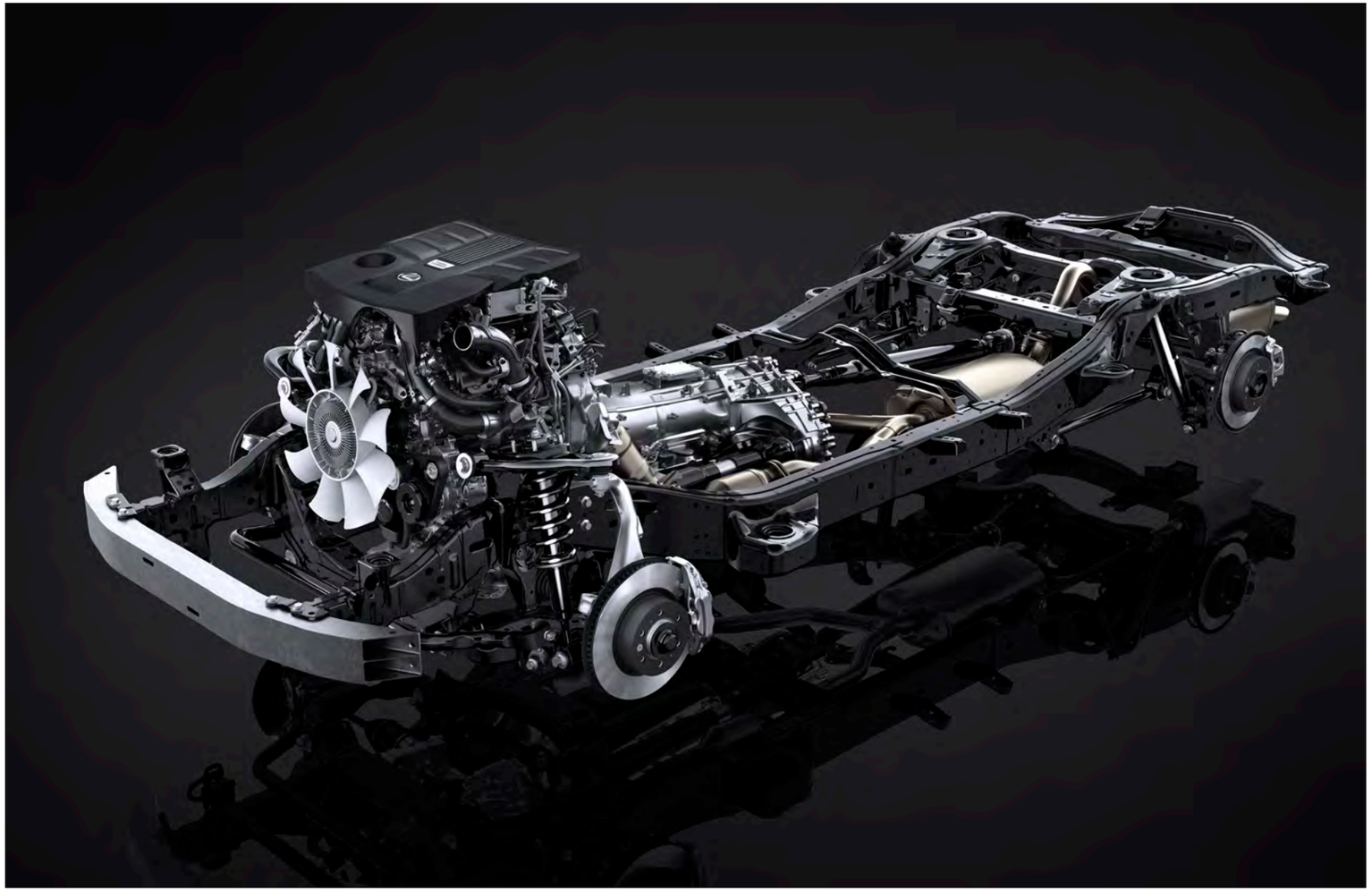
※画像は一部実際の仕様と異なります。

悪路走破性と操縦安定性を両立するフルタイムAWD

フルタイムAWD

オフロードでの高いトラクション性能による悪路走破性とオンロードでの意のままに操る操縦安定性を高次元で両立するフルタイムAWDを採用しました。フロントディファレンシャル、センターディファレンシャル、リヤディファレンシャルの特性を最適化することで、オンロードの通常使用域でのレスポンスの良さとすぐれた操縦安定性を確保しています。トランスファーのセンターディファレンシャルにトルセン®LSDやセンターデフロックを採用し、走行シーンに合わせて選択することで加速時や高速走行時、旋回時の車両安定性と悪路走破性を両立。また、トランスファーのHi/Lo、センターデフロックのFree/Lock、4モードの素早い切り替えを実現しました。GX550“OVERTRAIL＋”にはリヤディファレンシャルにデフロックを採用し、悪路におけるトラクションを高めました。

ディファレンシャルロック（リヤ） “OVERTRAIL+”



＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

多種多様な路面環境で走破性と操縦安定性を実現するサスペンション

フロント・ハイマウントダブルウイッシュボーン式サスペンション

サスペンションジオメトリおよびコイルスプリングのばね定数を最適化し、すぐれた車両安定性と乗り心地を両立します。また、オフロード走破性の重要なファクターであるサスペンションストロークをバウンド、リバウンドともに十分な長さを確保し、すぐれた路面追従性と悪路走破性を実現します。



フロントサスペンション

リヤ・トレーリングリンク車軸式サスペンション

信頼性の高い車軸式を継承しつつ、サスペンションアーム、ショックアブソーバー配置と特性を作り込み、車軸の動きをコントロールしやすくすることで、すぐれた車両安定性と乗り心地を両立します。また余裕のリバウンドストローク長により、すぐれた路面追従性を確保しています。



リヤサスペンション

※画像は一部実際の仕様と異なります。

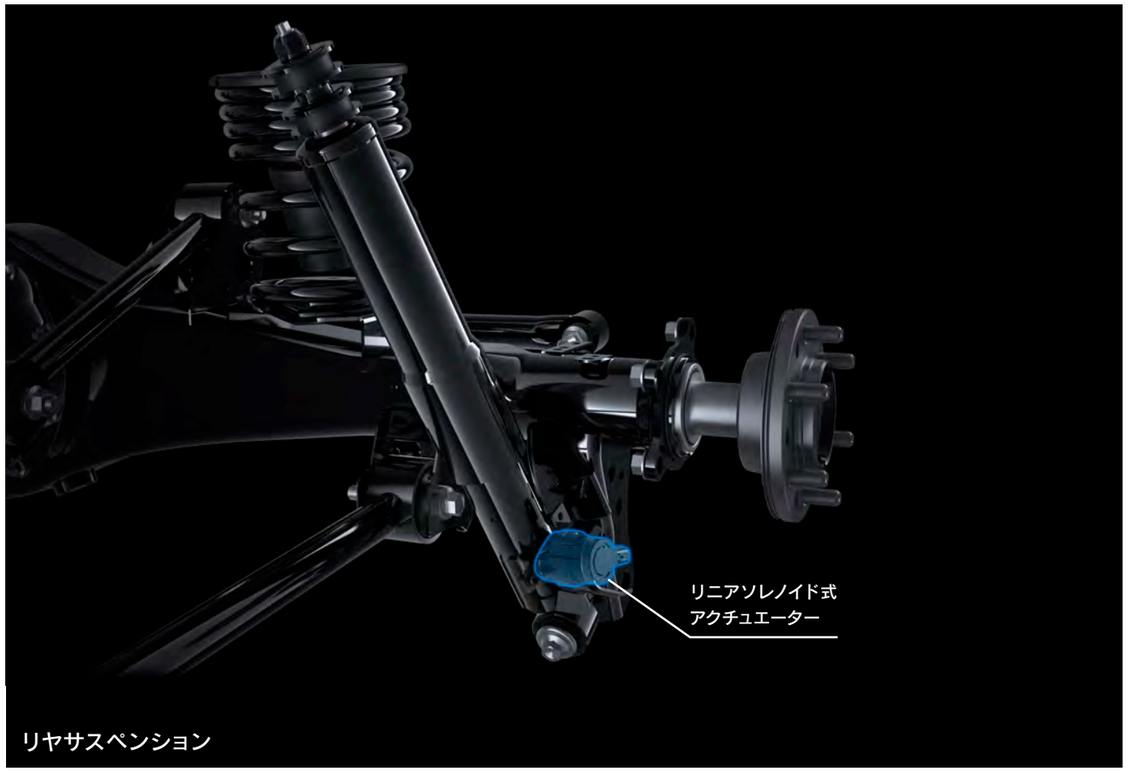
上質な乗り心地を実現するAVSと、フラットな乗り心地に寄与するショックアブソーバー

AVS

減衰力切り替え応答性の良いリニアソレノイド式を採用することにより、路面や走行状態に応じてきめ細かく、滑らかな制御を実現します。街中で段差を乗り越えるような時には減衰力を低めに設定して快適な乗り心地を、ステアリング操作時は減衰力を高めることでフラットな安定感を確保します。さらにドライブモードに合わせて減衰力も変化し、ドライバーの好みに合わせた走りに寄与します。



フロントサスペンション



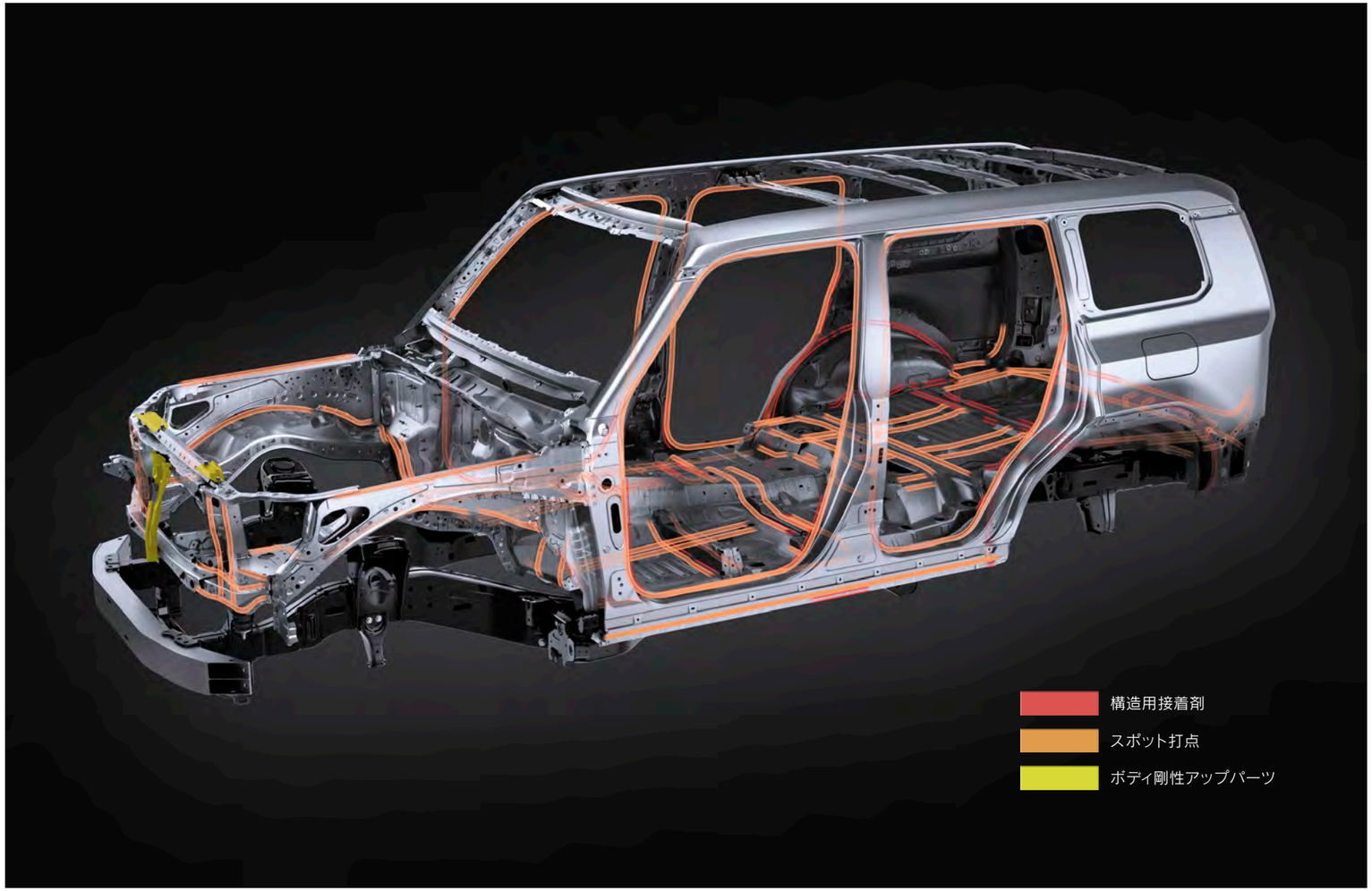
リヤサスペンション

※画像は一部実際の仕様と異なります。

すぐれた乗り心地と意図通りの走りを実現する高剛性ボディ

高剛性ボディ

ドア開口部とロッカー下端のスポット溶接打点を増やし、板金合わせ部分やフロアなどに構造用接着剤を使用し、走行時の安定した車両姿勢やすぐれた乗り心地などを実現しました。さらに、ラジエーターサポート上部にクロスブレースを採用するほか、フードロック周りの剛性向上のために専用のリインフォースを追加。リヤ周りではCピラー根本付近とホイールハウスをブレースで結合し、車両前後のバランスを整え、ドライバーの意図に忠実な走りを実現しています。

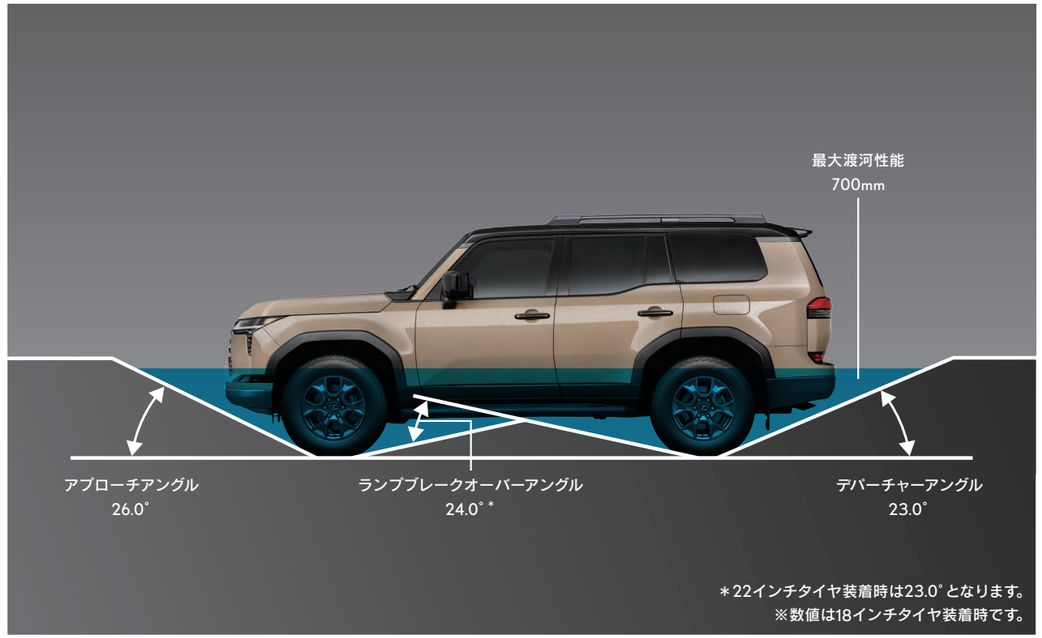


※画像は一部実際の仕様と異なります。

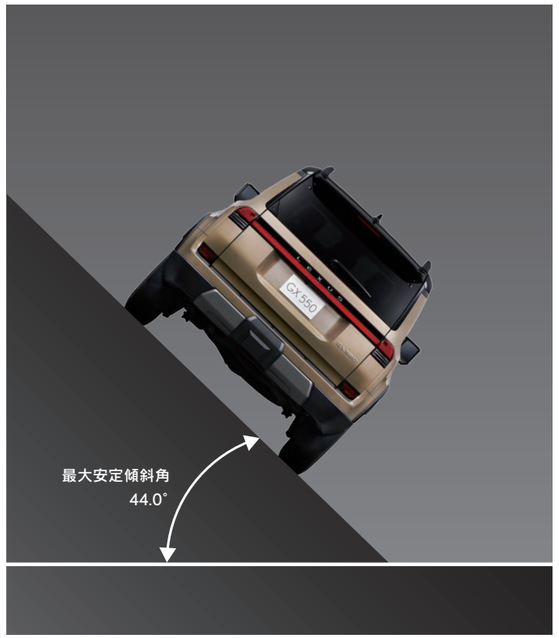
悪路走破性を高めるパッケージ

高い悪路走破性とゆとりある室内空間を両立するホイールベースの黄金比2,850mm、および対地障害角など本格オフロード車としてのすぐれたディメンジョンを実現しています。
対地障害角は起伏の激しい地形や倒木を乗り越えるような悪路などで高い走破性を発揮、最大渡河性能700mmにより大雨で冠水した道路にも対応可能です。

対地障害角





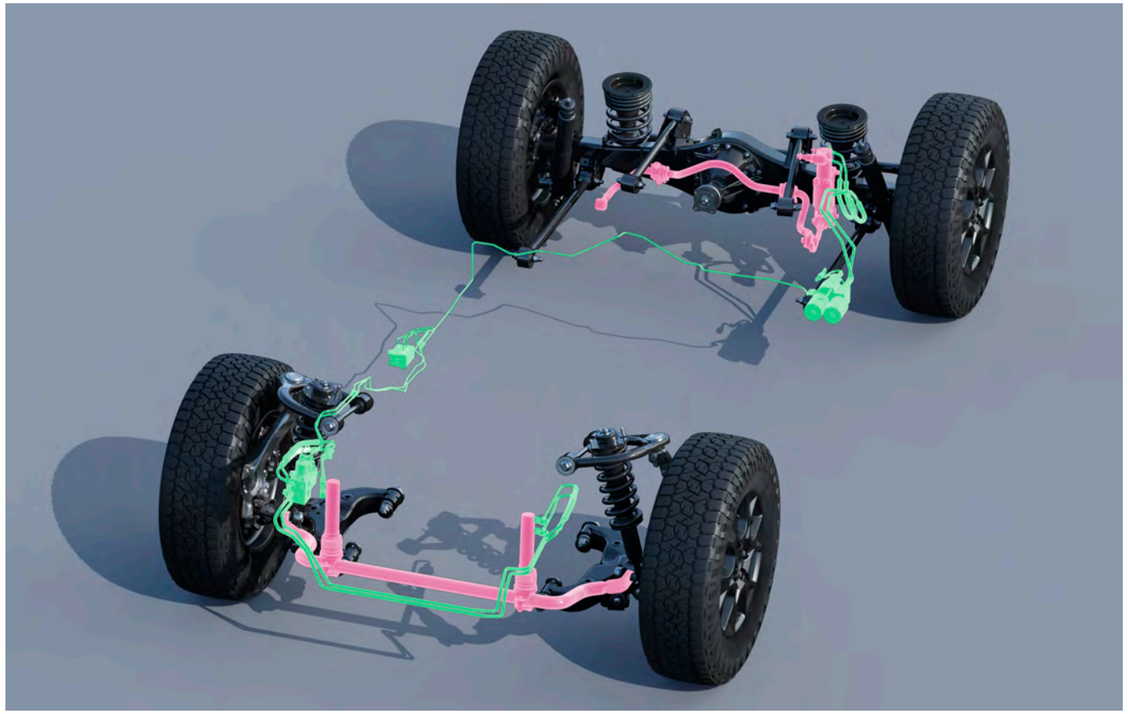


※数値は設計値です。

オンロードとオフロードの走行性能を引き上げるE-KDSS

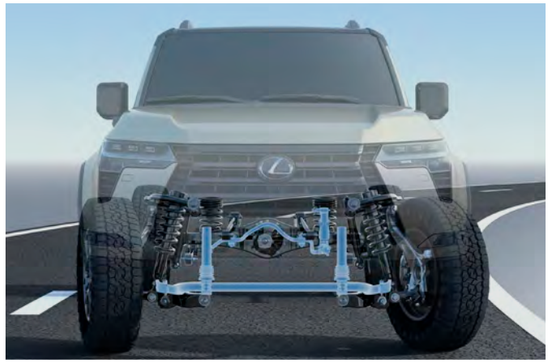
E-KDSS “OVERTRAIL+”

市街地での走行安定性とオフロードの走破性を高次元で両立させるサスペンション制御システム。前後のスタビライザーを独立して電子制御し、路面状況や前後輪それぞれの状況に応じてより細かくスタビライザー効果を変化させます。さらに、新開発のサスペンションと組み合わせることでホイールアーティキュレーション（タイヤの浮きづらさ）が向上し、岩石路やモーグル路などでよりすぐれた路面追従性を獲得するなど、オフロード走破性に磨きをかけています。



スタビライザーロック時

スタビライザーの効力を発揮させ、コーナリング時の車体のロール（傾き）を抑えてすぐれた安定性を確保。オンロード（コーナリング）などで作動します。



スタビライザーフリー時

スタビライザーの効力をなくし、サスペンションを伸びやすくすることでタイヤを路面から浮きにくくし、すぐれたフラット感、走破性を実現。オフロード、オンロード（直進）などで作動します。



＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

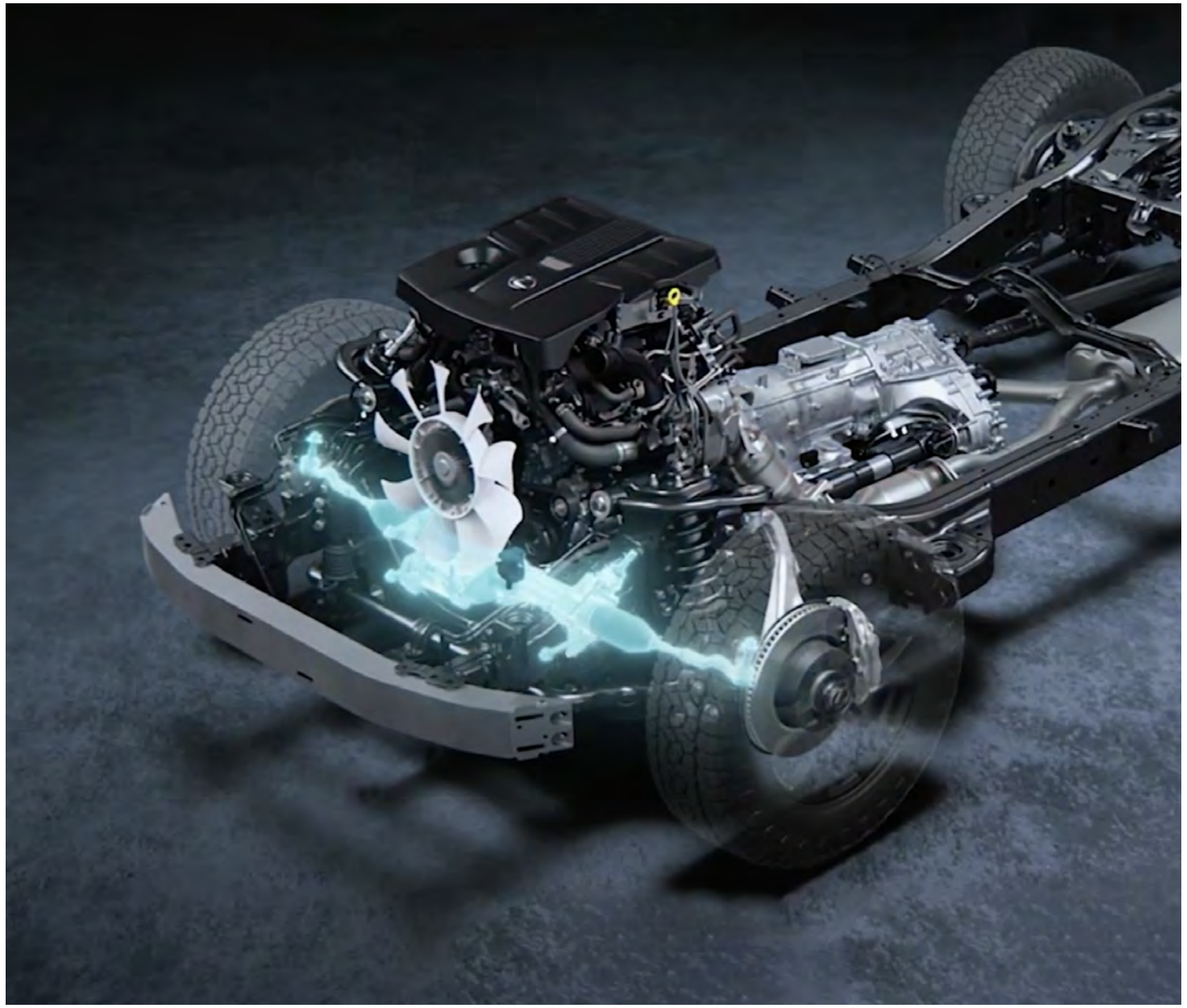
上質な走りを実現する操舵フィーリングとブレーキフィーリング

電動パワーステアリング[EPS]

ステアリングの切り始めからリニアにクルマが応答し、オフロード走行時などの低速では、軽い操舵感によりドライバーの負担軽減に寄与、高速では車速に応じた適度な操舵力により、レクサスらしいドライバーの意図に沿った走りと、手応えのある操舵感を実現します。

ステアリングシステム

電動パワーステアリングの採用のみならず、ステアリングホイールそのものの取り付けに工夫を重ね、ステアリングを操作した際の手応え感とニュートラル付近でのすぐれた応答性を実現しました。ステアリング支持部まわりでは、ボディ側で剛性の高い部位に背面から締結し、インストルメントパネルリインフォースメントからカウルまでの環状構造を採用。さらに、カウルサイドブレースを追加し上下方向の剛性を高めました。操縦安定用ブレースも追加しステアリングコラム締結部の着力点剛性を高め、ステアリング操作に対する局部変形を抑えています。



ブレーキシステム

フロントとリヤともにベンチレーテッドディスクブレーキを採用。フロントのスチール製対向式4ピストンブレーキキャリパーと、リヤの高出力・高強度化したフローティング式1ピストンブレーキキャリパーによって、過酷なオフロード走行に対応します。バキュームブレーキシステムを採用し、リニアですぐれたコントロール性と自然なブレーキフィーリングを両立しました。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

走りのクオリティを高める空力テクノロジー

空力対策を施したボディ形状とパーツデザイン

エクステリアのデザインコンセプトとオフロード走破性能を両立させ、さらに低燃費を実現するために、デザインコンセプトに影響しない部位で積極的に空気抵抗を低減しました。車両前方のフロントバンパーのコーナーでは、デザイン性と気流をサイドにスムーズに流すための機能を両立。

さらに、フロントタイヤ前に設置した立体的なエアロスパッツは、すぐれた空力性能と操縦安定性に貢献する形状としました。車両後方では、上部（ルーフ）からと下部（床下）からの空気の流れをバランス良く整流するために、リヤスポイラー形状とエンジンアンダーカバーの配置を最適化しています。



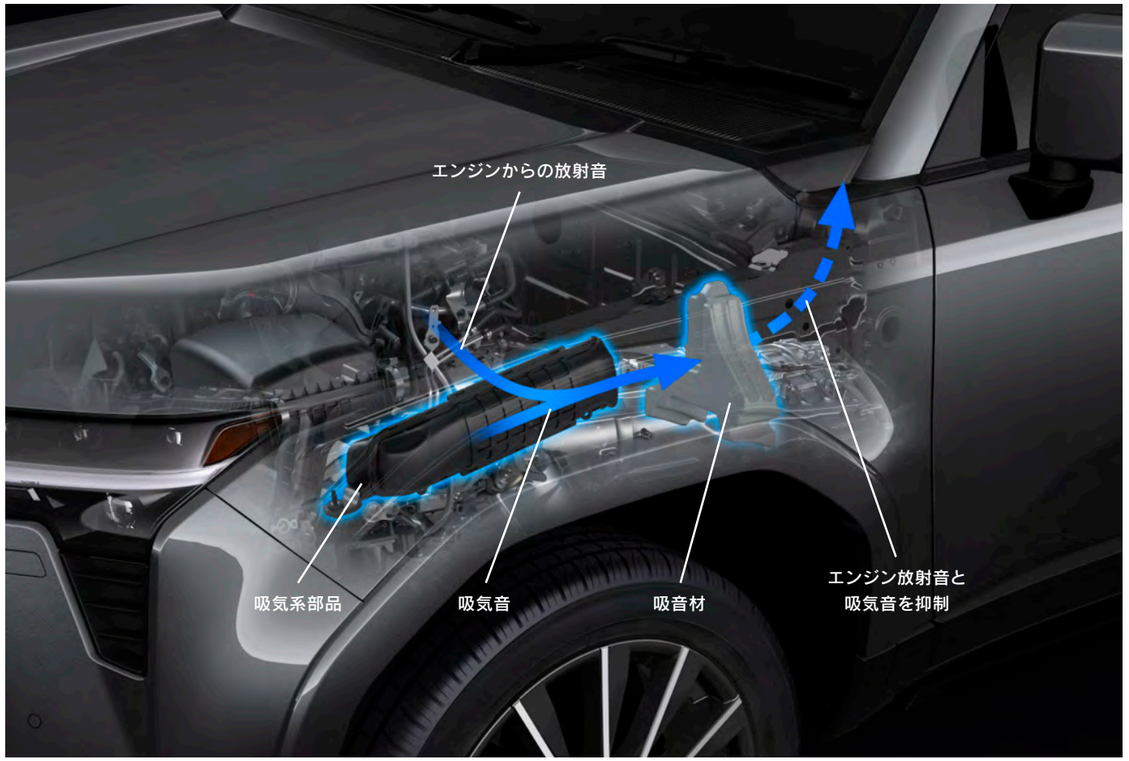
※画像は一部実際の仕様と異なります。

長時間移動での疲労を軽減する静粛性

静粛性

心からやすらげる室内空間のために、質の高い静けさをめざしました。ロードノイズの低減を図るために、ボディとフレームをつなぐキャブマウントクッションの取付位置を最適化し振動対策を行い、またフェンダーライナーに不織布の吸音素材を採用しタイヤからの放射音を抑制しています。エンジンノイズの侵入に対しては、吸気口と車室間に吸音材を配置し、加速時の吸気音とエンジン放射音を抑制。また、ダッシュインナーサイレンサーの板厚・目付の調整により、ノイズの侵入経路となる微細な穴まで徹底的にシーリングしました。アコースティックガラスを採用したウインドシールドガラスで会話明瞭度も高めています。





※画像は一部実際の仕様と異なります。

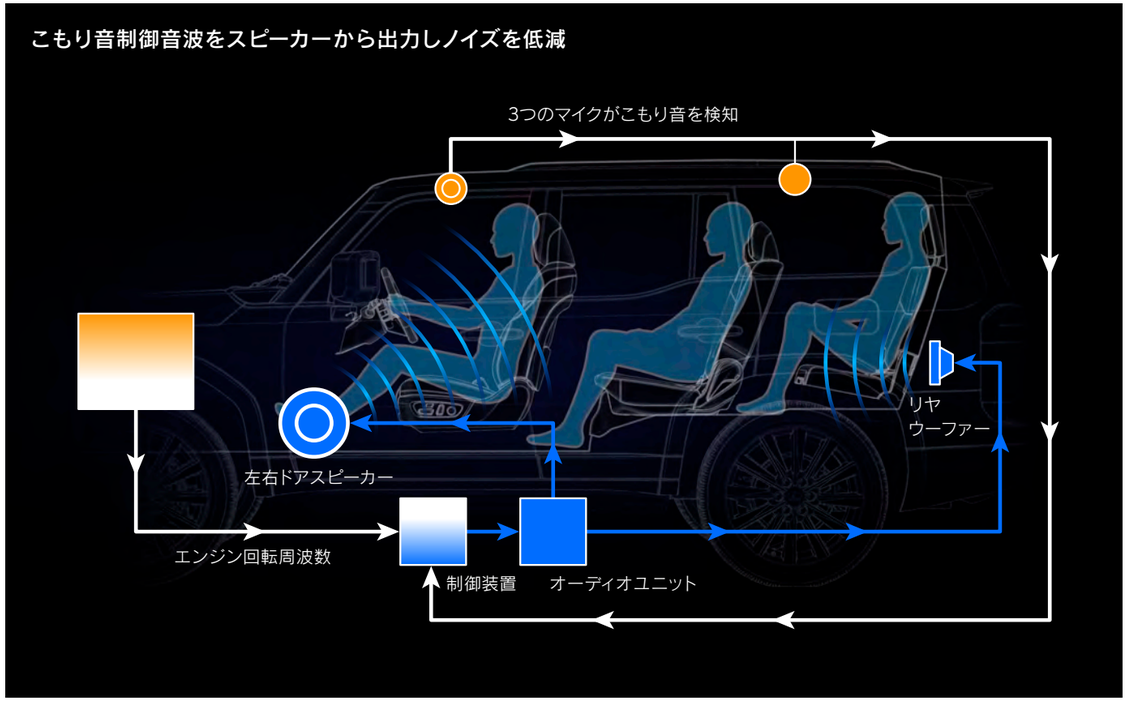
心地良い音で、走る時間を豊かにするサウンドコントロール機能

アクティブノイズコントロール

エンジンの回転により発生するこもり音を低減。室内のオーディオ用スピーカーからこもり音制御音波を出力し、室内の静粛性を確保します。

エンジンサウンドエンハンスメント

アクセル開度やトルクに応じて、エンジンサウンドの盛り上がり感を演出。室内のオーディオ用スピーカーから、車両の加減速感をより臨場感あふれるサウンドで演出します。エンジンサウンドエンハンスメントは、ドライブモードセレクトのSPORT S＋、SPORT Sモードで作動します。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

路面状況に応じて走破性能を引き出すマルチテレインセレクト

マルチテレインセレクト “OVERTRAIL+”

マルチテレインセレクトは、オフロード走行において、路面状況に応じた走行支援を6つのモードから選択できるシステムです。従来、トランスファーのローレンジ（L4）のみだった作動範囲をハイレンジ（H4）にも拡張し、岩石路の極低速走行から未舗装路の高速走行までオフロード走行支援を行う機能に進化。ブレーキ・駆動力・サスペンションを統合制御することで路面状況に応じた走破性能を引き出します。AUTOモードでは、各種センサーの情報から走行中の路面状況をクルマが推定、最適なモードを自動で選択。ドライバー自らモード切り替えすることなく、走行シーンに応じた走破性能を引き出すことができます。



●: 選択可能　—: 選択不可

モード	メーター表示	使用路面イメージ	トランスファー L4	トランスファー H4
AUTO		オフロード走破性が必要な各種路面	●	●
DIRT		 未舗装路の走行時	—	●
SAND		 砂地路の走行時	●	●
MUD		 泥濘（ぬかるみ）路の走行時	●	●
DEEP SNOW		 深雪路の走行時	—	●
ROCK		 岩石路の走行時	●	—

■ ＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。　※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

極低速走行が可能なクロールコントロールと、急坂を安定して下れるダウンヒルアシストコントロール

クロールコントロール “OVERTRAIL+”

凹凸の激しいオフロードや滑りやすい路面を走行する際、アクセルやブレーキ操作をすることなく、ステアリング操作のみで極低速走行が可能です。ホイールスピンや車輪のロックを抑制するためスタックからの脱出能力が高く、駆動系への負荷も軽減。状況に応じて5段階の速度設定が可能です。クロールコントロール作動中にドライバーがアクセル操作した場合、加速操作を妨げないシームレスな駆動力・ブレーキ制御を実現。ドライバーが加速したいときにもアクセル操作ができ、ストレスの少ないオフロード走行をアシストします。

クロールコントロール推奨スピードモード

スピードモード	路面
Lo	岩石路、モーグル路（降坂）、瓦礫路（降坂）
MIDL	
Mid	モーグル路（登坂）
MIDH	
Hi	雪路、泥濘路、瓦礫路（登坂）、砂地、砂利・ダート路、モーグル路（登坂）、草地

※推奨スピードは参考です。路面状況（勾配、路面滑りやすさ、起伏）により最適でない場合があります。路面状況をよく確認して走行してください。

ダウンヒルアシストコントロール “OVERTRAIL+”

エンジンブレーキだけでは十分減速できないような険しい急坂路を降坂する際、スイッチ操作により、4輪のブレーキを自動的に制御し、タイヤロックすることなく安定した降坂を支援します。スイッチで選択した車速を保ち、ブレーキやアクセルの操作に気を使うことなく、ステアリング操作に集中できます。

※降坂時にトランスファー・ハイレンジ（H4）を選択し、車速4km/h～30km/h以下で作動します。





DAC：ダウンヒルアシストコントロールスイッチ
CRAWL：クロールコントロールスイッチ

＝標準装備

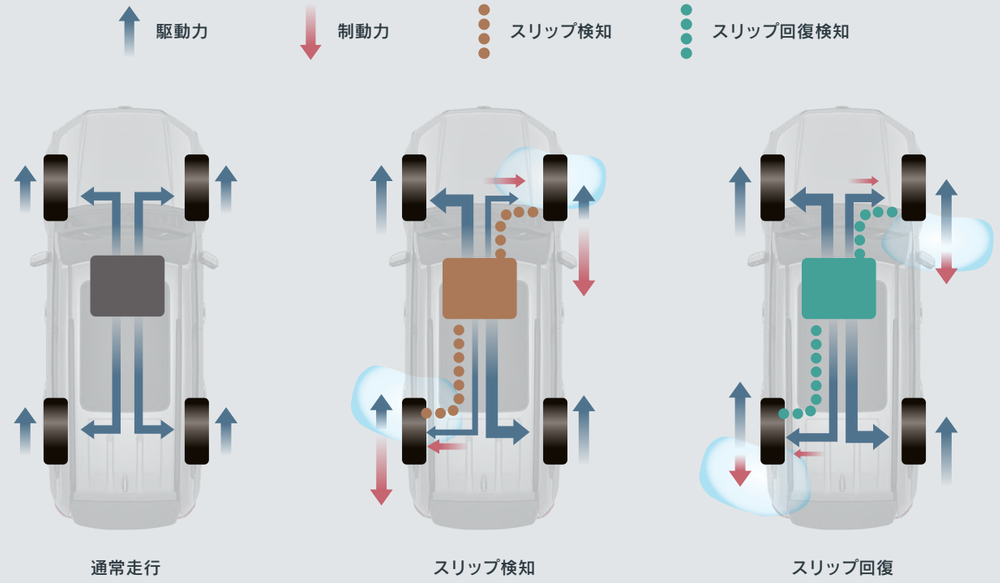
※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

スリップ状態から素早く脱出できるA-TRC

アクティブトラクションコントロール（A-TRC）

岩場や雪道などのオフロードでスリップを検知すると、空転した車輪にブレーキをかけ、残りの車輪に駆動力を配分。悪路でも安定した走行を可能にします。

アクティブトラクションコントロール作動イメージ



走りのテイストを選べるドライブモードセレクトスイッチ

ドライブモードセレクトスイッチ

モードセレクトダイヤルを切り替えることにより、走行シーンやドライバーの気分に合わせてドライビングを楽しむことができます。

※作動条件はトランスファーギヤ位置：H4となります。



SPORT S+ 走りのポテンシャルをフルに引き出し、エモーショナルな走行を実現します。



SPORT S よりダイナミックで力強い加速感が得られる走りを提供します。



NORMAL 走りと燃費のバランスにすぐれ、さまざまなシーンでのドライブに適しています。



COMFORT サスペンション制御によって、より快適な乗り心地を実現します。



ECO パワートレーンとエアコンを燃費優先の制御に変化させます。



CUSTOM パワートレーン、シャシー、エアコンのモードを自分好みの組み合わせに設定できます。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

オフロード走行に安心感をもたらすマルチテレインモニター

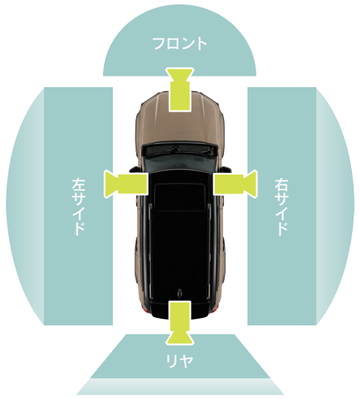
マルチテレインモニター

“OVERTRAIL+”

車両周辺の状況確認を4つのカメラでサポートするシステム。フロント・サイド左右・リヤに搭載したカメラでとらえた映像をカメラスイッチで切り替え、14インチタッチディスプレイに車両周辺映像を鮮明に、滑らかな動きで映し出し、ドライバーの死角になりやすい車両周辺の路面状況を確認できます。
オフロード走行時には、車高に適したカメラ映像の合成を行うことで、周辺状況をより分かりやすくドライバーへ伝え、安心感をもたらします。



アンダーフロアビュー＆両サイドビュー





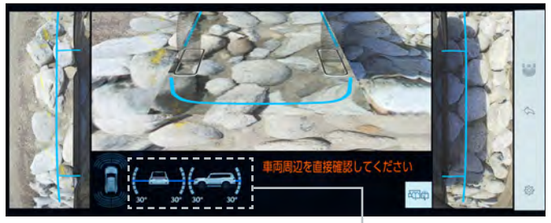
バックビュー＆両サイドビュー

〈アンダーフロアビュー/バックアンダーフロアビュー〉

アンダーフロアビューは直前に撮影された映像を車両下部に床下透過映像として表示、現在映像と合成することで車両下の状態や前輪・後輪の位置が確認できます。バックアンダーフロアビューは車両後方の障害物との位置関係の把握や、後輪と路面の確認を支援することで、林間路、モーグル路、岩石路などでの走破性に寄与します。さらに、車両を透過し、後輪周辺をクローズアップして大きく表示するバックアンダーフロアビュー（拡大）により、タイヤ付近の状況や障害物との距離感を把握でき、スタックや行き止まりからの脱出に力を発揮します。



アンダーフロアビュー（後輪）＆両サイドビュー



バックアンダーフロアビュー＆両サイドビュー



バックアンダーフロアビュー（拡大）



傾斜計

〈傾斜計〉

車両の前後・左右のおおよその傾きを推定し、表示します。

＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

オフロード機能に根差したスタイリング。
過酷な環境でも快適な室内空間。

デザインキーワードは「HIGH END × PROFESSIONAL」。
LEXUS本格オフローダーとして、機能的本質や動的性能に根差した
プロポーションと独自性を追求し、上質なアウトドアライフスタイルを提供します。
エクステリアでは、タフでモダンなプロポーションを実現しながら、
オフロード走行機能に根差したスピンドル表現のフロントアイデンティティとしました。
インテリアは、クルマとドライバーが直感的につながり、
より運転操作に集中できるコックピット思想「Tazuna Concept」のもと、
視認性と操作性の良さを確保しつつ、あらゆる環境下でも素の自分に戻れる、
快適でモダンな空間を構築しました。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

スピンドルボディとオフロード機能を融合したフロントフェイス

フロントデザイン

LEXUSの象徴でもあるスピンドルを塊で表現した「スピンドルボディ」と、オフロード機能に根差したプロテクター形状を融合しました。悪路走行時、石や草木などの障害物から車両を保護するためにセンター部はプロテクター形状で覆いつつ、サイドはサブラジエーターに合わせて下に広げた冷却機能を持つグリル開口とし、本格オフローダーとしての独自のフロントアイコンを表現。また、車両前部の下方視界を確保するため低く構えたフードセンターと、車両感覚を掴みやすくするため高く角張ったフードコーナーが、オフロード走行時の安心感を提供します。オフロード機能に特化したGX550“OVERTRAIL＋”は、トレッドを広げてスタンスをより安定させた上で、バンパーコーナーの下端を切り上げ、拡張性のある別体のセンタープロテクションを装着し悪路走破性を高めました。



GX550“version L”　①エアロスパッツ



GX550“OVERTRAIL＋”　①“OVERTRAIL＋”センタープロテクション＆フロントスキッド
②“OVERTRAIL＋”アンダーガード　③“OVERTRAIL＋”エアロスパッツ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

精悍かつ骨太な立体Lシェイプシグネチャー

三眼フルLEDヘッドランプ（ロー・ハイビーム）

ハイポジションに配したL字型のクリアランスランプを軸にハイビームなどの機能を整然と配置し精悍で力強い表情を実現しました。デイタイムランニングランプとクリアランスランプは、面一発光による立体的な造形とシルエットを表現。デイタイムランニングランプはフェードイン点灯制御により、クルマの動きに連動し美しい光の変化を演出します。



①クリアランスランプ /デイタイムランニングランプ　②ロービーム / ハイビーム　③ターンシグナルランプ
④ブレードスキャン®AHS

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

オフローダーとしてのタフなプロポーション

サイドデザイン

フロントピラーを後方に引きながら立てたことに加え、高く構えたフードシルエットなどスクエアなシルエットで、オフローダーとしての力強い印象を醸成しました。また、水平基調で前後方向に抜けていくボディの軸と大きく張り出したホイールアーチが、安定したスタンスを実現。

さらに、ベルトラインを低くすることで、より良好な視界を確保しています。ソリッド型のルーフレールは十分な積載能力を確保しています。GX550“OVERTRAIL+”は、ドアハンドルなどでのブラックのアクセントに加え、ブリッジ型ルーフレールでオーナーの冒険心に応えます。



GX550“version L”　①ルーフレール（ソリッド型）



GX550“OVERTRAIL+”　①“OVERTRAIL+”アウターミラー（ブラック）　②“OVERTRAIL+”ドアハンドル（ブラック）
③“OVERTRAIL+”ホイールアーチモール（ブラック）
④“OVERTRAIL+”サイドロアモール（ブラック）　⑤ルーフレール（ブリッジ型）

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

安定感あるスタンスとモダンなフォルムを実現したリヤビュー

リヤデザイン

張り出した前後フェンダーが醸し出す安定感あるスタンスと、サイドからつながる削りだした金属の塊のようなフォルムにより、タフでモダンなプロポーションを実現しています。また、リヤコンビネーションランプを高く配置し被視認性を高めました。GX550“OVERTRAIL+”は、フロントと同様バンパーコーナーの下端を切り上げ、拡張性のある別体のセンタープロテクションを装着し悪路走破性を高めました。



GX550“version L” ①リヤロアバンパーモール
②ヒッチメンバー（カバー付）※メーカーオプション



GX550“OVERTRAIL+” ①“OVERTRAIL+”リヤロアバンパーモール（ブラック）
②“OVERTRAIL+”センタープロテクション
③ヒッチメンバー（カバー付）※メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

パワフルなけん引能力を使用可能にするヒッチメンバー

ヒッチメンバー（カバー付） 全車

リヤクロスメンバー構造に、フレーム一体型ウェイトディストリビューションタイプのヒッチメンバーを設定しました。

※トレーラーをけん引するためには、ディーラーオプションのトレーラーヒッチの装着が必要となります。





※写真はディーラーオプションのトレーラーヒッチ装着車。

□＝メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

タイヤ＆ホイール



265/50R22 109Vタイヤ＆22×7½Jアルミホイール（切削光輝＋ダークグレーメタリック塗装）[*1]
直線的かつ平行的な12本スポークのアルミホイール。薄い22インチのタイヤの大きさを引き立てる、都会的でクリーンなデザインです。

“version L”

＊1. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



265/70R18 116Hタイヤ＆18×7½Jアルミホイール（マットグレー塗装）[*1][*2]
アルミホイールはオフロードを存分に楽しむ強靭な足回りを表現し、タフネスさをアピールします。

“OVERTRAIL+”

＊1. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊2. マットグレー塗装ホイールは通常ホイールとメンテナンス方法が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

直線のラインが印象的な一文字シグネチャー

フルLEDリヤコンビネーションランプ

LEXUSブランドのアイデンティティである「Lシェイプ一文字シグネチャー」ランプを踏襲。ターン、バックアップランプの存在感を抑え、さらに発光幅を太くすることで一文字の赤色レンズを強調しています。

①ハイマウントストップランプ
②テールランプ/ストップランプ
③バックアップランプ
④ターンシグナルランプ
⑤リヤフォグランプ



車両上部を確認でき、開放感も得られるパノラマルーフ

パノラマルーフ
（電動サンシェード・UVカット機能・挟み込み防止機能・調光機能付） “version L”

電動シェードの開け閉めに加え、調光機能によりシェードが開いている状態での調光・透過を瞬時に切り替えられます。調光時は障子越しのようなやわらかな光が差し込み、より上質感がある室内を演出できます。



ムーンルーフ（チルト＆スライド式）

静かにスライドするインナースライド式のムーンルーフ。開放感を得ながら、換気を行うことができます。

※“OVERTRAIL＋”は非装着も選択することができます。



□＝メーカーオプション

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

スムーズな視線移動と手元操作を実現するTazuna Concept

レクサスのクルマ作りに根付いている人間中心の思想を、さらに進化させた新しいコックピット設計の考え方「Tazuna Concept」。人が馬を操る際に使う「手綱」に由来し、人とクルマがしっかりと意思疎通できることをめざしています。Tazuna Conceptによって、クルマとのコミュニケーションをもっと深め、クルマを意のままに操る喜びを体験してほしいという想いを込めてコックピットを開発しました。ヘッドアップディスプレイからメーターに向かう前後方向につながる情報系部品配置①と、メーターからタッチディスプレイへつながる部品構成②により、スムーズな視線移動を実現しました。また、ステアリング周辺に配置された走行系部品③により、スムーズな操作も可能にしています。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

水平・垂直基調のシンプルかつ機能的なコックピット

人が馬を操る際に使う「手綱」に着想を得てステアリングスイッチとヘッドアップディスプレイを連携させ、大きな視線移動をすることなく、各種機能の操作が行える配置としました。また、オフロードにおいてドライバーが車両姿勢を感じ取れるよう、インストルメントパネル上面を基準に、水平・垂直基調のシンプルな構成としながら、センターディスプレイを低く配置することで前方のすぐれた視認性を確保。また、インストルメントパネル中央を左右に貫く金属調加飾が広がりをもった空間を演出、メーターからつながる合成皮革で縁取ったセンターディスプレイや最適な位置に設えたニーパッドなど、シンプルな造形に上質な仕立てを掛け合わせ、モダンで心地よい空間を提供します。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

使いやすさを追求したタッチディスプレイ

14インチタッチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応*1）Plus

メーターからつながる合成皮革で縁取ったセンターディスプレイ。高解像度で鮮明な表示が可能なタッチディスプレイで、直観的な操作性を実現しました。ドライバーが運転操作に集中できるよう、助手席からも見やすく操作しやすい角度に設置しています。アイコンを使用したMENUを運転席側に常時表示*2しすぐれたアクセス性を実現。空調の温度調整やオーディオの音量操作は、運転時にも使いやすいダイヤルスイッチとしました。また、GX550“OVERTRAIL+”ではオフロード走行をサポートするため、マルチテレインセレクトのモード表示などオフロードコンテンツを1画面に集約し、一目で素早く確認できるようにしました。

＊1. G-Link契約でご利用いただけるセンター通信型のナビゲーションです。初度登録日から3年間無料です。G-Linkを契約しない場合は、非通信型ナビゲーションとしてご利用いただけます。

＊2. 一部画面を除く。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

シンプルでわかりやすいメーター＆カラーヘッドアップディスプレイ［1］

12.3インチTFT液晶式メーター（TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ）

必要な情報を厳選し、表示、操作をシンプル化。メーター表示を3つのレイアウトから選択可能としました。
ドライバーが情報を瞬時に識別できるように、各モードに合わせてメーターの意匠を変化することも可能です。







※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

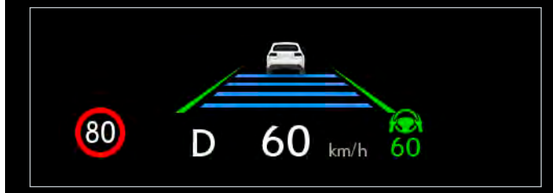
シンプルでわかりやすいメーター＆カラーヘッドアップディスプレイ［2］

カラーヘッドアップディスプレイ

走行中の視界を確保した上で、情報を分かりやすく伝えるカラーヘッドアップディスプレイ。メーターへの視線移動を減らし、ドライバーが常に前方の道路状況に集中できるように、表示内容ごとに最適なレイアウトに配置しています。また、センターディスプレイのカスタマイズ画面から、ドライバーの好みや運転シーンに合わせて3つの表示モードを選択することができます。



①［フル］楽に移動（運転支援システム利用時など）



システムの作動状態を大きく、分かりやすく表示

②［スタンダード］運転を楽しむ



コンテンツを下方に集約し、広い視界を確保

③［ミニマム］運転に集中



運転に集中するために必要最低限の情報を表示

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

悪路でも都市でも快適さをもたらすフロントシート

フロントシート

悪路を走行するときも安定した座り心地を確保するフロントシートをめざしました。坐骨の下のウレタンパッドは厚くし、尻後方のウレタンパッドは薄く、さらに後方ロッドの前出しにより、すぐれたフィット感を実現します。また、バックバネを後方に配置し骨盤角度を寝かすことで骨盤への負担を軽減。バックバネ下端とクッションバネ後端の剛性を高め、乗員の姿勢くずれも抑制することで、腰や筋肉への負担を軽減し疲れにくい運転姿勢を確保します。レーンチェンジなどでの姿勢くずれを抑制するために、シートクッションの硬度配分を最適化し、シートバックの土手の角度を立てました。さらにGX550“OVERTRAIL＋”は、シートバックサイドに悪路走行時の頭部揺れを低減するデザインを採用。身体がシートバックサイドに接触した際、胸部への左右の揺れをいなすことで頭部の揺れを抑え、前方視界の安定化と疲労軽減に寄与します。シートデザインでは、エクステリアのアンダーグリル形状をモチーフとしたエンボスパターンにより、さりげなく外装の世界観と連動。また、肩口にアクセントとしてオリーブカラーのウルトラスエード®*を採用しています。

＊ウルトラスエードは一部、植物由来原料化を実現。手触りの良い質感であり、高い耐久性を持ち合わせた高品質なスエード調人工皮革です。脱石油依存社会へ貢献するとともに、温室効果ガス排出量を石油由来製品より抑えることができ、多方面での持続可能性に寄与。SDGsにおいては、「目標12」および「目標13」に貢献可能です。

3列シート車 “version L”



2列シート車 “OVERTRAIL＋”



＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

前に倒せば荷室を広げられるセカンドシート

セカンドシート（6:4分割可倒式）

シート前倒し機構とタンブル機構を採用。ラゲージルームの拡大を実現し、GX550 “version L” はサードシートへの乗り降りを容易にします。GX550 “OVERTRAIL+” のシートデザインはフロントシートと同様に、エクステリアのアンダーグリル形状をモチーフとしたエンボスパターンを施しています。

3列シート車 “version L”



2列シート車 “OVERTRAIL+”



■ ＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

フラットな状態にたためるサードシート

サードシート（5：5分割可倒式/電動リクライニング機構付） “version L”

電動リクライニングにより、ラゲージスペースを拡大できます。また、格納時にラゲージルームのフロアがフラットになるダブルフラットシートを採用。スイッチを押し続けると自動で格納されます。



＝標準装備

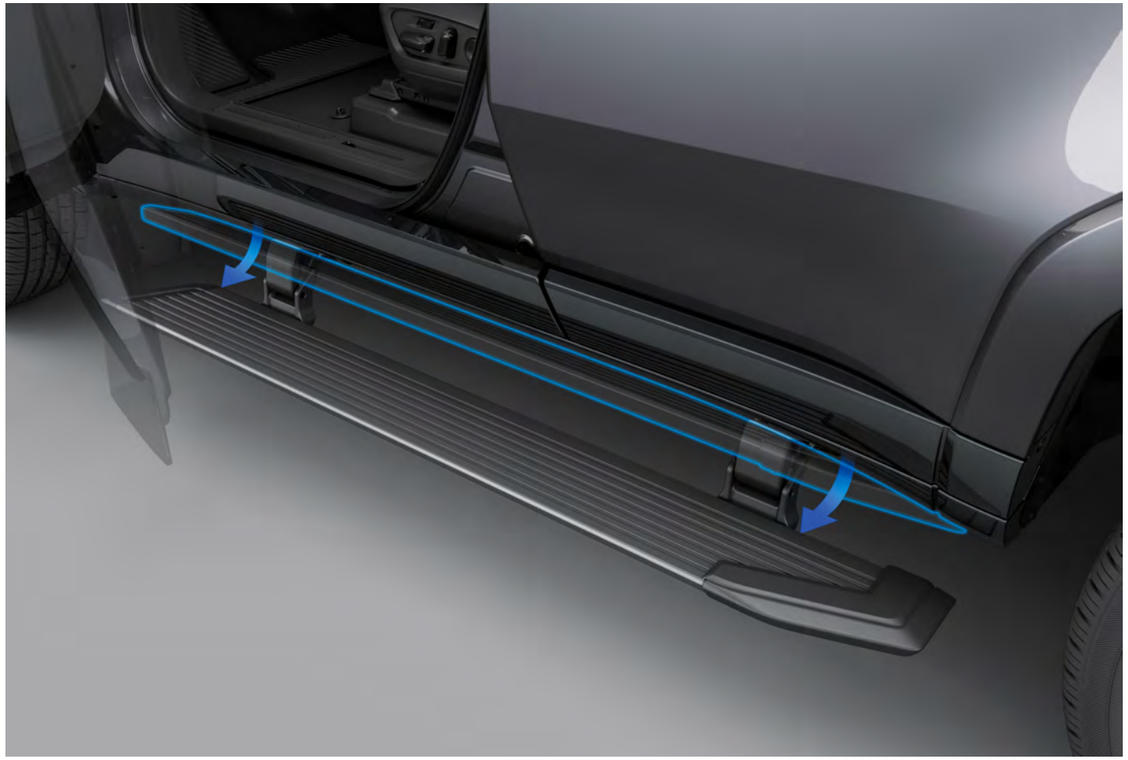
※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

スマートな乗り降りをサポートするオート電動格納式ステップ

オート電動格納式ステップ “version L”

ドアを開けると自動でステップが展開し、スマートな乗り降りを実現します。ドアを閉めるか、もしくは約5km/h以上で走行するとステップは格納されます。

※挟み込み防止機能により、展開中に障害物に接触するとステップは格納されます。格納時に障害物がステップと車両の間に挟まるとステップは展開されます。



スカッフプレート（フロント[LEXUSロゴ・イルミネーション付]）



■ ＝標準装備

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

人間中心の考え方に基づいた先進安全技術



LEXUS はモビリティ社会の究極の願い
「交通事故死傷者ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。
世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、
より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、
GXにもLexus Safety System +を採用しました。
運転状況に応じて、適切な操作サポートを行う
プロアクティブドライビングアシストや、
ドライバーモニターとの連携による
ドライバーの運転状況に応じた制御など、
お客さまの安全・安心なドライブに一層貢献します。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［1］

プリクラッシュセーフティ

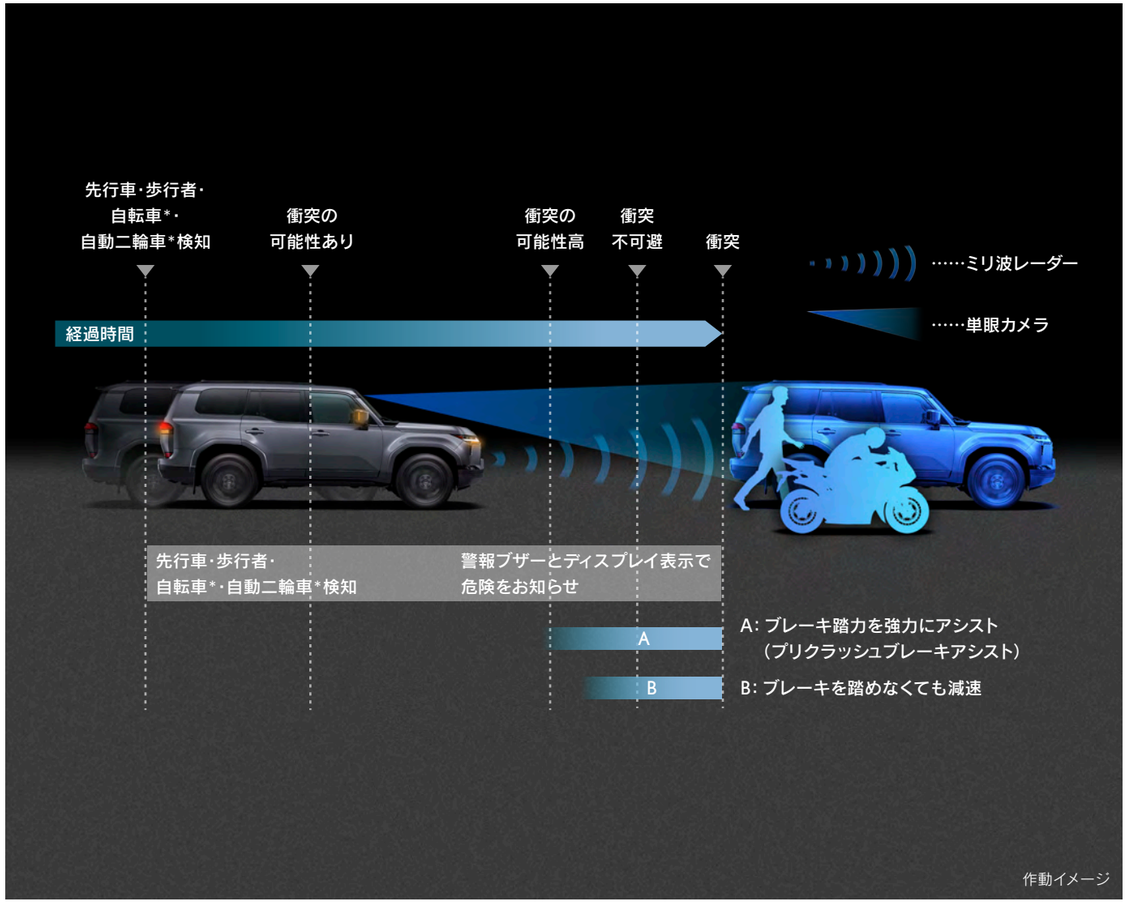
（歩行者〔昼夜〕・自転車*〔昼夜〕・自動二輪車*〔昼〕検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式）

進路上の車両、歩行者、自転車*、自動二輪車*をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、ブザーとディスプレイで危険をお知らせ。ブレーキを踏めた場合はブレーキ踏力をアシスト、踏めなかった場合は自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。なお、対向車に対しては正面から衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

＊人が乗車している状態を作動対象としています。

※対向車に関しては、正面衝突、相手車逸脱による対向車との衝突に対応。プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

※プリクラッシュブレーキは、対車両の場合は自車速度約5km/h～180km/h、対歩行者、自転車*の場合は自車速度約5km/h～80km/hで作動します。また、本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車*の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。数値は社内測定値。



⚠ Lexus Safety System ＋を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System ＋は予防安全パッケージです。
ご契約に際し、Lexus Safety System ＋、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

ご使用になる際のお客さまへのお願い

■運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
■各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
■ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。
■お客さまご自身で作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

※Lexus Safety System ＋の一部のプログラムは、DCMによる無線通信により、レクサス販売店に入庫することなくつねに最新のソフトウェアに更新できます。 ※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。 ※お客さまの安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア更新が必要になった場合には、お客さまの更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。また、この場合にお客さまが許諾していなかった他の機能も含めて最新バージョンに更新される場合があります。 ※ソフトウェアを更新すると、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されることがあります。変更・追加された内容は、lexus.jp内の最新の取扱説明書で確認することができます。 ※無線通信によるソフトウェアアップデートはG-Link契約が必要です。

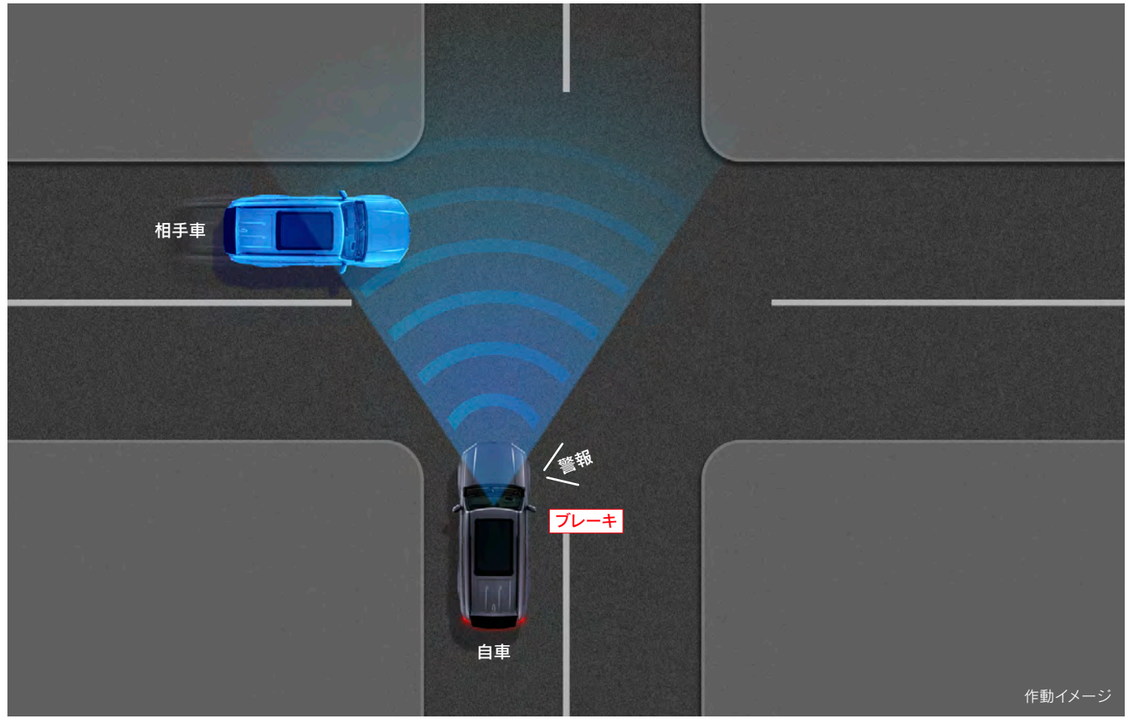
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［2］

＜交差点衝突回避支援（出合頭車両）＞

従来のプリクラッシュセーフティの作動範囲に加え、交差点で交差する車両・自動二輪車*に対しても、衝突回避の支援を行います。衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

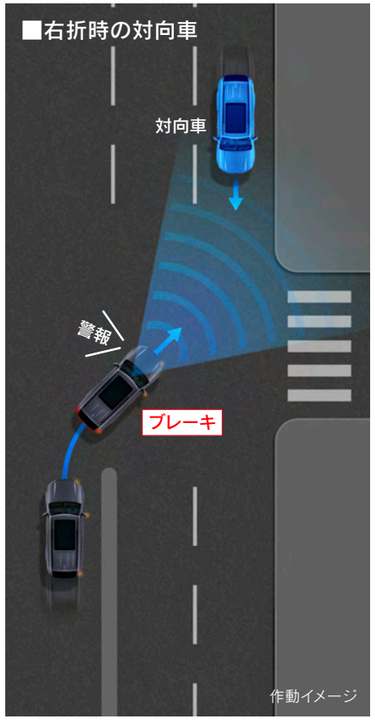
＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。
※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

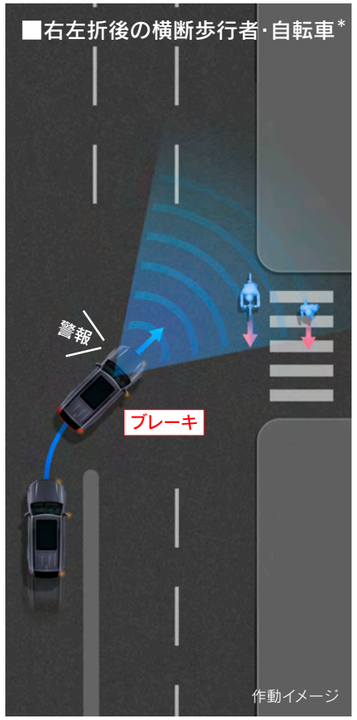


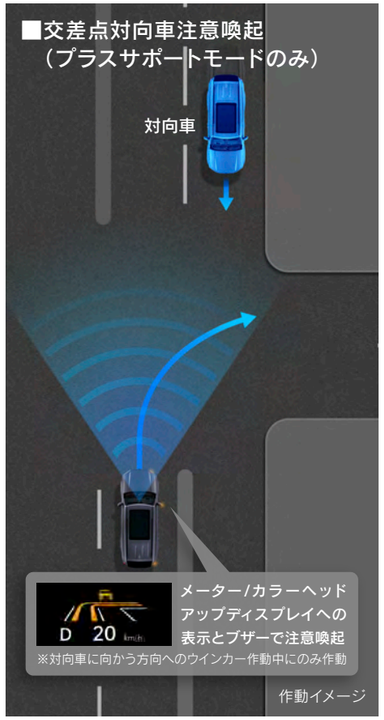
＜交差点衝突回避支援（右左折）＞

交差点右折時に直進してくる対向車（隣接2レーンまで）および右左折時に横断してくる歩行者・自転車*をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報およびブレーキを作動させることで、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、プラスサポートモード中の場合は、右折時の対向車に対してより早いタイミングで表示とブザーで接近を伝えます（交差点対向車注意喚起）。

＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。 ※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。







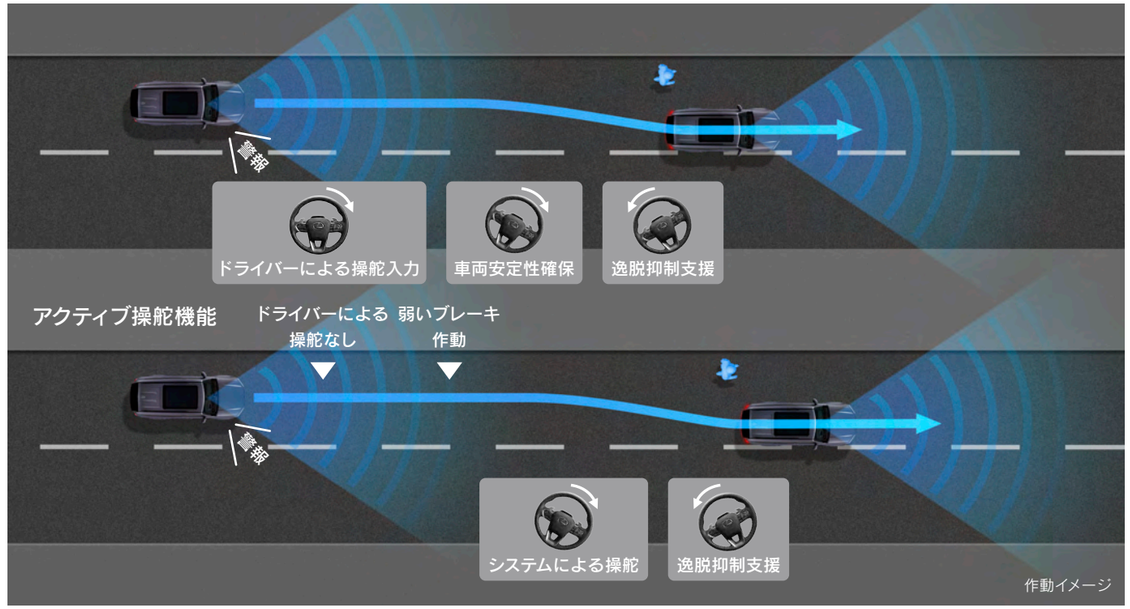
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［3］

＜緊急時操舵支援＞

歩行者、自転車*、自動二輪車*、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。また、ドライバーによる操舵がなくてもシステムが弱いブレーキをかけながら操舵を行い、車線内での衝突回避を支援するアクティブ操舵機能を設定しています。

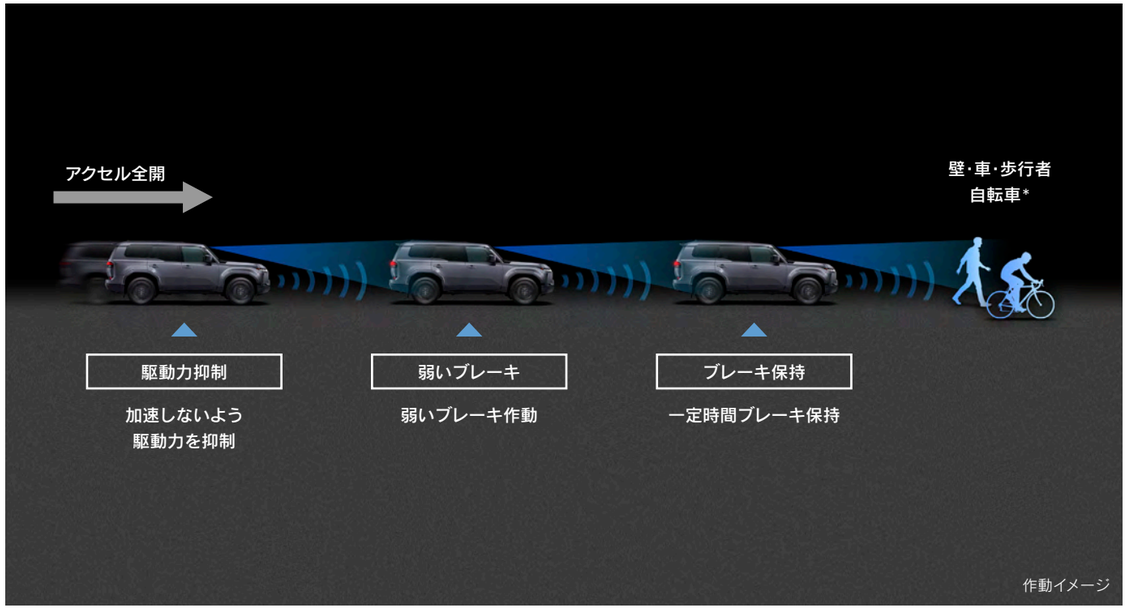
＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。
※横断歩行者など一定以上の横速度を持った対象には作動しない場合があります。



＜低速時加速抑制＞

低速時の自車の直前にある壁、歩行者、自転車*、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）［PKSB］の代替機能となるシステムではありません。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

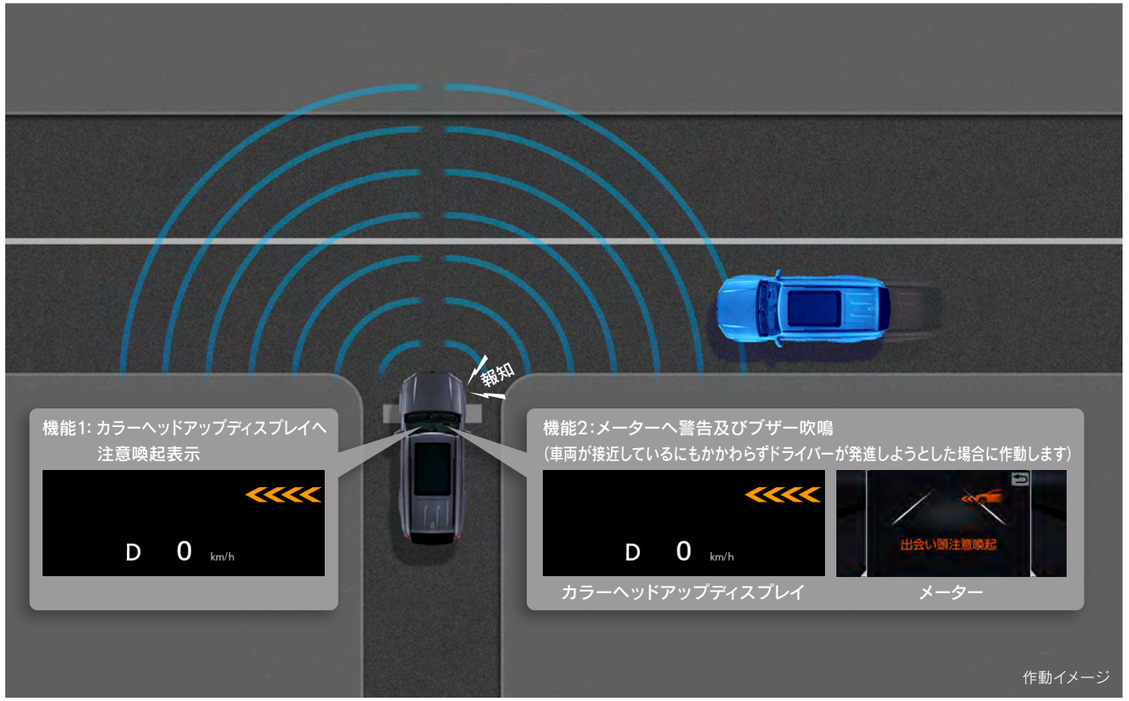
幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［4］

＜フロントクロストラフィックアラート［FCTA］＞

交差点に進入する際など、左右から接近する車両を検知すると、カラーヘッドアップディスプレイで車両が近づいてくる方向をアニメーションで表示し、ドライバーが気づきやすい注意喚起を行います。車両が接近しているにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合は、表示とブザー音で、さらに注意を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※フロントクロストラフィックアラート［FCTA］はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。



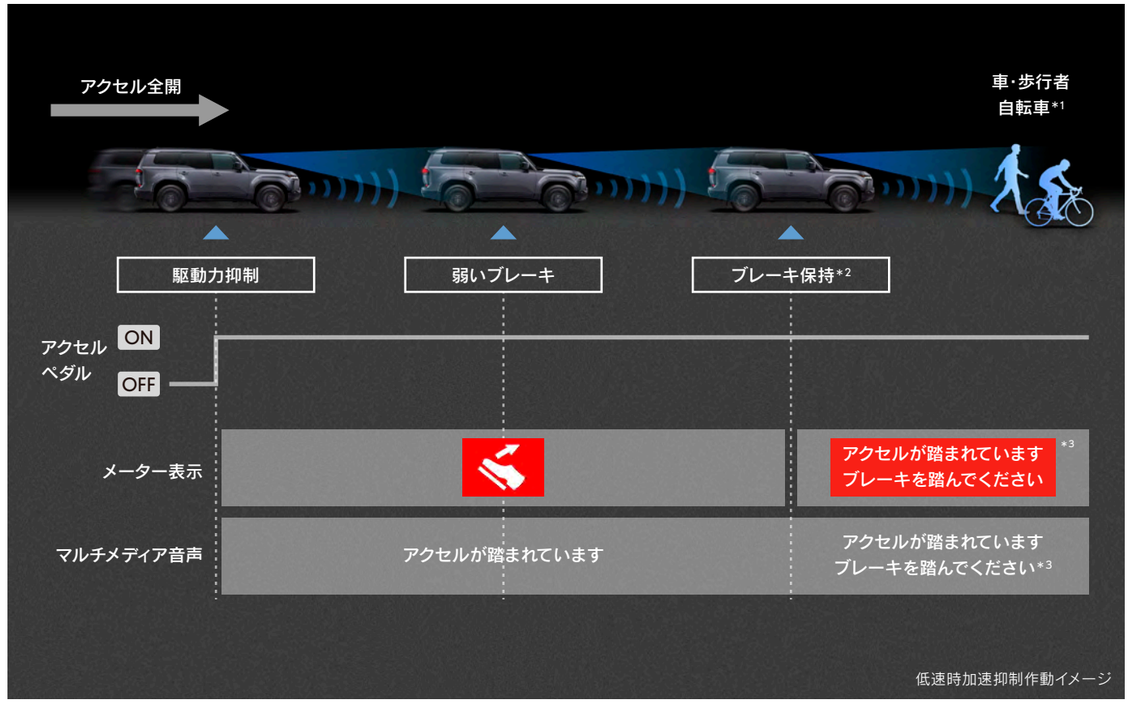
作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

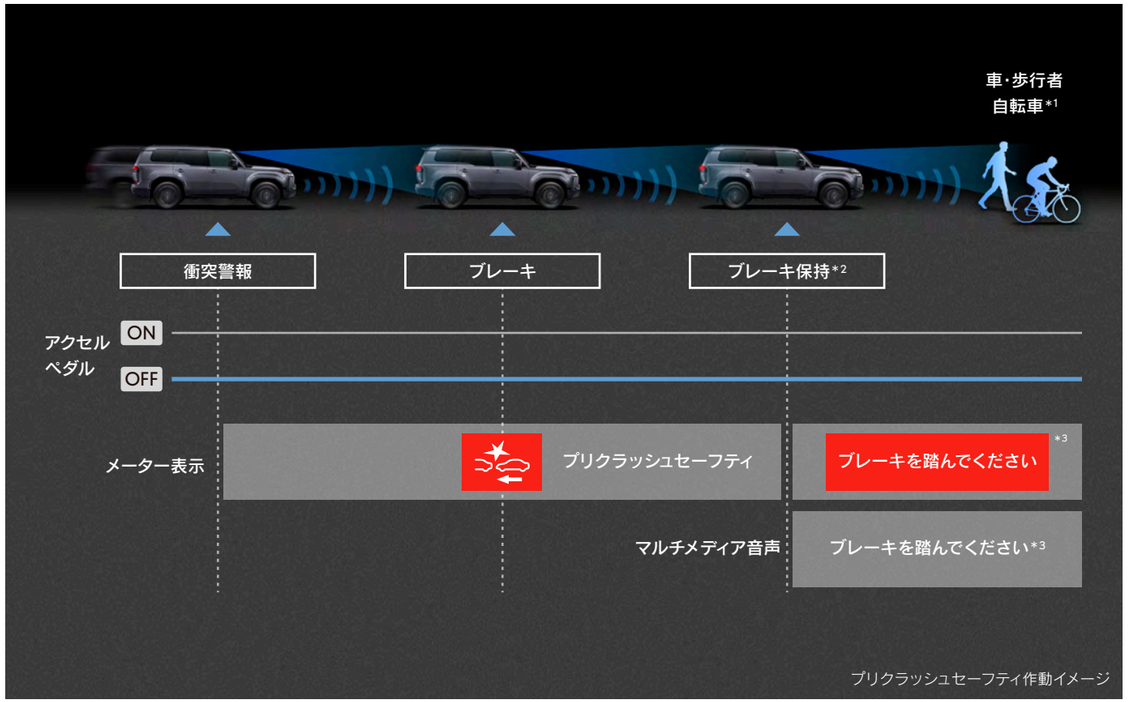
幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［5］

＜音声発話（プラスサポートモードのみ）＞

下記のシーンにおいて、メーター表示と音声発話を行いドライバーへ通知します。



低速時加速抑制作動イメージ



プリクラッシュセーフティ作動イメージ

＊1. 人が乗車している状態を作動対象としています。
＊2. 衝突前に車両が停止した場合のみ作動。
＊3. プリクラッシュセーフティの作動状況によって上記の通りにならない場合があります。

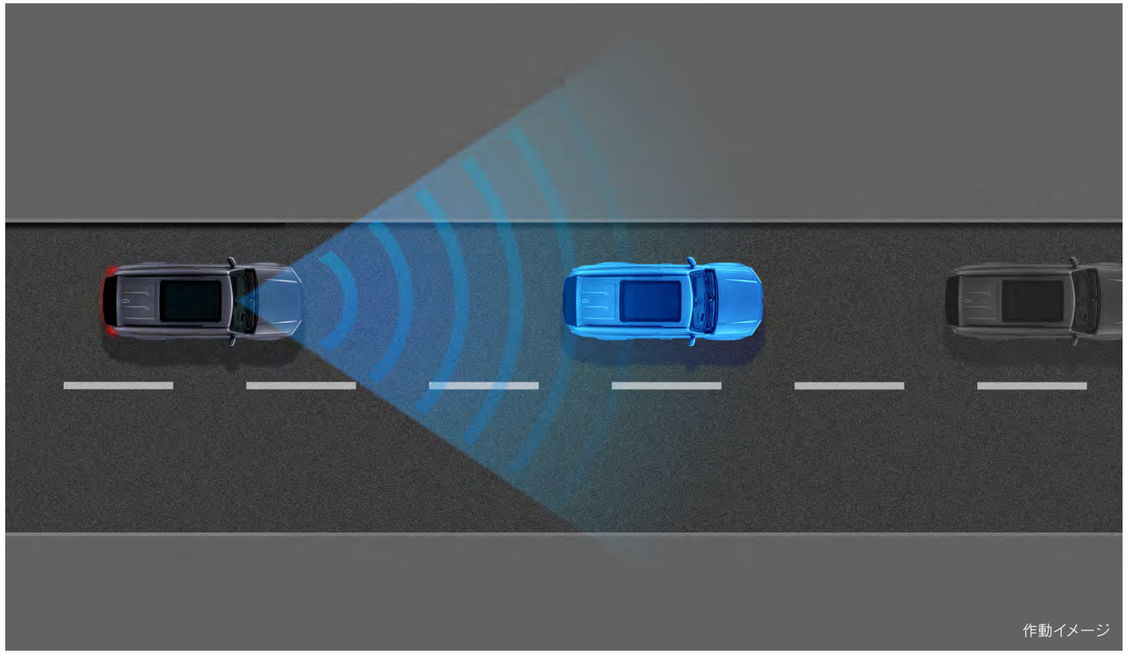
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適なクルージングをサポートするレーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、設定した車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など、停止・発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。また、ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより前方認識範囲を拡大。先行車認識、進路判定、割り込み車検知などに対し、すぐれた認識性能を確保しています。また、約80km/h以上でウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または、車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施。スムーズな追い越しや車線変更が行えるようにしました。さらに、レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると、早期に速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。また、レーダークルーズコントロール作動中に、音声対話サービスを使用して、設定車速と車間設定を変更できます。なお、制御の開始、車間制御モードと定速制御モードの切り替えを、シンプルなスイッチ操作で行うことができ、すぐれた使用性も追求しています。

※車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。
※設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。


作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適なクルージングをサポートしてくれるLDA / LTA / LCA [1]

レーンディパーチャーアラート[LDA]

車線逸脱の可能性をドライバーにお知らせします。システムのON/OFFは、タッチディスプレイにて行うことができます。

＜車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能＞

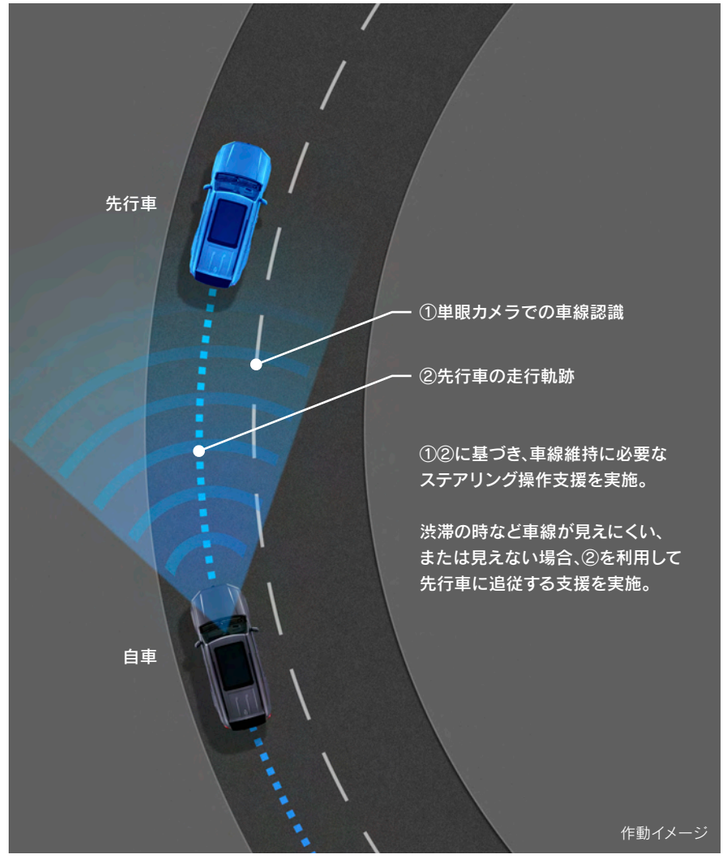
車線から逸脱するおそれがある場合にカラーヘッドアップディスプレイ、メーターへの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。また、ブラインドスポットモニター[BSM]と連携して方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があると判断した場合、車線逸脱警報/抑制機能が作動し、音声でお知らせします。さらに、歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は車線逸脱警報/抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。車線だけでなくアスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。

レーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時、車線維持に必要なステアリング操作支援を行います。なお、システムのON/OFFは、ステアリングホイール上に設置されたメインスイッチで行うことができます。

＜車線維持支援機能＞

緩やかなカーブで操舵を支援し、滑らかにふらつき少なくレーン中央をキープする走行が可能です。車線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を走路中央からオフセットする制御を採用。隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、一般的なドライバーの運転と同様に、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。



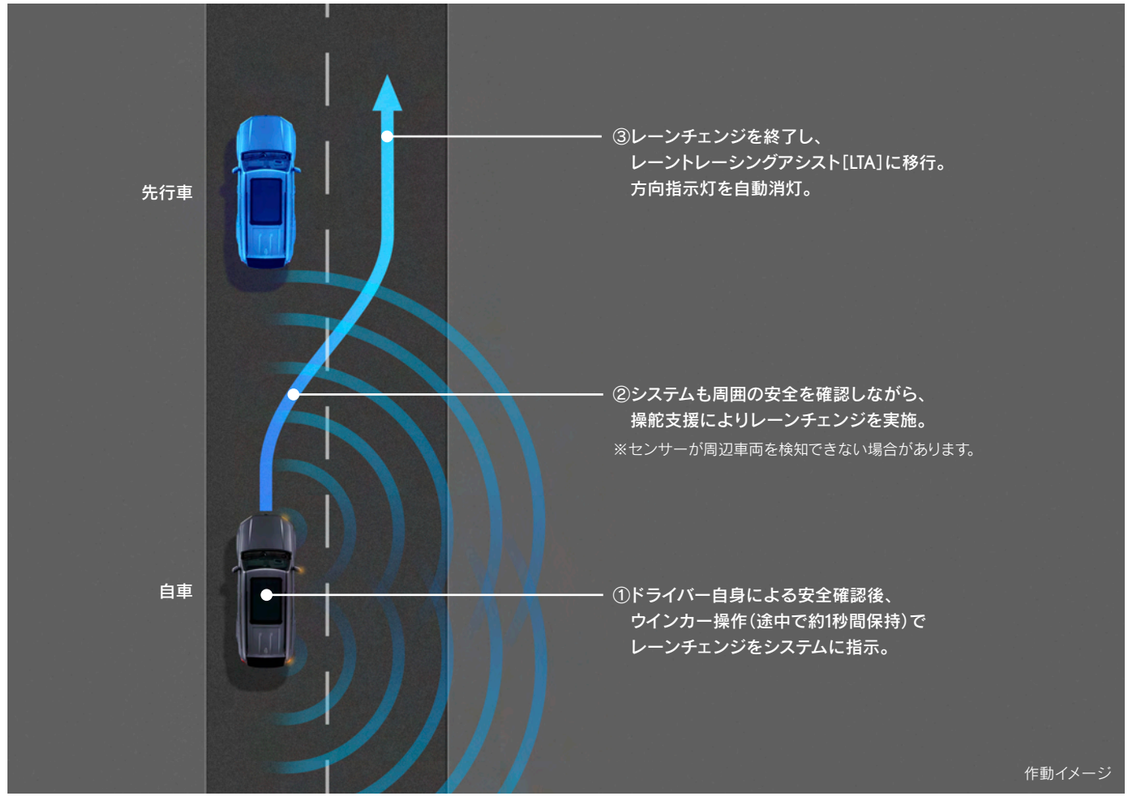
作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適なクルージングをサポートしてくれるLDA / LTA / LCA [2]

レーンチェンジアシスト[LCA]

高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行中、車線維持支援機能が作動中にレーンチェンジのための操舵、加減速、車線変更先車両監視の支援を行います。ドライバーのウインカー操作が支援開始の合図となり、レーンチェンジの操舵支援を行います。



※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。 ※レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ※故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が停止します。 ※例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しないおそれがあります。 ●車線または走路の認識が困難なシーン（悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など） ●タイヤに変化がある時（応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など） ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時（ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など） など ※レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]は約70km/h～130km/hで作動します。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]はナビゲーションにて自動車専用道路と認識していない場合には作動しません。 ※作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。 ●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ※レーントレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず、レーンチェンジアシスト[LCA]が作動しません。●ステアリング手放し警告をしている場合 ●レーンチェンジアシスト[LCA]が作動できない条件下で、一定時間ウインカーの使用を継続した時 など ※例えば次のような条件下では、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しない場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●周辺車両が大型車（トラック、バス、トレーラーなど）、二輪車などの場合 ●速度差が大きい追い越し、追い越され時 など ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンチェンジ中であってもレーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。●周辺車両が接近している時 ●ステアリング手放し警告をしている場合 など

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

道路標識の見落としを減らすロードサインアシスト

ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識を、メーターに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知します。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

うっかりにも夜道にも万一にも備える、幅広いサポート［1］

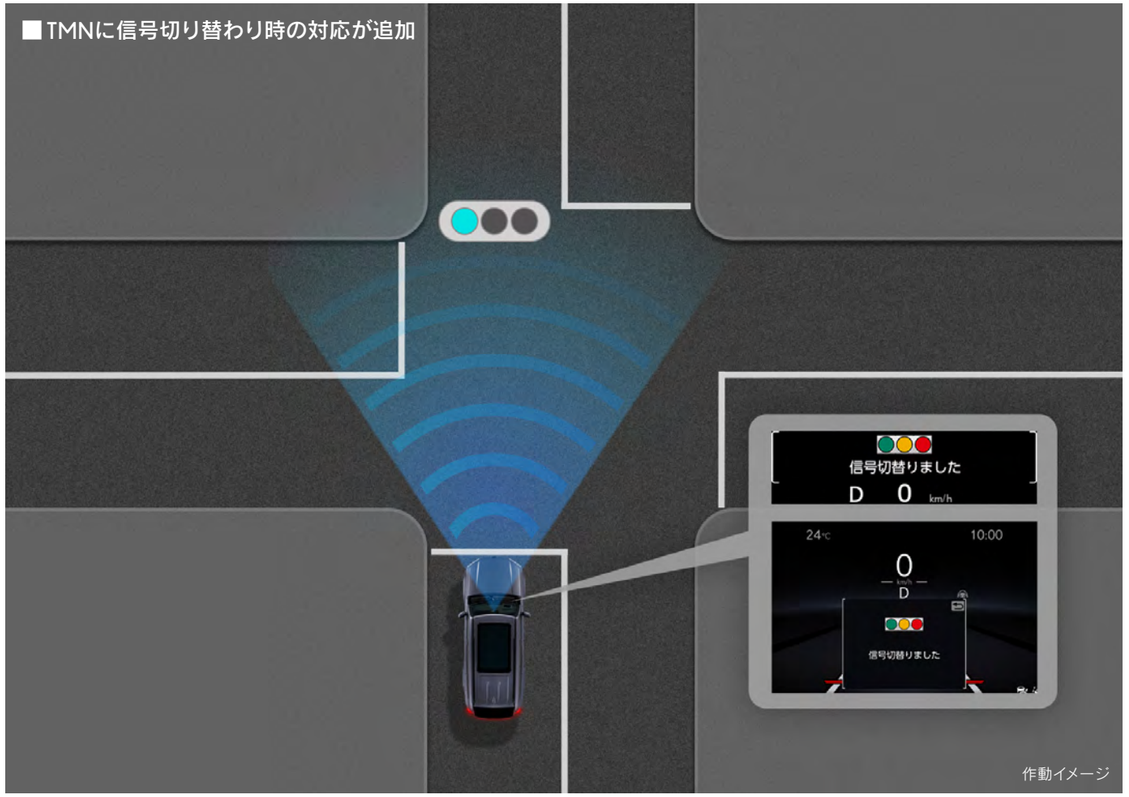
発進遅れ告知機能［TMN］

信号の表示や先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点先頭で停止時に信号の停止表示が解除されても自車が停止し続けた場合、または、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、メーター表示、およびブザーなどでお知らせします。

※右折矢印信号も検知可能です。

※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。

※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

うっかりにも夜道にも万一にも備える、幅広いサポート［2］

ブレードスキャン®アダプティブハイビームシステム［AHS］

夜間の視認性を飛躍的に高めるブレードスキャンAHS。高速回転するブレードミラーにLEDの光を反射させ、その残像効果によって滑らかに前方を照らします。また、ブレードミラーの回転に合わせてLEDの点灯・消灯を制御することで、照射エリアと遮光エリアをきめ細かく調整。遠方の歩行者や路肩、標識などをより早く認知できる配光を実現します。さらに、先行車や対向車に直接ハイビームを当てないように部分的に遮光するなど、夜間走行時のストレスを軽減し、安全運転に寄与します。

※自車速度約15km/h以上で作動します。
※本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト［LTA］制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザード・ホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット®*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

＊ヘルプネットはG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。
※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路（一部を除く）を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。

ドライバーの状態を検知して注意喚起を行うドライバーモニター

ドライバーモニター

ドライバーの不適切な運転状態（脇見、居眠り等）が要因の事故を低減するために、ドライバーの状態を確認し、不適切な状態であると推定された場合、素早く注意喚起を行います。顔向き検知、開閉眼検知に加え、視線を検知することにより、顔向きだけでは検知できない脇見シーン（例えば、正面を向いて視線を落として携帯を見るようなシーン）も検知することができます。





メーターディスプレイの警告表示

＜脇見等を検知した場合＞

システムが脇見や閉眼状態であると判断した場合、メーター表示やブザー音で注意喚起。



＜ドライバーモニターが加わった機能＞

・プリクラッシュセーフティ
・レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）
・レーンディパーチャーアラート［LDA］
・ドライバー異常時対応システム

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

留意事項：ドライバーモニターが正常に作動しないおそれがある状況

次のような状況のとき、ドライバーモニターカメラは運転者の顔を検知できず、機能が正常に作動しないおそれがあります。

- 炎天下での駐車後など、車内が高温のとき
- 強い光（太陽光や後続車のヘッドランプ光など）がドライバーモニターカメラにあたっているとき
- 周囲の構造物の影響などで、車内の明るさがひんぱんに変化しているとき
- 強い光（太陽光や対向車のヘッドランプ光など）が運転者の顔にあたっているとき
- 眼鏡・サングラスのレンズに光が映り込んでいるとき
- 助手席や後席の乗員が身を乗り出すなど、ドライバーモニターカメラの検知範囲に複数の顔があるとき
- 前に身を乗り出したり、窓から顔を出したりするなど、顔がドライバーモニターカメラの検知範囲から外れているとき
- ステアリングやステアリングを握る手・腕などでドライバーモニターカメラが隠れたとき
- 帽子を深く被っているとき
- 眼帯を着用しているとき
- 眼鏡をかけているとき
- 赤外線を通しにくいサングラスをかけているとき
- コンタクトレンズをつけているとき
- マスクを着用しているとき
- 笑ったり、眼を細めたりしているとき
- 眼・鼻・口や、顔の輪郭が隠れているとき
- 眼・鼻・口・顔の輪郭が判定できなくなるような化粧をしているとき
- 眼鏡・サングラスのフレームや髪などで眼が隠れているとき
- 車内に近赤外線光源を搭載した機器（市販のドライバーモニタリングシステムなど）があるとき

⚠警告

安全にお使いいただくために

- ドライバーモニターは運転者の不注意行動や姿勢崩れを未然に防ぐものではありません。
  つねに周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- ドライバーモニターは運転者の眠気を解消するものではありません。
  集中力の低下や眠気を感じたら、適度に休憩や仮眠を取り、安全運転に努めてください。

運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト[1]

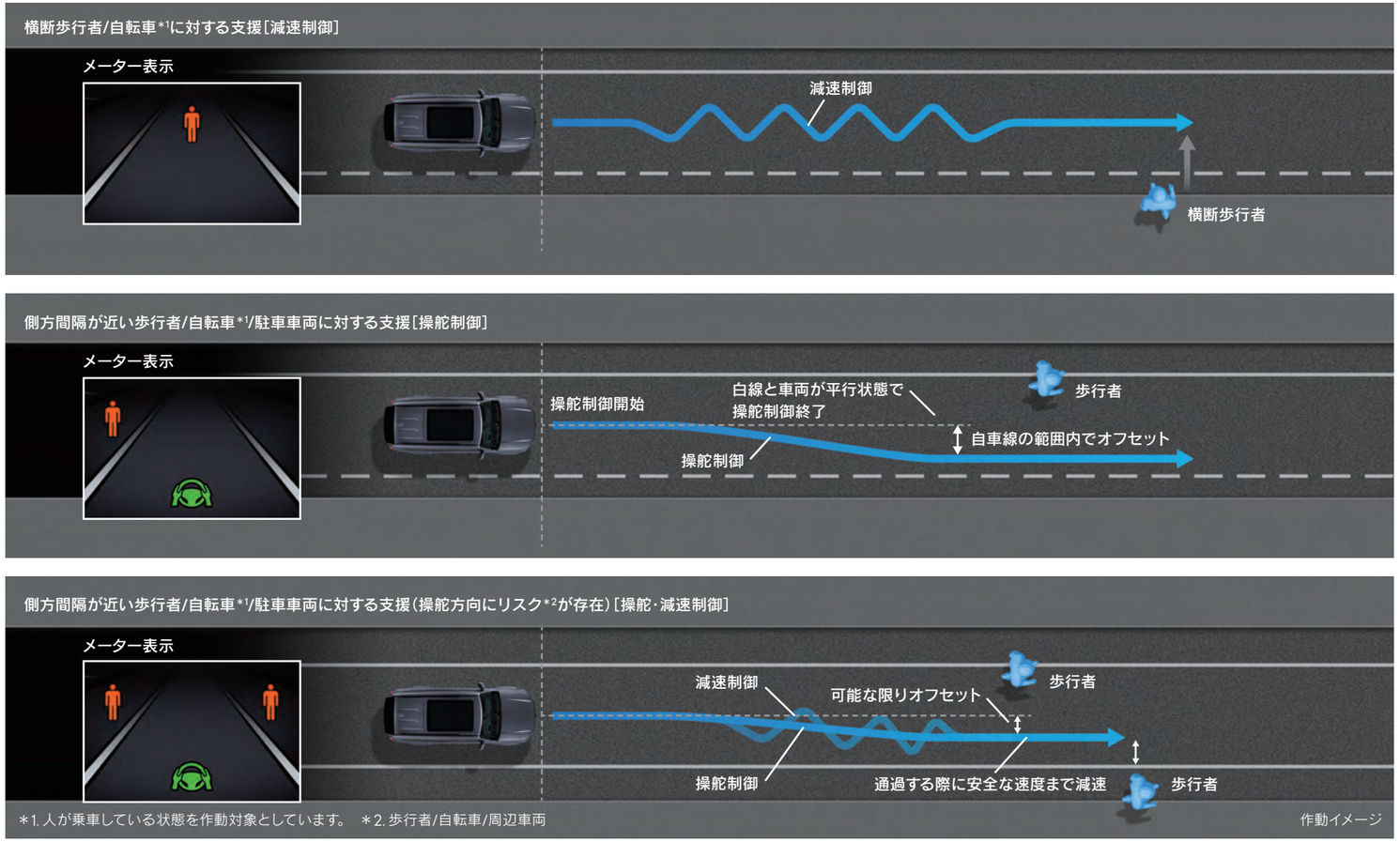
プロアクティブドライビングアシスト[PDA]

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作をサポートし、頻繁な踏みかえ操作を軽減することにより、一般道などのシーンでドライバーの運転に寄り添い優しくサポートする機能です。以下5つを備え、運転状況に応じて適切な操作をサポートします。

1. 歩行者/自転車*1/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

※本支援は自車速が約30km/h～約60km/hのときに作動します。



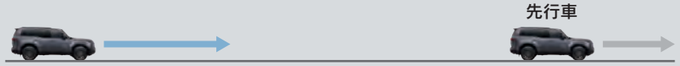
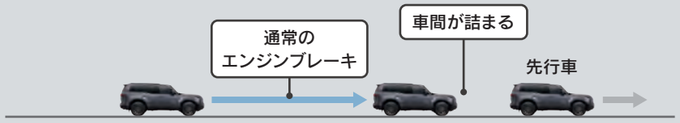
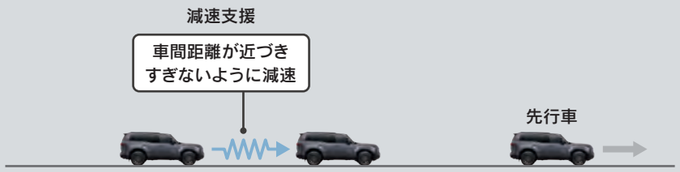
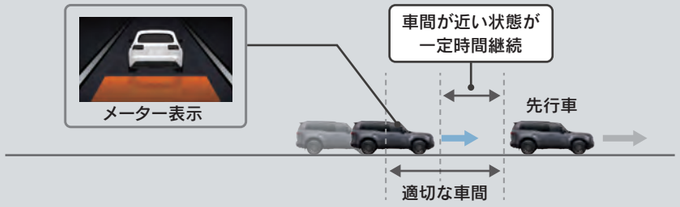
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［2］

2. 先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

※約15km/hまで減速すると、システムによるブレーキアシストは停止します。

車間が近づく時	1	先行車の有無にかかわらず、ドライバー自身のアクセル操作によって加速・追従	
	2	先行車との車間が詰まった際に、ドライバーがアクセルOFF	
	3	＜減速支援なしの場合＞ 通常のエンジンブレーキで減速し、車間距離が詰まる	
		＜減速支援作動時＞ 車間距離が近づきすぎないように減速支援	
車間が近い時	1	車間が近い状態が一定時間継続した場合、ディスプレイに表示する	

作動イメージ

3. カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。





※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

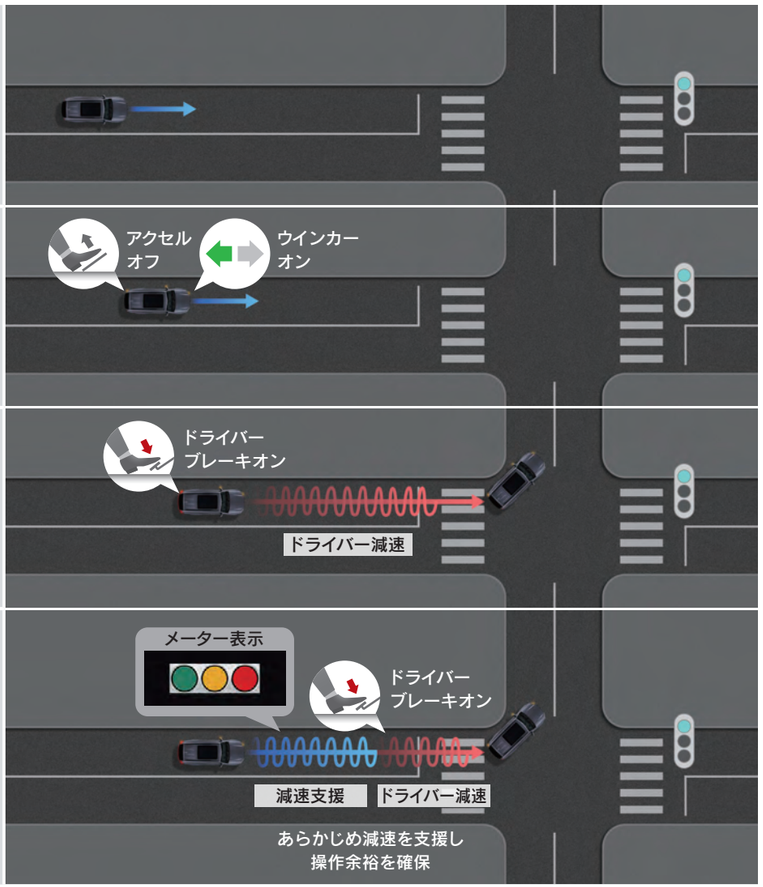
運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［3］

4. 信号交差点に対する右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFFとウインカー操作に応じて、緩やかに減速します。

※本支援は自車速が約30km/h～約80km/hのときに作動します。

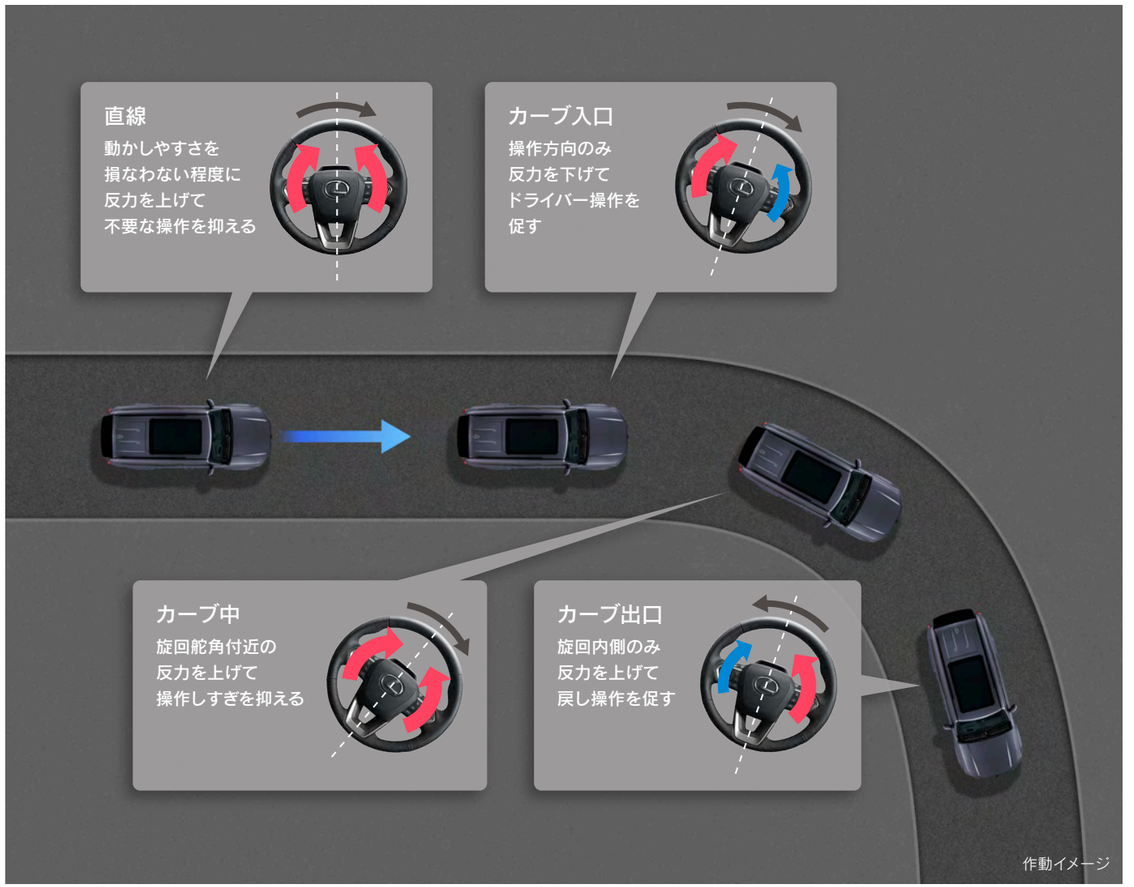
1	ドライバー自身のアクセル操作によって交差点に接近	
2	交差点に近づいたときにドライバーがアクセルオフ、ウインカー操作	
3	＜減速支援なしの場合＞ ドライバーのブレーキ操作で交差点に対して減速	
	＜減速支援作動時＞ あらかじめ減速を支援し、右左折時の操作余裕を確保	



作動イメージ

5. 車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリングの反力変化で操作をサポートします。反力変化のみでステアリングを自動で回すことはありません。



作動イメージ

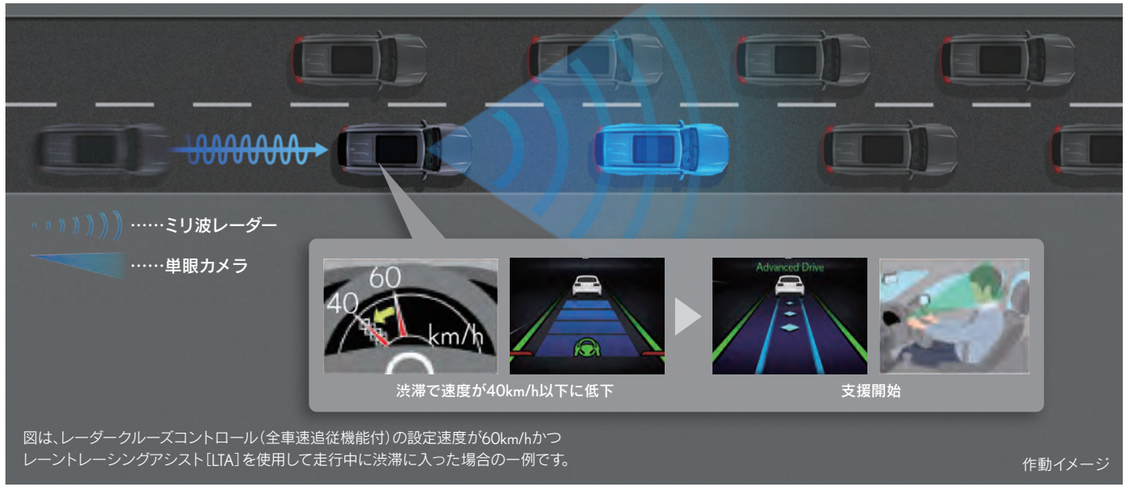
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

システムが認知・判断・操作を支援するLexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）

一部の高速道路・自動車専用道路をレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）、およびレーントレーシングアシスト［LTA］を作動させての運転中、渋滞（0-40km/h）になるとドライバーが周囲の監視をしているなど一定の条件を満たしていると、システムが認知・判断・操作を支援します。

・支援開始

Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）は、渋滞を検知するとマルチインフォメーションディスプレイ表示によるお知らせの後、自動的に支援を開始します。渋滞を検知し、ドライバーが周囲を監視している状態で自車速度が約40km/h以下になるとマルチインフォメーションディスプレイに“Advanced Drive”と表示し、車線維持・加減速・停車・発進を支援します。

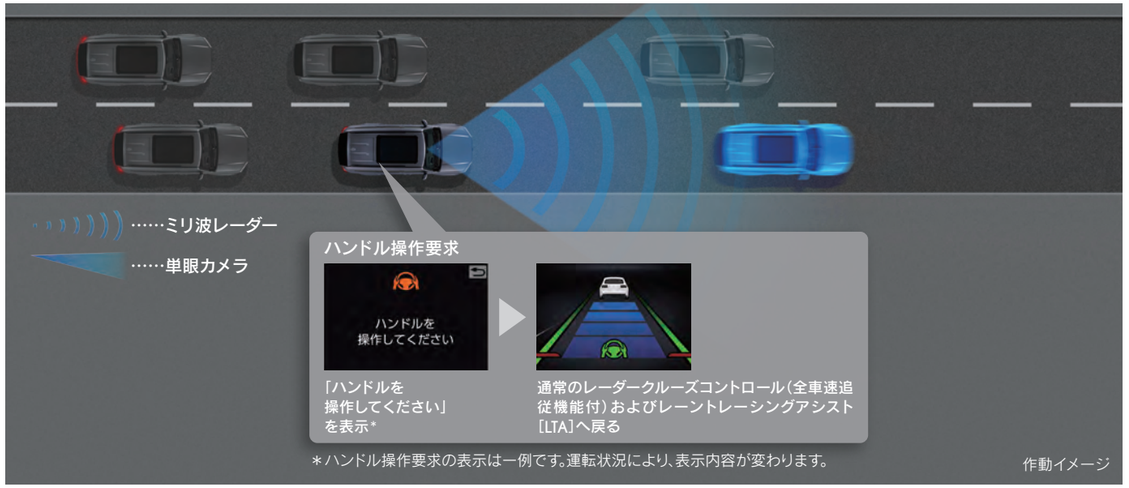


図は、レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）の設定速度が60km/hかつレーントレーシングアシスト［LTA］を使用して走行中に渋滞に入った場合の一例です。

作動イメージ

・支援終了

渋滞が解消し、Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）終了時は、ドライバーにハンドル操作を促すために、マルチインフォメーションディスプレイの表示とブザーで通知し、支援を終了します。



＊ハンドル操作要求の表示は一例です。運転状況により、表示内容が変わります。

作動イメージ

⚠ 警告: Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）を安全にお使いいただくために

・システムの作動中は、ドライバーモニター監視のもと、手を離して運転することができますが、自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず常に周囲の状況を把握し、必ず安全確認をしながら運転してください。 ・周囲の状況・道路の状態・ドライバーの状態によっては作動しないことがあります。 ・状況に応じてディスプレイ表示でハンドルの操作を促すことがあります。その際はただちにドライバー自身でハンドル・ブレーキ・アクセルの操作を行い、安全を確保してください。 ・認識性能・制御性能には限界があるため、システム作動中であってもドライバー自身の操作で安全を確保する必要があります。例えば、自車の前方に割り込み、工事区間、落下物等のシーンでは、必要に応じて自らハンドル・ブレーキ・アクセルを操作してください。 ・正常に作動していたとしても、運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者は行う必要があります。システムに頼ったり安全を委ねる運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。 ・本システムは地図情報をもとに制御するため、工事などで実際の道路状況と地図情報が異なる場合、正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。 ・システム作動中でも運転者での操作が必要となる状況があるため、運転者自身で視界を確保する必要があります。つねに視界を確保できるよう、次の機能をご使用ください（ヘッドランプ／ワイパー／フロントデフロスタ・リヤウインドゥデフォッガー・ドアミラーヒーター）。 ・例えば次のようなシーンでは自動車専用道路上でも本システムは作動しません（中央分離帯がポール等で区切られている暫定供用区間、サービスエリア、料金所、路線新設された道路等）。 ・例えば次のようなものの検出には限界があります。必要に応じて自らハンドル・アクセル・ブレーキを操作してください（自車の前方に割り込みがあったとき、他車は接近してきたとき、工事区間、落下物等）。 ・衝突等の事故発生時にドライバーモニターカメラによる映像を記録することがあります。 ・本システムは地図情報をもとに作動します。ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、G-Link・コネクティッドナビの契約切れであっても地図情報を利用できるため、本システムの継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。 ・公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。 ・詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

周辺監視システムの拡充

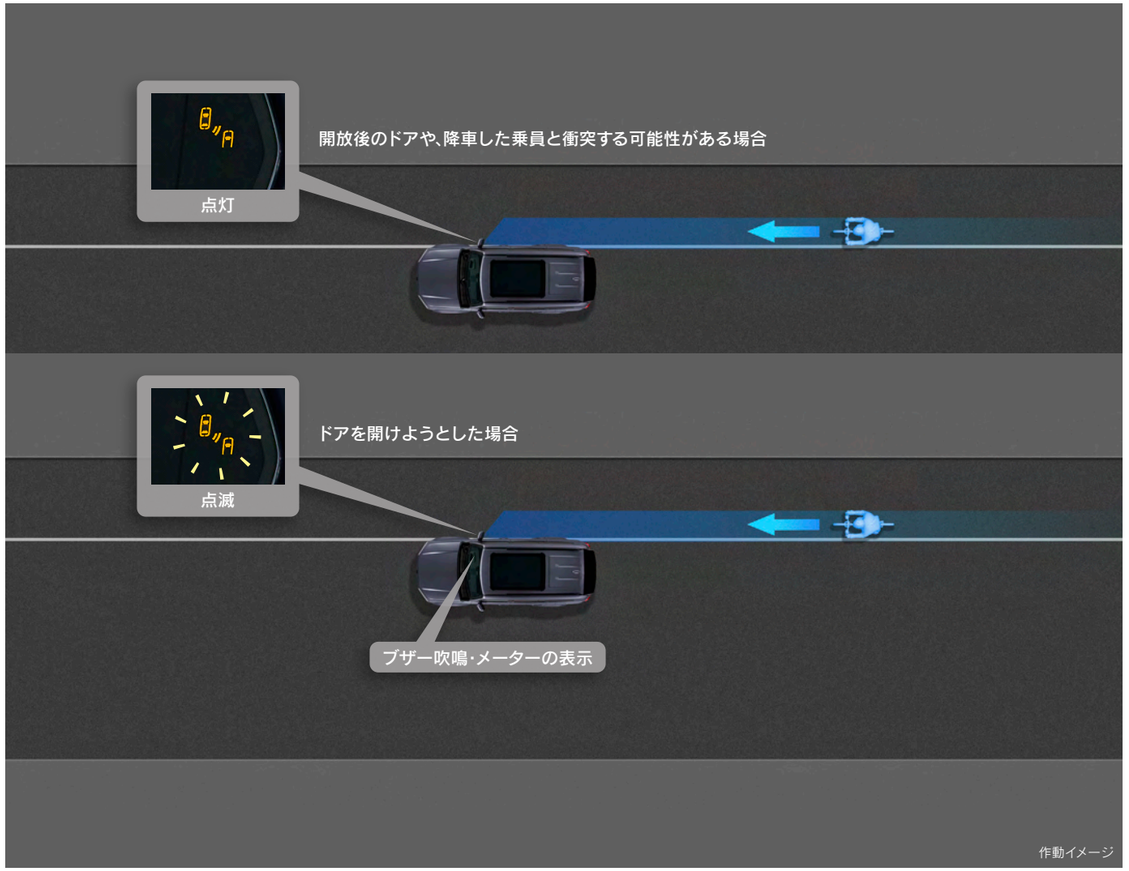
安心降車アシスト[SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター[BSM]のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるとシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケーターを点灯させ注意を促します。また、ドアを開けようとした場合、ドアミラー内のインジケーター点滅、ブザー、メーター表示で乗員へ告知します。

※検知対象の目安となる大きさは、小型の二輪車よりも大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止物に対してもインジケーターが点灯する場合があります。
※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※安心降車アシスト[SEA]、ブラインドスポットモニター[BSM]はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

ブラインドスポットモニター[BSM]

ブラインドスポットモニター[BSM]は、走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約70m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅するとともにブザーが吹鳴し、より注意を喚起します。



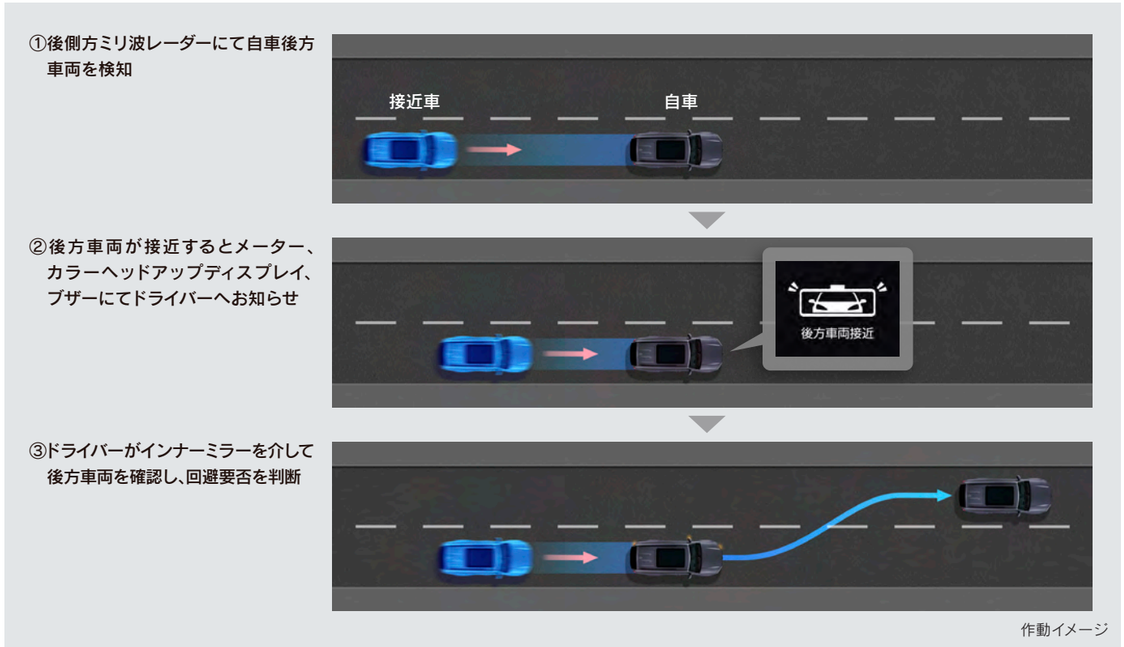
作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

後方を見守ってくれる安心のアシスト

後方車両接近告知

ブラインドスポットモニター［BSM］の後側方ミリ波レーダーで自車後方の車両を検知し、後方車両が接近した場合には、メーターやカラーヘッドアップディスプレイ、ブザーにてお知らせ。インナーミラーへ視線誘導し、後方車両の回避要否の判断をアシストします。

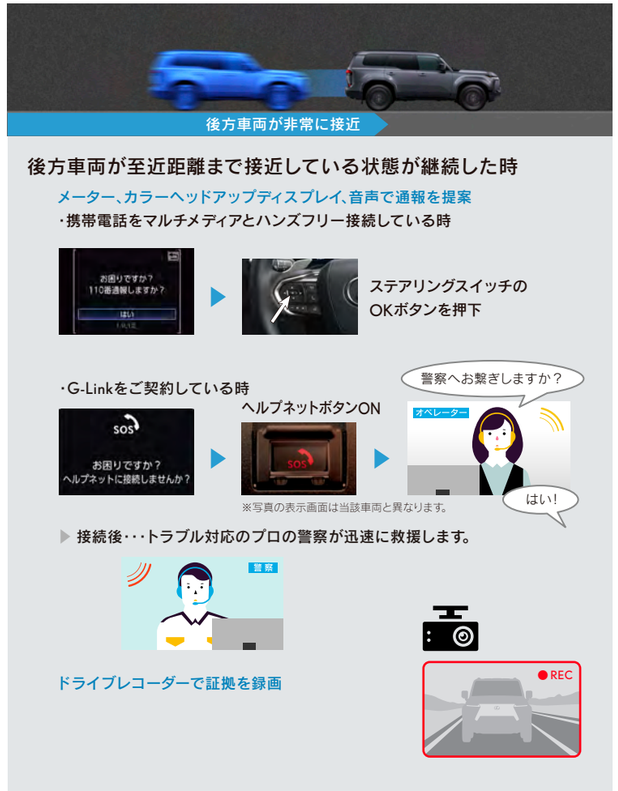


作動イメージ

周辺車両接近時サポート（録画機能・通報提案機能）

後方車両が非常に接近した場合、システムからドライバーに警察もしくはヘルプネット®＊への接続を提案。対処方法をお伝えします。また、ドライブレコーダー（前後方）には、常時記録に加えて「イベント記録とお知らせ」を実施。状況を自動録画し、専用記録領域へ保存されるので上書きされにくくなります。

＊ヘルプネットはG-Linkに含まれるサービスです。
G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。



※後方車両接近告知/周辺車両接近時サポート（録画機能・通報提案機能）はあくまで運転補助機能です。
本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

追突の可能性を後続車に伝え、追突事故の被害軽減に貢献

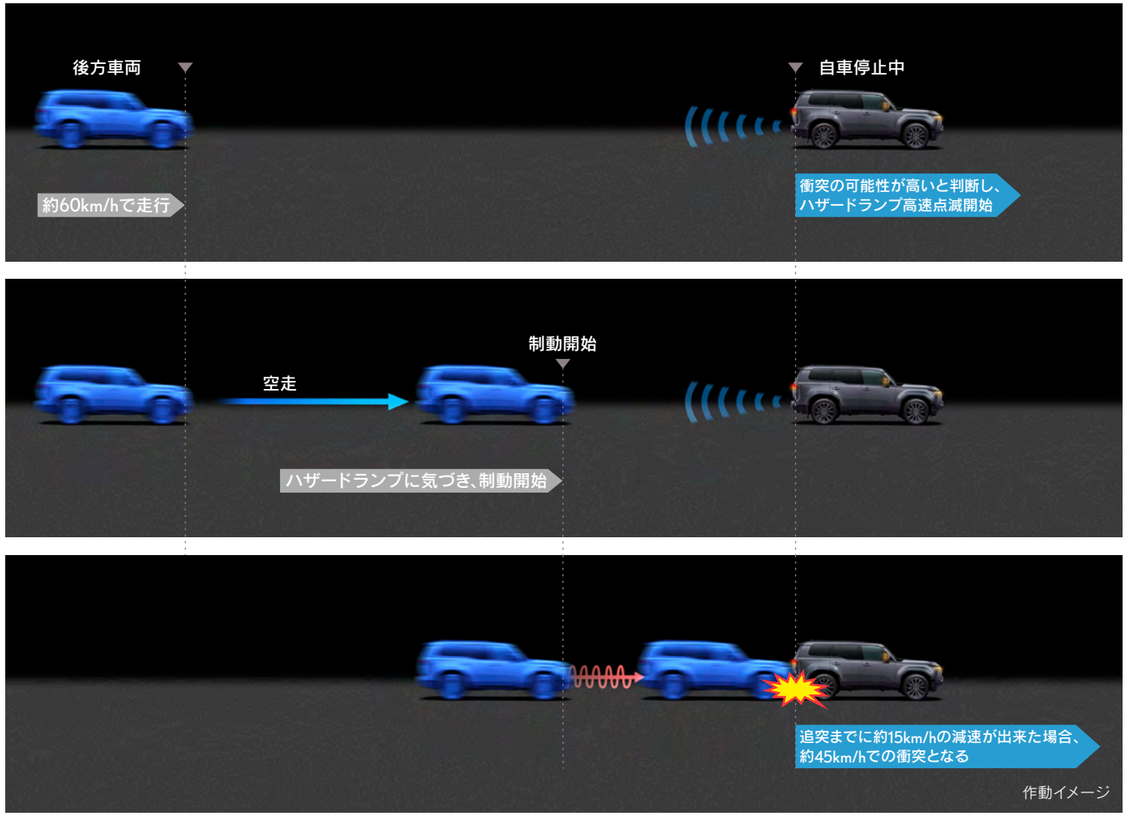
後方車両への接近警報

追突の可能性が高い後続車に対し、ハザードランプを高速点滅させて注意喚起します。自車両と同一レーンを走行する後続車をブラインドスポットモニター［BSM］の後側方ミリ波レーダーにより検知し、後続車との距離、相対速度、方向等から追突の可能性を判断します。追突される可能性が高い場合にハザードランプを約2秒間高速点滅させ、後続車に注意喚起します。

作動条件

検知対象	トラック、バス、乗用車
作動自車速度	全車速 （約10km/h以上の場合はブレーキON時のみ作動）
電源/シフト条件	イグニッションON/シフトRポジション以外
ターンシグナル操作	ターンシグナル操作をしていないとき
ハザード操作（マニュアル）	ハザード操作していないとき
後続車相対速度	約30～100km/h

※後方車両への接近警報はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

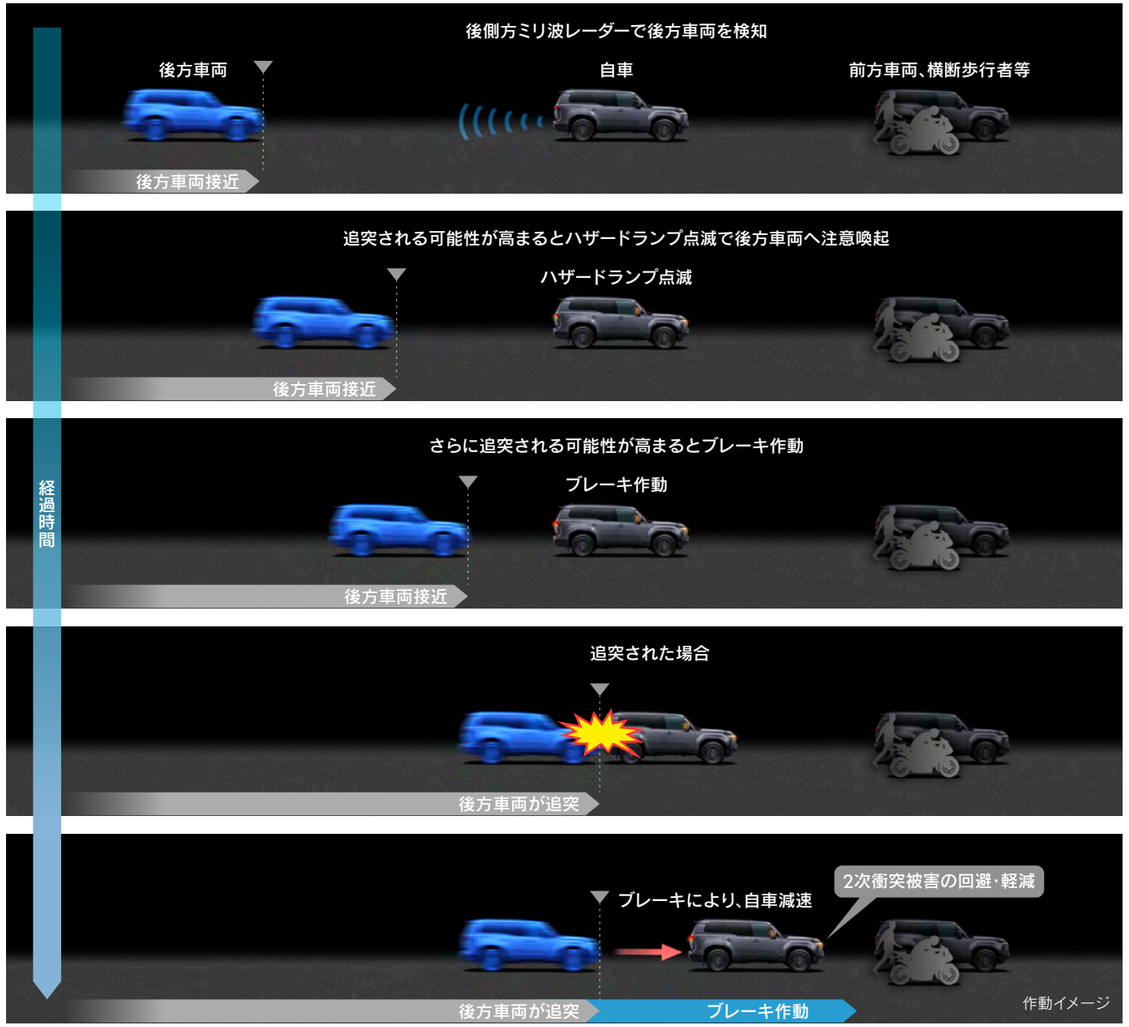
被追突時の2次衝突被害の回避・軽減に貢献

セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）

自車が停車中、ブラインドスポットモニター［BSM］の後側方ミリ波レーダーで後方車両を検知し、追突される可能性が非常に高いとシステムが判断すると、自車のブレーキを作動させます。その後追突された場合に自車の速度を減速し、2次衝突被害の回避・軽減に貢献します。自車走行中に前突・側突された後にブレーキを作動させる従来のセカンダリーコリジョンブレーキに対して、停車中後突対応は後側方ミリ波レーダーを使用することで新たに後突に対応するとともに、衝突前からブレーキを作動。より早期での減速が可能です。

	支援方向			自車状態	作動開始タイミング
	前方	側方	後方		
従来のセカンダリーコリジョンブレーキ	○	○	—	走行中	衝突後
セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）	—	—	○	停車中	衝突可能性前

※セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。



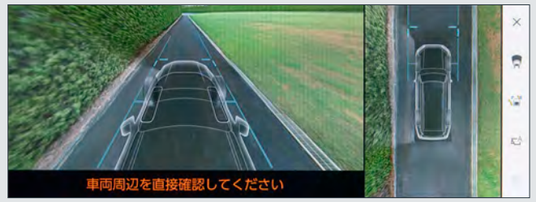
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

死角を減らし視界をひらくアイテム［1］

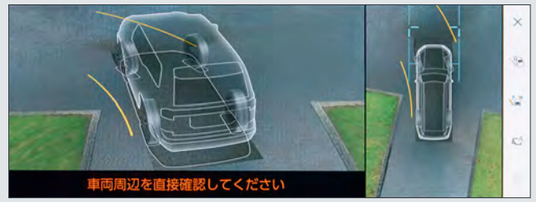
パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付） “version L”

車両の前後左右に搭載したカメラから取り込んだ映像を合成し、車両を上から見たような映像を表示。運転席から目視しにくい車両周囲の状況をリアルタイムで確認できます。ボディやシートを透かして見たようなシースルービューや、車両を後ろ上方から見たような映像を表示し、車両側方の安全確認ができるサイドクリアランスビュー、狭い道での接触回避を確認できるコーナリングビューも採用しました。さらに、音声操作への対応や、パノラミックビュー / サイドクリアランスビュー / コーナリングビュー表示中に床下透過表示機能がON*になっていれば車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して駐車やすり抜けをサポートするなど、機能をレベルアップさせています。また、クリアな視界を保つため、バックカメラにはカメラ洗浄機能が付いており、タッチ操作でウォッシャー液を噴射します。

＊事前にセンターディスプレイの設定で床下透過がONになっていれば、パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）を表示すると自動的に（車両を動かすと同時に）床下透過表示になります。
※自車速度約20km/h以下で作動します。
※一定速度を超えるとモニターにカメラ画像が表示されなくなります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。



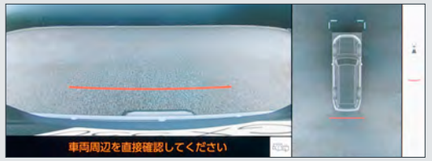
サイドクリアランスビュー表示



コーナリングビュー表示



リヤカメラ洗浄前のタッチディスプレイ



リヤカメラ洗浄後のタッチディスプレイ


リヤカメラ
洗浄イメージ

※画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。映像を過信せず、必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転してください。なお、字光式ナンバープレートは装着できません。

＝標準装備
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

死角を減らし視界をひらくアイテム［2］

デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をミラーのディスプレイに表示することで、後席の乗員やヘッドレストに遮られることなく、後方の安全確認が可能です。高画質の映像により、鏡面ミラーモードからデジタルインナーミラーモードに切り替えた際の自然な色調、夜間のクリアな視認性を実現しています。



鏡面ミラーモード

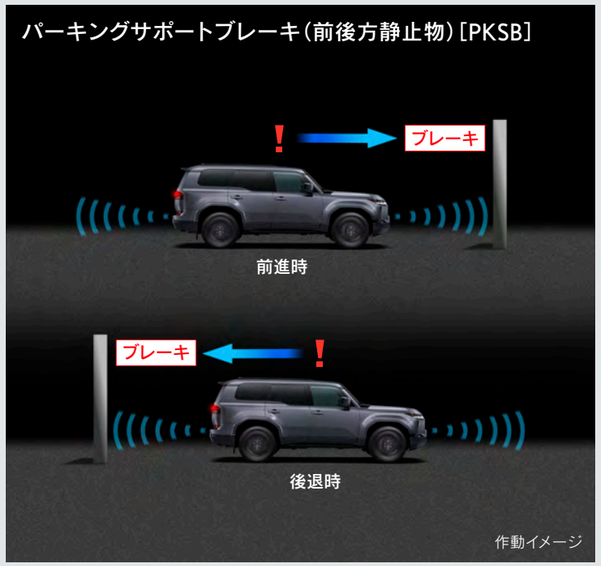


デジタルインナーミラーモード

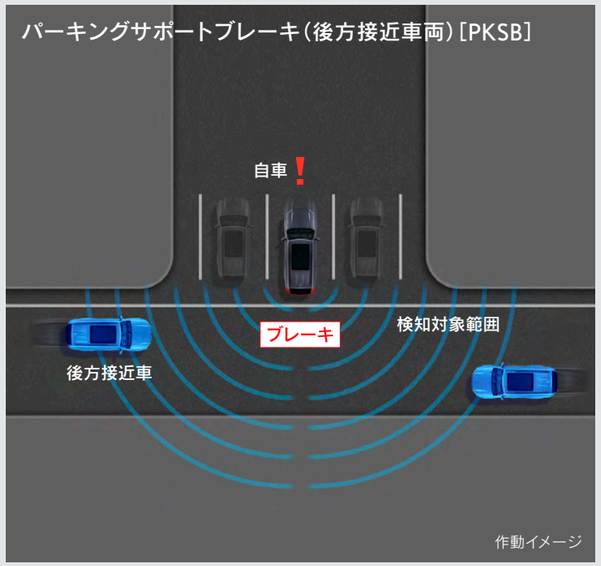
※初めての走行前や運転者が代わる場合には、必ずミラーの調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が二重映りする場合があります。体調・年齢などにより、画面に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また、着雪や雨滴、汚れ等により映像が見えづらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてご使用ください。夜間など暗い場所では周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する場合があります。

リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［1］

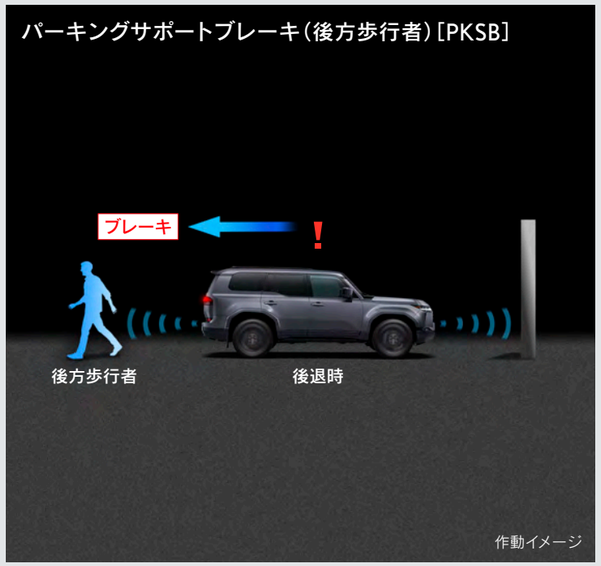
パーキングサポートブレーキ



アクセルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステム。低速走行時に壁などの静止物までの距離と危険度を、表示とブザーでお知らせします。低速走行時に壁などの静止物と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。



後退して出庫する際、自車後側方から接近する車両の存在を、ドアミラー、タッチディスプレイ、およびブザーでお知らせします。自車後側方から接近する車両と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。



後退して出庫する際、自車後方の歩行者の存在を、タッチディスプレイ、およびブザーでお知らせします。自車後方の歩行者と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

※パーキングサポートブレーキは衝突被害軽減ブレーキまで働くシステムではありますが、必ず止まることを約束するものではありません。
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者の状態等によっては、作動しない場合があります。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※パーキングサポートブレーキ［PKSB］が作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。
※歩行者以外の立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。
※字光式ナンバープレートは装着できません。
※パーキングサポートブレーキ（後方接近車両）のレーダーは真後ろの車両を検知できないため、必ずバックモニターと合わせてご使用ください。

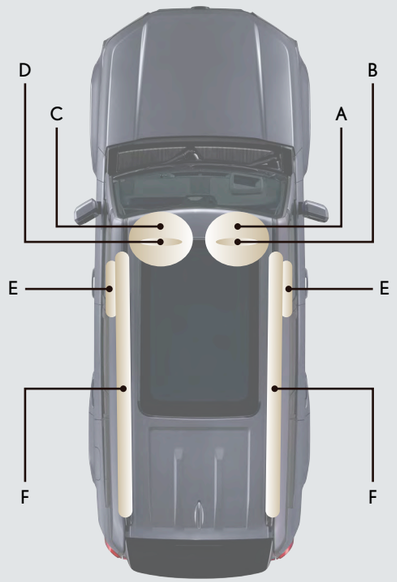
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［2］

SRSエアバッグシステム

運転席・助手席SRSエアバッグおよび運転席・助手席SRSニーエアバッグは前席乗員の頭や胸の上体、膝などの下肢に作用する衝撃力を分散・緩和。車両側方からの衝突による胸部への衝撃を緩和する運転席・助手席SRSサイドエアバッグ、乗員の頭部面まで保護する前後席SRSカーテンシールドエアバッグを設定しています。

※SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。



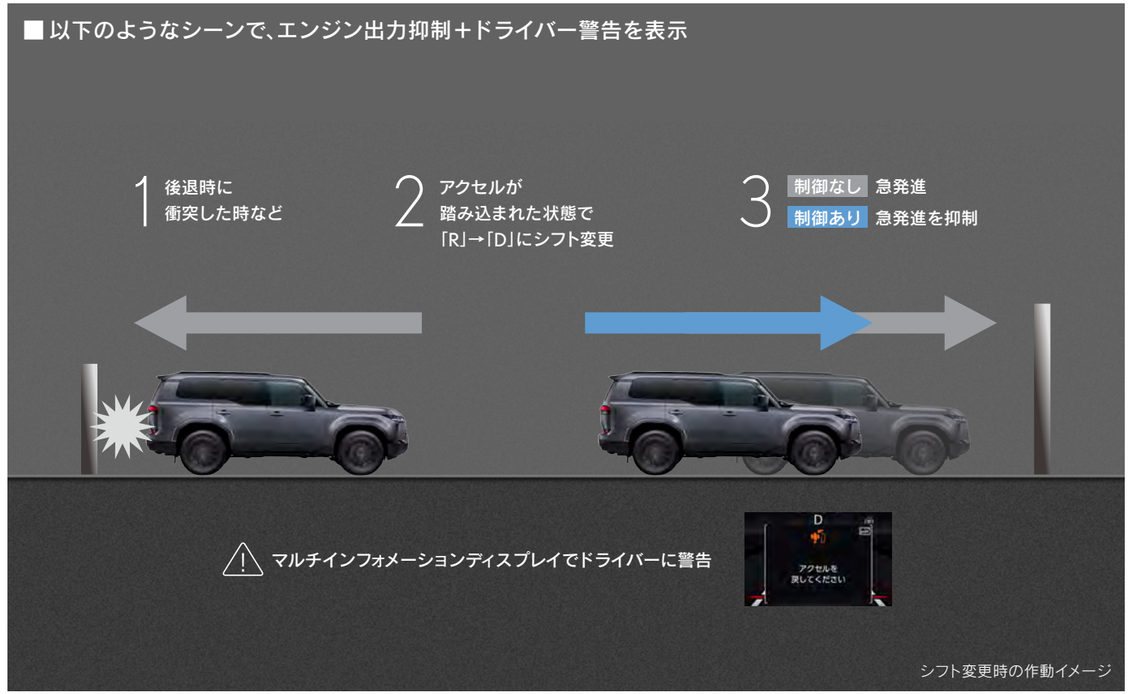
A SRS 運転席エアバッグ
B SRS 運転席ニーエアバッグ
C SRS 助手席エアバッグ
D SRS 助手席ニーエアバッグ
E SRS サイドエアバッグ（前席）
F SRS カーテンシールドエアバッグ（前後席）

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［3］

ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌てたドライバーがアクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促し、エンジン出力を抑えます。また、後退時、必要以上にアクセルを踏み込んで速度が上がりすぎるのを防ぐために、エンジン出力を抑えます。



タイヤ空気圧警告表示（マルチインフォメーションディスプレイ表示付）

空気圧が低下したタイヤがあると、メーター内のインジケーターランプ点灯とともに、ディスプレイに空気圧の数値を反転表示します。イグニッションONで空気圧を検出するため、走行前に確認が可能です。

※電波環境によっては空気圧の検出ができない場合があります。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ドライブの安心を拡張・更新するプラスサポート

[DEALER OPTION]プラスサポート 全車

専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。

＜急アクセル時加速抑制＞

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏みすぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、「アクセルが踏まれています」との音声発話と警報ブザー、ディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。

＜Lexus Safety System ＋の機能拡大＞

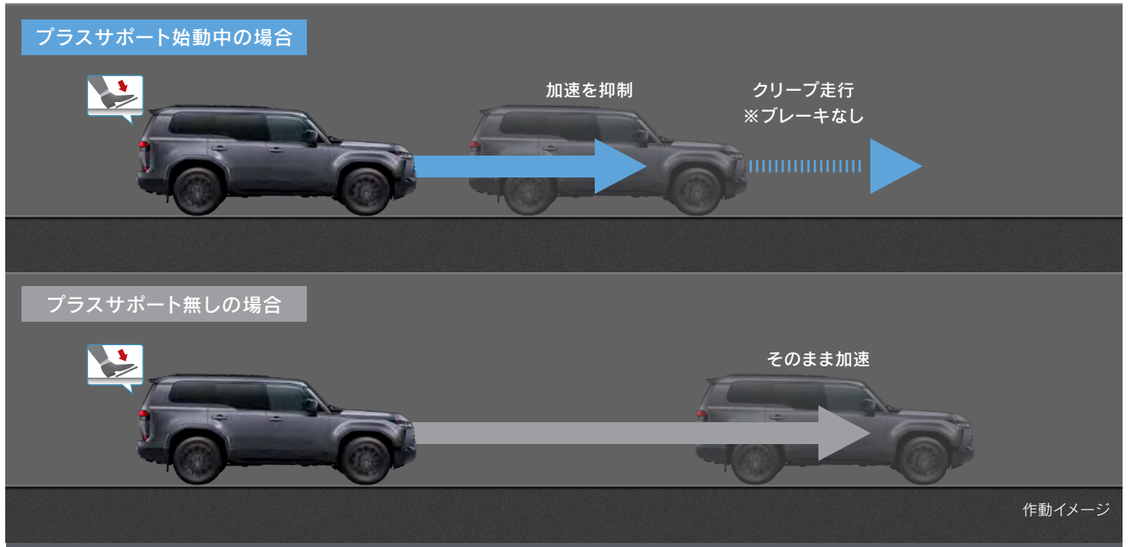
プラスサポートモードがONの場合、Lexus Safety System ＋各機能の挙動（警報タイミングや音声発話の有無）を、より安全な運転につながる方へ拡大します。

・プリクラッシュセーフティの交差点対向車注意喚起の作動
・ロードサインアシスト[RSA]で音声発話による注意喚起を実施 など

ソフトウェアアップデート

DCM（Data Communication Module）による無線通信で、レクサス販売店へ入庫することなく性能向上のためのソフトウェア更新が可能なOTA（無線通信）によるソフトウェアアップデート機能を設定しました。OTAによるソフトウェア更新中も、通常通りの車両走行、Lexus Safety System ＋機能が使用可能。ソフトウェアの更新は、パワースイッチON時のみ実施されます。

※ご利用にはG-Linkのご契約が必要となります。



プラスサポート用スマートキー（電子キー）

標準キーと区別しやすい、
サテンゴールド加飾の専用キーです。





メーター表示

※本製品にメカニカルキーは付属していません。標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。 ※メカニカルキーが無い状態では、電子キーの電池が切れた時にドアロックを解除できなくなります。メカニカルキーは追加で購入していただくことも可能です。レクサス販売店におたずねください。 ※ブレーキを制御するシステムではありません。 ※自車車速約30km/h以下で作動します。 ※前進および後退時に作動します。 ※アクセルを速く強く踏み込むような運転をした場合に、意図せずシステムが作動することがあります。 ※プラスサポートで運転中でも、右左折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な坂道での発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レバーを操作せず右左折や車線変更をしたり、ブレーキを踏まない状態（ブレーキホールドでの停車中含む）から発進するとシステムが作動することがあります。その場合は、一度アクセルを離し、ゆっくり踏みなおせば加速が可能です。 ※プラスサポート用スマートキー（電子キー・カードキー）と標準スマートキーは同時に携帯せず、目的に合った1種類のキーのみ携帯してください。プラスサポートが作動しない可能性があります。メーター表示で始動中をご確認ください。

＝ディーラーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート

ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。

＊路車間通信システムに対応した路側装置は、2026年9月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。

※本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまでも補助機能です。システムを過信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。

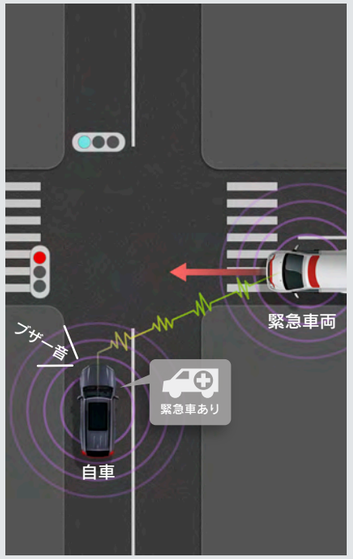
※緊急車両存在通知は通信機を搭載していない車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。

※通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。

※右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置（感知器）の検出範囲外に存在している場合や、路側装置（感知器）が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。

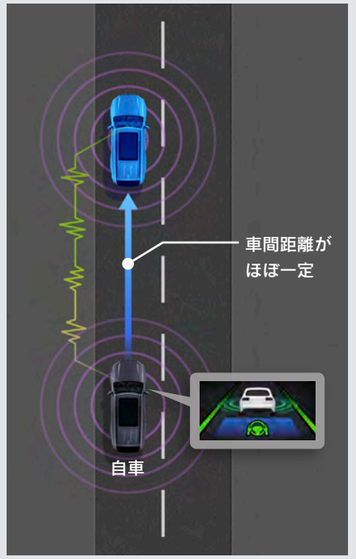
※右記の機能は一例です。

クルマとクルマがつながる車車間通信システム



緊急車両存在通知

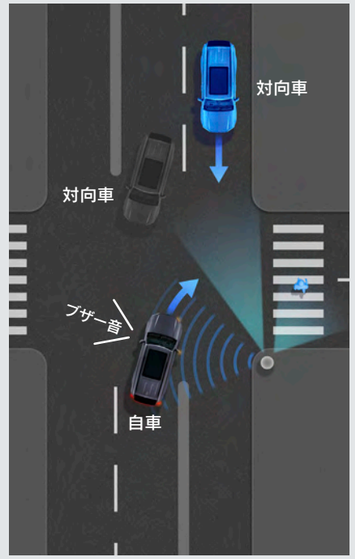
サイレンを鳴らしている緊急車両（救急車）が存在する場合に、ブザー音と音声案内で通知し、自車両に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくい、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。



通信利用型レーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロールで先行車に追従している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車車間通信により取得した先行車の加減速情報に素早く反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

道路*とクルマがつながる路車間通信システム



右折時注意喚起

交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

ITS Connectについては、こちらのURLよりご確認ください（https://lexus.jp/technology/itsconnect/）

作動イメージ

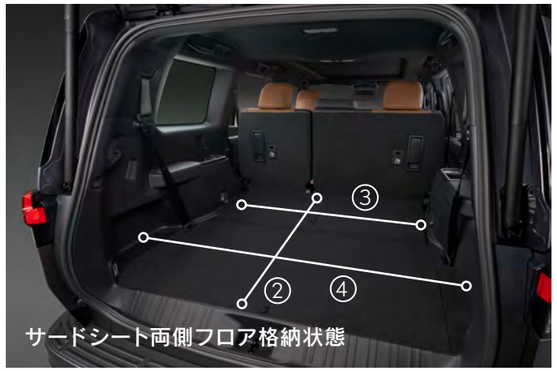
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

広さと使い勝手にすぐれたラゲージルーム［1］

ラゲージルーム（3列シート車） “version L”

サードシートを格納することで大容量の荷室空間が出現します。大きな荷物や長尺物の収納に役立ちます。









① 荷室長（サードシート使用時）：約287mm　②荷室長（サードシート両側フロア格納状態）：約1,096mm　③荷室幅（最小）：約1,135mm　④荷室幅（最大）：約1,393mm　※数値は社内測定値

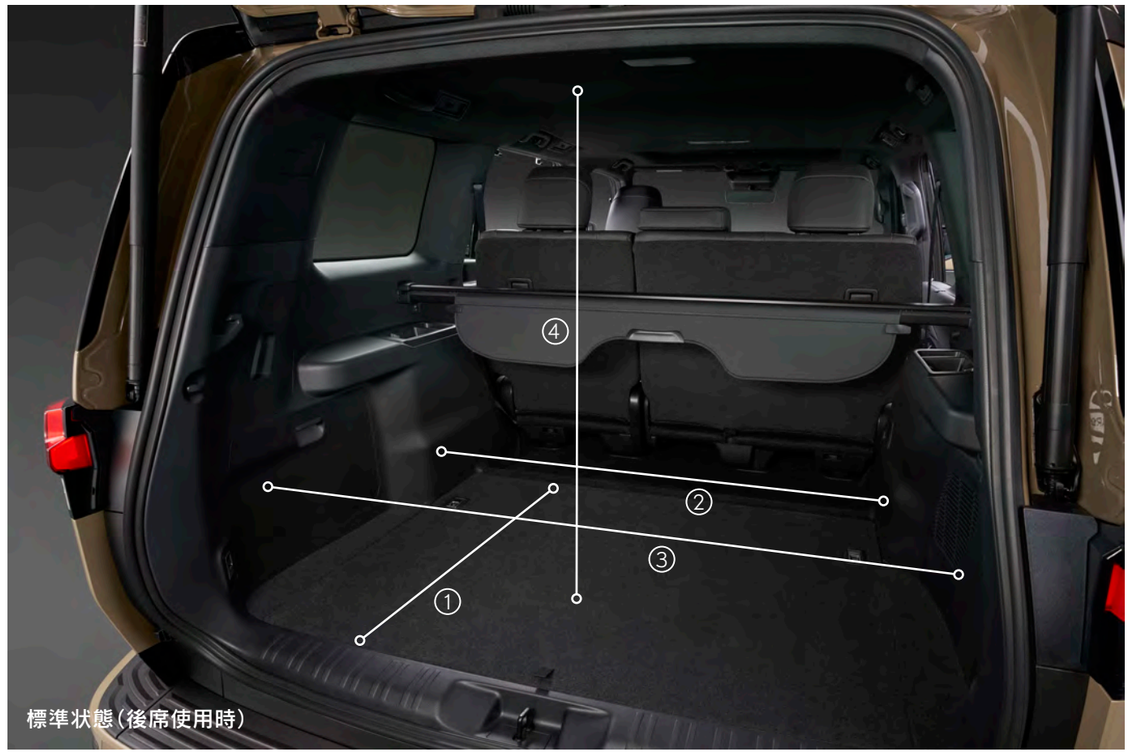
＝標準装備

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。　※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

広さと使い勝手にすぐれたラゲージルーム［2］

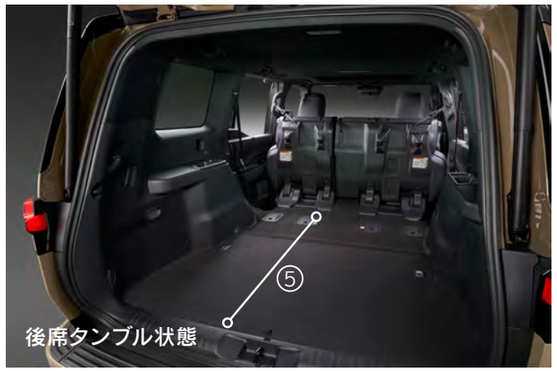
ラゲージルーム（2列シート車） “OVERTRAIL+”

ゆとりあるラゲージスペースを確保し、アウトドアで必要なさまざまな荷物の積載を可能としました。



標準状態（後席使用時）


後席前倒し状態



後席タンブル状態

①荷室長：約1,122mm　②荷室幅（最小）：約1,100mm　③荷室幅（最大）：約1,286mm　④荷室高：約1,040mm　⑤後席/タンブル状態*：約1,494mm　※数値は社内測定値

＊タンブル時はタンブルバンドで固定ください。

トノカバー

ラゲージルーム内のプライバシー確保に寄与します。



＝標準装備

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。　※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

広さと使い勝手にすぐれたラゲージルーム［3］

ハンズフリーパワーバックドア
（挟み込み防止機能・停止位置メモリー機能付）

両手が荷物でふさがっている時でも、キーを携帯している状態であれば、リヤバンパーの下に足を出し入れすることでバックドアの自動開閉が行えます。

※挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。



バックドアガラスハッチ

スマートキーを携帯していれば、ドアロック状態でもバックドアを開かずに荷物の出し入れが可能。バックドアを開くスペースのない狭い駐車場などでも、クルマを前方に移動させることなくものを取り出すことができます。また、けん引時、トーイングヒッチまわりを避けて上部から荷物の出し入れが可能となります。



※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

落ち着いた音もパワフルなサウンドも楽しめるサウンドシステム

“マークレビンソン”プレミアムサラウンドサウンドシステム

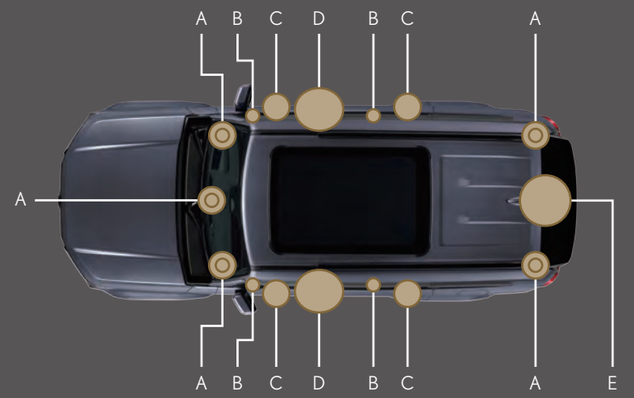
全車

今も進化を続けているマークレビンソン。そのオーディオを搭載するただ一つのプレミアムカーブランドがレクサスです。連続して設置されたツィーターとスコーカーにより音楽のニュアンスとリアリティを表現。バックドアのエンクロージャー容量約40Lのサブウーファーが、豊かで重厚かつキレの良い低音域を響かせます。また、Clari-Fi™（クラリファイ）圧縮音源復元テクノロジーにより、音楽ファイルの圧縮時に失われた低音・高音の補完、圧縮時に生じた歪みの除去を可能にし、自然なボーカルの質感やステレオ感までも復元。ハイレゾ再生にも対応しています。

レクサスGXプレミアムサウンドシステム

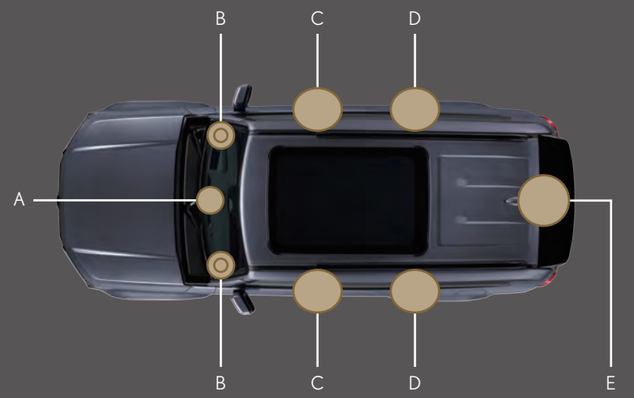
クリアな中・高音と重厚でキレのある低音により、アーティストの息使いやライブ会場の臨場感など高解像度のサウンドを楽しめます。インストルメントパネル左右に配置したCSTスピーカーは、ツィーターとミッドレンジの特性を併せ持ち、同一の音響中心から音を発することで明確な音像定位と豊かな音場を両立。バックドアを活用する大口径のサブウーファーは、低域の圧倒的な量感と高い制動力を実現します。ハイレゾ音源で、さらなる高音質を味わうこともできます。

21スピーカーレイアウト



A 9cm Unity
B 2.5cmツィーター
C 9cmスコーカー
D 8×9インチウーファー
E 22.4cmサブウーファー

10スピーカーレイアウト



A 9cmミッドレンジ
B 9cmCST（ツィーター＋ミッドレンジ）
C 18cmウーファー
D 16cmウーファー
E 22.4 cmサブウーファー

※ハイレゾオーディオロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。 ※日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にロゴを冠しています。
※トヨタ自動車（株）と複数の日本オーディオ協会会員企業による協業によりハイレゾ定義に準拠した製品となっております。一部スピーカーの変更/オーディオの変更をした際には、ハイレゾ音質をサポートしません。

□ =メーカーオプション
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

心地良いサウンドによるクルマとのコミュニケーション

レクサスコミュニケーションサウンド

イグニッションONした際のオープニングサウンドやシートベルトリマインダー、クリアランスソナー、その他警告音などに新しいレクサスコミュニケーションサウンドを開発。すっきりとした楽器的な波形、奥深い和音など、エンジンサウンドでも大切にしているレクサスならではの音楽的な考え方を採用し、認知のしやすさと耳へのやさしさを両立する音を設定しました。その音質を磨き上げるため、音楽プロデューサーとしても著名な音楽家（ギタリスト）吉田次郎氏とともにチューニングを重ねました。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

Other Equipment [1]

レクサス クライメイト コンシェルジュ（3席独立温度調整オートエアコン）

オートエアコンと連動して、シートヒーター、シートベンチレーション（フロントシート・セカンドシートおよび後席）、ステアリングヒーターを緻密に自動制御し、一人ひとりに最適な心地良さを提供。また、ひとつのスイッチ操作で運転席・助手席の全ての機能をAUTOに設定することも可能です。


作動イメージ

リヤドアサンシェード（マニュアル）

セカンドシートおよび後席でくつろがれる方のために、リヤドアトリムにリヤドアサンシェードを設定しました。アウトドアでは強い日射しを遮り、都市ではプライバシーを守ります。



※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [2]

シートヒーター（フロントシート・セカンドシートおよび後席）/ シートベンチレーション（フロントシート・セカンドシートおよび後席）

シートヒーターおよびシートベンチレーションは3段階で温度調整可能。長時間の乗車で負担のかかりやすい肩や腰、寒い日に冷えやすい大腿部や大腿部サイドを効率的に温めます。ベンチレーションは吸い込み方式で、より短時間で冷涼感を得られるようにエアコンの冷風が通り抜ける穴の位置や溝の位置・形状を最適化し、快適性を高めています。


作動イメージ

フロントリフレッシュシート

前席のシートバックおよびシートクッション内のエアブラダー（空気袋）を膨張させることで、乗員の背中から大腿部までを押圧し、心身のリフレッシュに寄与します。全身1（求心〈末端から心臓へ〉、全身2（遠心〈心臓から末端へ〉）と部位別（上半身、下半身、腰）の全5コースからお好みに応じてお選びいただけます。


エアブラダー（空気袋）配置図

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [3]

クールボックス（フロントセンターコンソール）

フロントセンターコンソールに、車内で飲料を保冷できるクールボックスを設置しました。
500mlサイズのペットボトルを4本保冷できます。



おくだけ充電®

おくだけ充電

フロントコンソールトレイ部の充電エリアに置くだけで、スマートフォンやモバイルバッテリーなどの充電が行えます。

※ご利用は、ワイヤレス充電の規格Qi（チー）に対応した一部の機器、もしくはQiに対応したアクセサリーを装着した機器などに限られます。Qi認証の取得有無はWireless Power Consortiumのホームページでご確認できます（https://www.wirelesspowerconsortium.com/）。

※タテ約180mm、ヨコ約90mmを超えるQi対応機種は、トレイに置いた際に、充電可能エリアから外れ、充電できない可能性があります。

※機種によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず取扱説明書をご覧ください。

※植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、タイヤ空気圧警告表示、スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）の電波およびおくだけ充電の充電動作が医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。タイヤ空気圧警告表示については、各ホイールハウス内に搭載された発信アンテナから約45cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）については、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。おくだけ充電のご使用にあたっては、医師とよくご相談ください。電波発信および充電機能を停止することもできます。詳しくはレクサス販売店にご相談ください。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [4]

センターコンソールユーティリティ

ドライバー側には走行系機能を集約。EPBスイッチやVSCオフスイッチなど、運転中に操作の頻度が高い走行モード切り替えスイッチは車両前方に設置することで、目線移動や手の移動を最小限にし、よりスムーズな操作を追求しました。助手席側にはユーティリティ系アイテムを配置。オープン時はカップホルダー、クローズ時はUSB端子に接続したデジタルデバイスを置くトレイとして使える便利な2Wayとしています。また、センターコンソールエンドには、リヤ席のユーティリティを充実させるUSB端子を配置しました。











※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [5]

AUXスイッチ（運転席側インストルメントパネル下部4個） “OVERTRAIL+”

さまざまな電装用品を容易に取り付けることができるAUXスイッチです。あらかじめアースを通した取り付け用コネクターにより、お客さまによる配線作業の手間を省きます。

スイッチ名	ヒューズ容量	合計電流値のシステム上限
AUX1 （対応コネクターA：右ヘッドランプ下部1個、運転席右側1個）	10A	合計24Aまで
AUX2 （対応コネクターA：右ヘッドランプ下部1個、運転席右側1個）	15A	
AUX3 （対応コネクターC：左ヘッドランプ下部1個）	20A	
AUX4 （対応コネクターC：左ヘッドランプ下部1個）	40A	
Ignition* （対応コネクターA：右ヘッドランプ下部1個、運転席右側1個）	10A	

＊スイッチはありません。イグニッションONで通電します。



⚠ AUXスイッチを安全にお使いいただく上での留意事項説明

ご使用になる際のお客さまへのお願い

■アクセサリー用品を接続するときに、車両側のワイヤーを切断したり改造したりしないでください。
思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
■AUXスイッチシステムの損傷を防ぐためにAUXスイッチシステムの修理については、レクサス販売店にお問い合わせください。

■＝標準装備

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

上品さとおもてなしの心を込めた光の演出

インテリアイルミパッケージ

室内イルミネーションは、足元やドアトリムに配し、車内の造形や素材の美しさを際立たせるだけでなく、リラックスできる空間を演出しています。照明には高輝度のLEDを採用し、より明るく照らします。イルミネーションは14色のテーマカラーとお好みに合わせて選べる50色のカスタムカラーの計64色を用意。それぞれに癒しやリラックスなどのテーマがあり、乗員の好みの色調を選択することが可能です。



インテリアイルミパッケージのおすすめ14色（テーマカラー）

室内イルミネーションのテーマカラー

癒し　リラックス　覚醒　集中　高揚感





























クルマとつながる安心・快適を追求したG-Link

標準搭載のDCM（Data Communication Module）を介して、クルマがお客さまとつねにつながります。
次世代マルチメディアに対応した新しいG-Linkサービスでは、クルマを使っている時はもちろん、
乗車前や乗車後にもクルマとつながる安心、安全、快適なカーライフを提供します。

〈G-Linkサービス一覧〉

			14インチタッチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plus
基本サービス*1	ヘルプネット		○
	eケア		○
	G-Security	うっかり通知	○
		リモート確認	○
		リモート操作	○
		アラーム通知	○
		マイカー始動通知	○
		車両の位置追跡	○
		警備員派遣	○
		カーファインダー	○
		マイカー始動ロック	○
	リモートメンテナンスメール		○
	マイセッティング		○
	リモートエアコン		○
	レクサスオーナーズデスク（含むレクサス緊急サポート24）		○
	コネクティッドナビ（車載ナビ有）*2		○
	エージェント		○
オプションサービス	デジタルキー*3		○
	車内Wi-Fi		○

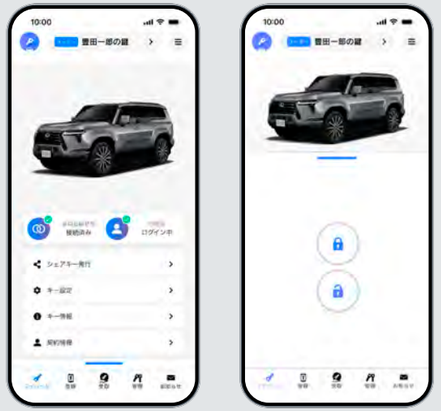
いつでもクルマとつながるスマートフォンアプリ

G-Linkの各種サービスやデジタルキーを利用するためのスマートフォンアプリをご用意しています。

My LEXUS（アプリ）



デジタルキー



アプリのご利用には「TOYOTAアカウント」が必要です。

My LEXUS（アプリ）、デジタルキーのアプリをご利用いただくには、「TOYOTAアカウント」を取得いただき、
レクサスオーナーズカードIDと連携を行っていただく必要があります。

＊1. G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。
尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。
＊2. G-Link無料期間終了後に、G-Link契約しない場合は非通信型ナビゲーションとしてご利用いただけます。
＊3. 新車ご購入の場合は、初度登録日から3年間無料です。
※デジタルキーについて、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのURLよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。

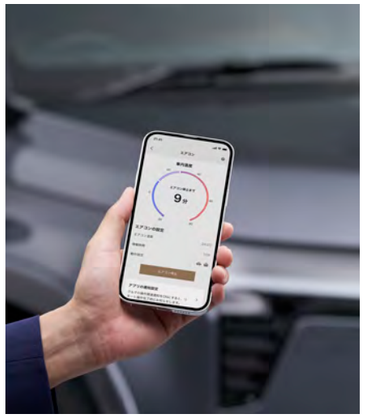
クルマとつながる快適機能［1］

乗車前

リモートエアコン

My LEXUS
（アプリ）

乗車前に、スマートフォンアプリ「My LEXUS」からエアコンを操作できます。夏の暑いときや冬の寒いとき、アプリでエアコンを起動させ、あらかじめ車内を快適な室温にすることが可能です。1℃単位の温度設定やフロントデフロスター、リヤデフォッガーとの連動起動にも対応。より快適な車室空間とすることができます。



※ディーラーオプションのリモートスタートを装着している場合は、ご利用いただけません。
※通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。
※使用時には周囲の安全を十分にご確認の上ご使用ください。
※前回降車時から、最大20分間作動できます（エンジンスイッチの操作により、再度20分間作動させることができます）。

乗車時

デジタルキー

デジタルキー
アプリ

専用スマートフォンアプリ「デジタルキー」をインストールすることで、スマートフォンを電子キーやカードキーの代わりとして利用できます。アプリを起動したスマートフォンを携帯していれば、画面操作なしでドアのロック/アンロックやエンジン始動ができます。デジタルキーは初度登録日から3年間は無料で利用でき、その後は有料オプションサービスとなります。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

クルマとつながる快適機能［2］

乗車中

マイセッティング

My LEXUS（アプリ）

登録した電子キーやスマートフォンなどでドライバーを認識し、ドライバーごとのマルチメディア設定や車両設定を記憶しておくことができます。次回乗車時に同じ設定で利用できます。また、他の対応車両に乗り込んだ際も、いつもの環境を設定し、ドライバーをおもてなしします。

乗車中

車内Wi-Fi

車内でWi-Fi®によるデータ通信を利用することができます。DCMがWi-Fiスポットとなり、お客さまやご家族、ご友人のスマートフォンやタブレットを接続することでデータ通信やインターネット接続を容量無制限で楽しむことができます。車内Wi-Fiは月額利用料がかかる有料オプションサービスです。また、ディスプレイオーディオ画面でインターネットブラウザ機能をお使いいただけます。



※Wi-Fi接続機器は5台まで同時接続可能です。
※直近3日間（当日は含みません）で6GB以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
※車内Wi-FiとApple CarPlayのワイヤレス接続は同時利用できません。車内Wi-Fiご使用時は、ケーブル接続にてご利用ください。

降車後

マイカー始動ロック

My LEXUS（アプリ）

スマートフォンアプリ「My LEXUS」で操作やスケジュール設定を行うことにより、離れた場所からクルマの始動を制限できなくすることができます。車両盗難が多い夜間など、クルマを使わない時間帯にご利用いただくことにより、盗難防止に役立てることができます。

※ご利用時にアプリ上で数字6桁の暗証番号を設定いただきます。通信圏外エリアや通信状態が悪い場合など、万が一アプリからロック解除できない場合は、暗証番号をナビ画面に入力することでロック解除できます。
※マイカー始動ロックは車両の始動を禁止することで車両盗難を抑制するものであり、車両盗難を完全に防止するものではありません。



快適なカーライフを開く電子キー＆デジタルキー

電子キー測距システム

UWB無線通信により、電子キーの位置を精度良く測定します。キーを持つお客さまが車両近くにいらっしゃらない場合には、スマートエントリー＆スタートシステムによるドア開錠、およびエンジン始動を制限することで、盗難防止に貢献します。

※カードキー選択時は選択不可となります。

※お客さまの特別な操作は必要としませんが、電子キーと車両の間に人体が入るなどすると、スマートエントリーが応答しない場合があります。その場合には窓の近くで電子キーを持ち、再度、ドアハンドルのセンサーを触れることで応答します。

デジタルキー

スマートフォンに専用アプリ「デジタルキー」をインストールすることで、スマートフォンを車両のキーとして使用できます。アプリの画面を操作してロック/アンロックが可能になることに加え、アプリを起動したスマートフォンを携帯していれば、画面操作なしでロック/アンロック・クルマの始動をすることも可能です。また、スマートフォン間でデジタルキーの受け渡しが可能なため、家族や友人同士で離れた場所での車両の貸し借りも容易に行えます。なお、デジタルキーは初度登録日から3年間は無料で利用でき、その後は有料オプションサービスとなります。

※ご利用にはG-Linkとデジタルキー（オプションサービス）のご契約が必要となります。　※アプリのご利用には「TOYOTAアカウント」が必要です。
※スマートフォン上のアプリを使用するため、スマートフォンの電池が切れると使用できません。　※販売店への点検入庫等で車両を預ける際は、必ず電子キーをお持ちください。電子キーが無いと対応ができないおそれがあります。　※最大4台の車両のデジタルキーを1台のスマートフォンに登録できます。ただし、お使いの機種によって、同時に4台の車両への接続はできない可能性があります。1台の車両に対し、最大6本（オーナーキー1本、シェアキー5本）のデジタルキーを発行できます。　※デジタルキーがご利用できない状況に備えて、つねにお車の鍵（キー）を携帯いただくことを推奨いたします。　※機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのリンクよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。　※電子キーで動作する一部機能はデジタルキーに対応しておりません。
※その他ご利用にあたっての操作方法や注意事項は、デジタルキーWebサイトをご確認ください。（https://toyota.jp/digital_key）


スマートエントリー＆スタートシステムとして使用


ワイヤレスキーとして使用

※スマートフォンの画面表示はイメージです。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

鮮度ある情報でドライブをアシストするナビゲーション

コネクティッドナビ（車載ナビ有）

G-Link契約でご利用いただけるセンター通信型のナビ機能です。

	必要な契約	特徴	G-Link解約後
コネクティッドナビ（車載ナビ有） 	G-Link	・車載機にナビデータを保持する、G-Linkセンター通信型ナビ ・G-Linkセンター内の最新の目的地情報と地図データを利用可能*	車載ナビ機能を利用可

＊通信圏外エリアや通信障害時等、通信環境によって車載ナビを使ったナビ機能を使用します。

従来のナビゲーションよりもリアルタイムな情報提供を可能にしました。例えば飲食店検索では、口コミ点数や営業時間を検索結果の一覧に表示します。また、駐車場検索では、料金や空き状況を地図上に表示するなど、目的地の選択に役立つ幅広い情報を提供します。

【サービス】
駐車場検索

【表示コンテンツ】
・ブランドアイコン
・満空情報
・料金情報



【サービス】
グルメ検索

【表示コンテンツ】
・レーティング（口コミ）
・営業時間



ドライブ時間を心地良くする細やかなおもてなし

機能詳細は
こちらから
ご確認ください

エージェント（音声対話サービス）

最新エージェントは、一切のスイッチ操作なく「Hey Lexus」とクルマに話しかけるだけで起動。スマートセンターのコンテンツを利用して目的地検索やニュース、天気予報などの情報提供、ナビゲーションやオーディオ操作だけでなく、車両操作にも対応しています。

※ステアリングのトークスイッチを押して発話することでの起動も可能です。

■起動ワードに対応

「Hey Lexus」など声でエージェントを起動。起動ワードは自由に設定できます。

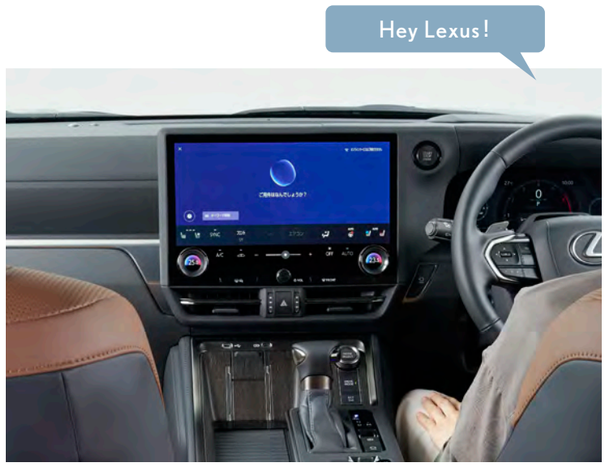
■ナビゲーションやオーディオ操作にも対応

「地図を拡大して」「FM〈周波数〉に合わせて」「温度をあげて」などの操作も可能です。詳しくは下記取扱説明書サイト（https://manual.lexus.jp/）でご確認ください。

■「エージェント+」で先読み案内

ルート設定に関係なく日常の走行情報から先読みして役立つ情報を提供します。

※G-Link契約が必要です。





※写真の表示画面は当該車両と異なります。

オーディオ＆ビジュアル機能

スマートフォンとタッチディスプレイを連携させるApple CarPlay、Android Auto™に対応。音楽再生やハンズフリー通話、メッセージの送受信など、お気に入りのアプリケーションを車内でもスムーズにお使いいただけます。

◎Apple CarPlay/Android Auto™に対応＊　◎地上デジタルTVチューナーを標準装備　◎インストルメントパネル下部のUSB Type-Cに接続して、携帯音楽プレーヤーやUSBメモリ（MP3/WMA/AAC/WAV（LPCM）/FLAC/ALAC/OGG Vorbis）を再生　◎Bluetooth®AVプロファイル対応の携帯音楽プレーヤーをワイヤレス再生　◎Bluetooth対応の携帯電話によるハンズフリー通話

＊ご利用にはデータ通信可能なUSBケーブルが別途必要です。Apple CarPlayのみ、USB接続に加え、BluetoothとWi-Fiによる無線接続に対応します。Apple CarPlayの無線接続と車内Wi-Fiとは併用できません。車内Wi-Fiをお使いの場合は、ケーブル接続にてご利用ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※Apple CarPlay/Android Auto™は、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。詳細はWEBサイトをご確認ください。

※走行中は安全のため一部操作できない機能があります。

※TV放送は安全のため走行中は画像が消え、音声のみとなります。外部メディアの映像は、録画機器の種類によって再生できない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



Apple CarPlay 画面



Android Auto™ 画面

※写真の表示画面は当該車両と異なります。

万一に備えて、運転中も駐車中も記録

ドライブレコーダー（前後方）

車載カメラを併用し、内蔵メモリー方式を採用したドライブレコーダー。車両前方、後方のカメラ映像をメモリー内に常時録画します。各種録画映像は、14インチディスプレイで再生。すぐに映像内容を確認することができます。映像データをスマートフォンやUSBメモリに転送し、持ち運びすることも可能です*1。

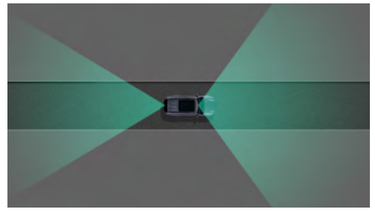
*1. スマートフォンへの転送・再生にはスマートフォンアプリ「My Drive Recorder Viewer」のインストールが必要です。







映像再生イメージ



録画範囲イメージ



前方映像イメージ



後方映像イメージ

※前方はLexus Safety System +のカメラを流用しています。 ■ドライブレコーダー（前後方）は事故の検証に役立つことを目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。 ■録画されたファイルが破損していた場合による損害、故障や使用によって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。 ■録画した映像は、その使用目的や使用方法によって、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、イタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。 ■詳細につきましては取扱説明書をご覧ください。 ■機能画角（水平）：前方108°/後方62° 録画画素数：前方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約180万画素となります）/後方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約130万画素となります） ■写真はイメージです。当該車両の表示画面と異なる場合があります。 ■画像のカメラ範囲はイメージです。

■常時録画

エンジンスタートスイッチがONの間、常時映像を録画します。録画開始後は約1分単位で録画し続けます。記録上限時間の約100分を超えた場合、古いデータから上書きされます。

■手動録画

ドライバーが手動操作により、希望するタイミングで映像を撮影することができます。操作は、手動録画画面の録画ボタンを押すほかに、ショートカットメニューや音声操作で開始することもできます。

■イベント録画

急ブレーキ等、検知対象のイベントが発生した場合、後で走行状況を確認できるように自動で録画映像を保護。イベント発生タイミングを基準に前後10秒間の前後方カメラ映像を記録します。

＜検知対象のイベント＞

G検知：Gセンサーによって、急激なGの変化を検知したとき

エアバッグ衝突センシング：衝突などにより、エアバッグが展開したとき

後方接近車両検知：車両後側方レーダーにより、自車後方の極接近車両を検知したとき

■駐車時イベント録画

駐車時（エンジンスタートスイッチOFF時）に衝撃などを検知した場合、後で周辺状況を確認できるように自動でカメラが作動。検知してから作動し、録画を開始。60秒間の前後方カメラ映像を記録します。

※イベント検知の感度は変更可能です

■地図表示モード*2

手動録画映像、イベント録画映像、駐車時イベント録画映像について、地図上に撮影地点を表示し、地点を選択することで再生することができます。

*2. 録画映像の地図表示はコネクティッドナビ利用時に使用できます。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。



OVERTRAIL PROJECT

公園でのピクニック、家族や仲間と過ごすキャンプ、
雪道、砂漠、山道を自由に旅するオーバーランディング。
LEXUSは、多様なアウトドアライフスタイルとクルマの楽しさに寄り添うために、
OVERTRAILプロジェクトに取り組んでいます。
五感で自然を楽しむ機会を、上質なアウトドア体験を、
この地球環境を守っていく活動を。
OVERTRAILプロジェクトを通じて、
LEXUSは、ヒトと自然とモビリティの共生を考え続けます。

オフロードと対峙するカタチをモダナイズしたエクステリア

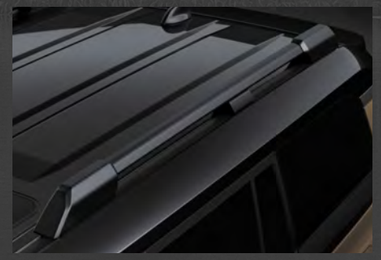





アンダーガード


265/70R18 116Hタイヤ＆18×7½Jアルミホイール（マットグレー塗装）


ホイールアーチモール（ブラック）


ルーフレール（ブリッジ型）


ドアハンドル（ブラック）


センタープロテクション（リヤ）

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

悪路走破性を高めるドライビングサポートテクノロジー



E-KDSS
市街地での走行安定性とオフロードの走破性を高次元で両立させるサスペンション制御システムです。
※詳しくは15ページをご覧ください。



クロールコントロール
凹凸の激しいオフロードなどで、ステアリング操作のみで極低速走行が可能です。
※詳しくは21ページをご覧ください。

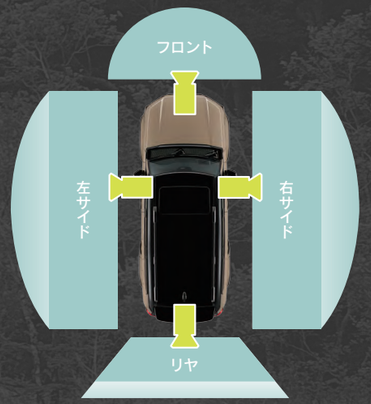


マルチテレインセレクト
オフロード走行において、路面状況に応じた走行支援を6つのモードから選択できるシステムです。
※詳しくは20ページをご覧ください。



ダウンヒルアシストコントロール
4輪のブレーキを制御し、タイヤロックすることなく安定した降坂を支援します。
※詳しくは21ページをご覧ください。







マルチテレインモニター
車両周辺の状況確認を4つのカメラでサポートするシステムです。
※詳しくは24ページをご覧ください。

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

3Dシミュレーションはこちら >

BODY COLOR LINEUP



ソニッククォーツ〈085〉*



マーキュリーグレーマイカ〈1H9〉* ※“version L”設定色。



ソニックチタニウム〈1J7〉*



チタニウムカーバイドグレー〈1L8〉*



グラファイトブラックガラスフレーク〈223〉*



テレーンカーキマイカメタリック〈6X4〉*



ディープブルーマイカ〈8X5〉* ※“version L”設定色。

*Photo: GX550“version L”。

3Dシミュレーションはこちら >

BODY COLOR LINEUP

(Bi tone) ※“OVERTRAIL+”設定色。



ソニックチタニウム＆ブラック〈M06〉* “OVERTRAIL+”



チタニウムカーバイドグレー＆ブラック〈M07〉* “OVERTRAIL+”



ムーンデザート＆ブラック〈M08〉* “OVERTRAIL+”



テレーンカーキマイカメタリック＆ブラック〈M09〉* “OVERTRAIL+”

＊Photo: GX550“OVERTRAIL+”。 ＝メーカーオプション

3Dシミュレーションはこちら >

INTERIOR COLOR LINEUP

インテリアカラー



ブラック “version L”



サドルタン “version L”

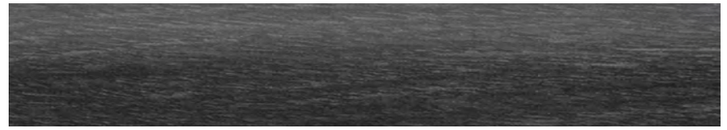


“OVERTRAIL+”ブラック “OVERTRAIL+”



“OVERTRAIL+”シャトー “OVERTRAIL+”

オーナメントパネル（フロントコンソール部、フロントドアトリム部）



艶炭フィルム

鈍く艶のある美しさを感じさせる艶炭。導管一本一本の細密な表現や、消し炭のような自然な黒色をいくつもの繊細な版を重ねるフィルム技術で具現化し、質感高い表情を実現しました。



オークフィルム

自然の温かみ感じさせる、明度と彩度を抑えた落ち着いた印象のブラウン色木目です。

＝標準装備

価格・パッケージ比較はこちら >

パッケージ別主な標準装備比較

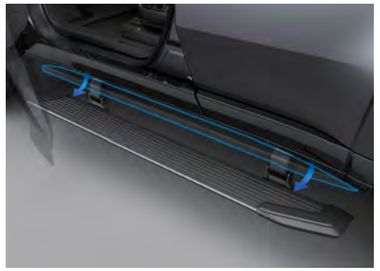
	フロントバンパー	リヤバンパー	タイヤ＆アルミホイール	ホイールアーチモール
“version L” GX550“version L”			 265/50R22 109Vタイヤ＆22×7½Jアルミホイール（切削光輝＋ダークグレーメタリック塗装）*1	
“OVERTRAIL＋” GX550“OVERTRAIL＋”	 “OVERTRAIL＋”センタープロテクション＆フロントスキッド、“OVERTRAIL＋”アンダーガード、“OVERTRAIL＋”エアロスパッツ	 “OVERTRAIL＋”リヤロアバンパーモール（ブラック）、“OVERTRAIL＋”センタープロテクション	 265/70R18 116Hタイヤ＆18×7½Jアルミホイール（マットグレー塗装）*1*2	 “OVERTRAIL＋”ブラック

＊1. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊2. マットグレー塗装ホイールは通常ホイールとメンテナンス方法が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

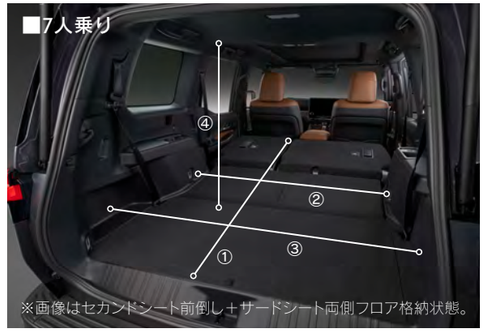
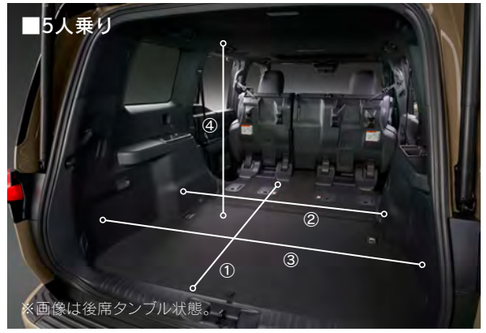
パッケージ別主な標準装備比較

	ドアミラー	ドアハンドル	サイドステップ	ムーンルーフ	ルーフレール
“version L” GX550“version L”			 オート電動格納式	 ※画像はGX550“OVERTRAIL+”。	 ソリッド型
“OVERTRAIL+” GX550“OVERTRAIL+”	 “OVERTRAIL+”ブラック	 “OVERTRAIL+”ブラック	 “OVERTRAIL+”ブラック / LED照明付		 ブリッジ型

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

パッケージ別主な標準装備比較

	乗車定員	シートアレンジ / ラゲージルーム寸法
“version L” GX550“version L”	 7人乗り	  ①荷室長　Ⓐ約287mm　Ⓑ約1,096mm　Ⓒ約1,494mm　Ⓓ約1,763mm ②荷室幅（最小）約1,135mm　③荷室幅（最大）約1,393mm　④荷室高（天井まで）約881mm Ⓐ標準状態（サードシート使用時）　Ⓑサードシート両側フロア格納状態　Ⓒセカンドシートタンブル＋サードシート両側フロア格納状態*　Ⓓセカンドシート前倒し＋サードシート両側フロア格納状態
“OVERTRAIL＋” GX550“OVERTRAIL＋”	 5人乗り	  ①荷室長　Ⓐ約1,122mm　Ⓑ約1,494mm　Ⓒ約1,763mm ②荷室幅（最小）約1,100mm　③荷室幅（最大）約1,286mm　④荷室高（天井まで）約1,040mm Ⓐ標準状態（後席使用時）　Ⓑ後席タンブル状態*　Ⓒ後席前倒し状態

＊タンブル時はタンブルバンドで固定ください。　※ラゲージルームの寸法は社内測定値。

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。　※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

パッケージ別主な標準装備比較

	フロントシート	セカンドシート	サードシート
“version L” GX550“version L”	 セミアニリン本革 / シートヒーター＆ベンチレーション機能	 セミアニリン本革 / シートヒーター＆ベンチレーション機能（左右席）	 セミアニリン本革
“OVERTRAIL+” GX550“OVERTRAIL+”	 L tex＋ウルトラスエード® / シートヒーター＆ベンチレーション機能	 L tex / シートヒーター＆ベンチレーション機能（左右席）	

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

EQUIPMENT

レクサス GX550 主要装備一覧表

●：標準装備　△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　○：設定あり（いずれかをお選びください）　□：ディーラーオプション

		GX550	
		“version L”	“OVERTRAIL＋”
		7人乗り	5人乗り
		AWD	
■エクステリア			
“OVERTRAIL＋”パーツ	グリルシャッター/センタープロテクション（フロント・リヤ）/フロントスキッド/アンダーガード/エアロスパッツ/ホイールアーチモール（ブラック）/サイドドアモール（ブラック）/アウトサイドドアハンドル（ブラック）/リヤロアバンパーモール（ブラック）	―	●
エアロスパッツ		●	―
マッドガード（リヤ）		●	●
けん引フック	フロント1個・リヤ1個	●	―
	フロント2個・リヤ1個	―	●
ヒッチメンバー（カバー付）		△	△
オート電動格納式ステップ		●	―
“OVERTRAIL＋”サイドステップ（ブラック/LED照明付）		―	●
■パフォーマンス			
E-KDSS		―	●
ディファレンシャルロック（リヤ）		―	●
NAVI・AI-AVS		●	●
マルチテレインセレクト		―	●
ダウンヒルアシストコントロール		―	●
クロールコントロール		―	●
アクティブトラクションコントロール（A-TRC）		●	●
265/50R22 109Vタイヤ＆22×7½Jアルミホイール（切削光輝＋ダークグレーメタリック塗装）	＊1	●	―
265/70R18 116Hタイヤ＆18×7½Jアルミホイール（マットグレー塗装）	＊1＊2	―	●
スペアタイヤ（車両装着タイヤ・床下付）		●	●
■セーフティ			
Lexus Teammate	Advanced Drive（渋滞時支援）	●	●
Lexus Safety System ＋	プリクラッシュセーフティ（歩行者［昼夜］・自転車［昼夜］・自動二輪車［昼］検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式）	●	●
	レーンディパーチャーアラート［LDA］	●	●
	レーントレーシングアシスト［LTA］	●	●
	緊急時操舵支援（アクティブ操舵機能付）＋フロントクロストラフィックアラート［FCTA］＋レーンチェンジアシスト［LCA］＋ドライバーモニター連携	●	●
	レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）	●	●
	ブレードスキャン®アダプティブハイビームシステム［AHS］	●	●
	ロードサインアシスト［RSA］	●	●
	発進遅れ告知機能［TMN］	●	●
	ドライバー異常時対応システム	●	●
	プロアクティブドライビングアシスト［PDA］	●	●

EQUIPMENT

レクサス GX550 主要装備一覧表

●：標準装備　△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　○：設定あり（いずれかをお選びください）　□：ディーラーオプション

			GX550	
			“version L”	“OVERTRAIL＋”
			7人乗り	5人乗り
			AWD	
▌セーフティ				
ITS Connect			●	●
ブラインドスポットモニター［BSM］/後方車両接近告知/周辺車両接近時サポート（録画機能・通報提案機能）/後方車両への接近警報			●	●
セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）			●	●
安心降車アシスト［SEA］		＊4	●	●
パーキングサポートブレーキ（前後方静止物＋後方接近車両＋後方歩行者）［PKSB］		＊5	●	●
パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）		＊5	●	―
マルチテレインモニター		＊5	―	●
ドライブレコーダー（前後方）			●	●
三眼フルLEDヘッドランプ（ロー・ハイビーム）/LEDフロントターンシグナルランプ/LEDクリアランスランプ/LEDデイタイムランニングランプ			●	●
フルLEDリヤコンビネーションランプ（テール・ストップ・バックアップ・ターン）			●	●
LEDフォグランプ（フロント・リヤ）/LEDコーナリングランプ			●	●
オート電動格納式ドアミラー	運転席自動防眩・リバース連動チルトダウン・メモリー・ヒーター/LEDサイドターンシグナルランプ/足元照明付		●	―
	運転席自動防眩・リバース連動チルトダウン・メモリー・ヒーター/LEDサイドターンシグナルランプ/足元照明付/“OVERTRAIL＋”ブラック		―	●
デジタルインナーミラー			●	●
ELR3点式シートベルト	運転席・助手席：テンションリデューサー・プリテンショナー・フォースリミッター機構付/セカンドシート左右席：プリテンショナー・フォースリミッター機構付/セカンドシート中央席 ＊15		●	●
	サードシート左右席		●	―
▌機能装備				
スマートエントリー＆スタートシステム	電子キー2個（測距システムあり）/バックドア連動	＊6	○	○
	電子キー2個（測距システムなし）＋カードキー1個/バックドア連動	＊6	○	○
デジタルキー		＊7	●	●
プラスサポート用スマートキー（電子キー）（カードキー）		＊8	□	□
インテリアイルミパッケージ（前席足元/コンソールアッパー/インストルメントパネルポケット/フロントインサイドドアハンドル/ドアトリム）			●	●
クールボックス（フロントセンターコンソール）			●	●
ハンズフリーパワーバックドア（挟み込み防止機能・停止位置メモリー機能付）		＊9	●	●
バックドアガラスハッチ			●	●
ドライブモードセレクトスイッチ（SPORT S＋/SPORT S/NORMAL/COMFORT/ECO/CUSTOM）			●	●
おくだけ充電®（センターコンソールトレイ）			●	●
ムーンルーフ（チルト＆スライド式）			●	●＊10
パノラマルーフ（電動サンシェード・UVカット機能・挟み込み防止機能・調光機能付）			△	―
ルーフレール	ソリッド型		●	―
	ブリッジ型		―	●

EQUIPMENT

レクサス GX550 主要装備一覧表

●：標準装備　△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　○：設定あり（いずれかをお選びください）　□：ディーラーオプション

		GX550	
		“version L”	“OVERTRAIL＋”
		7人乗り	5人乗り
		AWD	
▌インテリア			
スカッフプレート（フロント［LEXUSロゴ・イルミネーション付］・リヤ）		●	●
ドアトリム（スパッタリング）		●	●
インサイドドアハンドル		●	●
リヤドアサンシェード（マニュアル）		●	●
運転席・助手席L tex＋ウルトラスエード®シート（シートヒーター＆ベンチレーション機能付）＆後席L texシート（後左右席シートヒーター＆ベンチレーション機能付）		―	●
セミアニリン本革シート（運転席・助手席シートヒーター＆ベンチレーション機能/セカンドシート左右席シートヒーター＆ベンチレーション機能付/サードシート）		●	―
運転席・助手席8Way調整式パワーシート（運転席・助手席2Way電動ランバーサポート/運転席クッション長可変機構/運転席ポジションメモリー付）/上下前後調整式ヘッドレスト		●	●
フロントリフレッシュシート		●	●
セカンドシート（6：4分割可倒式）/上下調整式ヘッドレスト		●	●
サードシート（5：5分割可倒式/電動リクライニング機構付）/回転式ヘッドレスト		●	―
リヤエアコン（左右ルーフレジスター）		●	●
レクサスGXプレミアムサウンドシステム		●	●
“マークレビンソン”プレミアムサラウンドサウンドシステム		△	△
14インチタッチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plus		●	●
トノカバー		●	●
▌その他			
ETC2.0ユニット（VICS機能付）＋光ビーコンユニット付	＊11＊12	●	●
通信用USB端子 Type-C（インストルメントパネル下部1個）		●	●
充電用USB端子 Type-C（インストルメントパネル下部1個・センターコンソール後部2個・ラゲージルーム内2個/照明付）		●	●
アクセサリーソケット（DC12V/インストルメントパネル下部1個）		●	●
アクセサリーコンセント（AC100V・100W/ラゲージルーム1個）	＊13	●	●
AUXスイッチ（運転席インストルメントパネル下部4個）		―	●
寒冷地仕様（ウインドシールドデアイサー・PTC［補助］ヒーター・エンブレムヒーター等）	＊14	●	●

全車標準装備

▌パフォーマンス
- トルセン®LSD付トランスファー
- ディファレンシャルロック（センター）
- アクティブノイズコントロール
- 電動パーキングブレーキ/ブレーキホールド
- 電動パワーステアリング［EPS］
- シーケンシャルシフトマチック
- キックダウンスイッチ
- 電動チルト＆テレスコピックステアリング（オートアウェイ＆オートリターン機構付）
- フロントφ354mmベンチレーテッドディスクブレーキ / リヤφ335mmベンチレーテッドディスクブレーキ
- リヤスポイラー

▌セーフティ
- ドライブスタートコントロール
- SRSエアバッグシステム（運転席・助手席エアバッグ/運転席・助手席サイドエアバッグ/運転席・助手席ニーエアバッグ/前後席カーテンシールドエアバッグ）
- 雨滴感知式フロントワイパー
- タイヤ空気圧警告表示（マルチインフォメーションディスプレイ表示付）

▌機能装備
- ABS（電子制動力配分制御付）/ブレーキアシスト/VSC
- 緊急ブレーキシグナル
- 汎用ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー（トップテザーアンカー付/セカンドシート左右席）＊16
- ヘッドランプクリーナー
- オートライトシステム
- LEDハイマウントストップランプ
- ウインドシールドガラス（UVカット機能付）
- フロントドアガラス（スーパーUVカット・撥水機能付/遮音タイプ）
- リヤドア・リヤクォーター・バックガラス（UVカット・プライバシー機能付）
- 全ドアワンタッチ式パワーウインドゥ
- 車速感応式オートパワードアロック（衝撃感知ドアロック解除システム付）
- リヤウインドゥデフォッガー

▌インテリア
- 12.3インチTFT液晶式メーター（TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ）
- カラーヘッドアップディスプレイ
- 本革ステアリング（パドルシフト付）＆本革シフトノブ
- ステアリングヒーター
- 可倒式リヤセンターアームレスト（カップホルダー2個付）
- レクサス クライメイト コンシェルジュ（3席独立温度調整オートエアコン）
- ナノイーX

▌その他
- イモビライザー＆侵入センサー付オートアラーム＆傾斜センサー（国土交通省認可品）
- G-Link（初度登録日から3年間無料）＊17　ヘルプネット®（エアバッグ連動タイプ）/レクサスオーナーズデスク/レクサス緊急サポート24/G-Security/コネクティッドナビ（車載ナビ有）/エージェント

等

＊1. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊2. マットグレー塗装ホイールは通常ホイールとメンテナンス方法が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊3. 自転車および自動二輪車は、人が乗車している状態が対象です。
＊4. ドアオープン制御の設定はありません。
＊5. 字光式ナンバープレートは装着できません。
＊6. スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー2個［測距システムあり］/バックドア連動）、スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー2個［測距システムなし］＋カードキー1個/バックドア連動）のどちらかをお選びください。
＊7. ご利用にはG-Linkとデジタルキー（オプションサービス）のご契約が必要です。デジタルキーは、初度登録日から3年間無料で、その後は550円/月（税込）の有料オプションサービスとなります。ご利用には別途デジタルキーアプリのインストールが必要です。デジタルキーについて、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。デジタルキーの動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのURLよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。
＊8. プラスサポート用スマートキー（電子キー）は測距システムあり、測距システムなしのどちらかをお選びください。
＊9. 挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。
＊10. ムーンルーフは非装着も選択できます。
＊11. ETC2.0ユニットは、今後新たに追加されるサービスおよびシステム変更には対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。ETC2.0ユニットは新しいセキュリティ規格に対応しています。また、セットアップ費用が別途必要となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊12. 一般道の信号待ち発進準備案内に対応しています。対象路線の対象交差点にてサービスを受けられます。詳しくはVICSセンターにおたずねください。
＊13. 100W以下の電気製品をご使用ください。ただし、100W以下の電気製品でも正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず製品の取扱説明書をご覧ください。一部自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、条例にふれる可能性がありますのでご注意ください。
＊14. 寒冷地仕様では寒冷地での使用を考慮した装備の充実を図っています。
＊15. プリテンショナー機構は衝突の条件によっては作動しない場合があります。
＊16. チャイルドシートは汎用ISOFIX対応チャイルドシート（新保安基準適合）のみ使用できます。それ以外のチャイルドシートは、シートベルトでの固定となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊17. ご利用にはG-Link契約が必要です。G-Link基本利用料は初度登録日から3年間無料。無料期間終了後（有料）につきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。

※［メーカーオプション］はご注文時に申し受けます。メーカーの工場で装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。
※“version L”“OVERTRAIL＋”はグレード名称ではありません。

SPECIFICATIONS

レクサス GX550 主要諸元表

			GX550	
			“version L”	“OVERTRAIL＋”
			AWD	
■車両型式 ＊1			3BA-VJA252W-GNUZZ	
■寸法				
全長		mm	4,960＊2	4,970＊2
全幅		mm	1,980	2,000
全高		mm	1,920	1,935
ホイールベース		mm	2,850	
トレッド	前/後	mm	1,665/1,665	1,685/1,685
最低地上高＊3		mm	215	225
最小回転半径		m	6.0	
室内長＊3		mm	2,695	1,940
室内幅＊3		mm	1,575	
室内高＊3		mm	1,190＊4	1,190＊5
■重量				
車両重量		kg	2,520＊6＊7	2,490＊6＊8
車両総重量		kg	2,905＊6＊7	2,765＊6＊8
■定員				
乗車定員		名	7	5
■性能				
燃料消費率（国土交通省審査値）	WLTCモード	km/ℓ	7.8	7.9
	市街地モード	km/ℓ	5.4	
	郊外モード	km/ℓ	8.1	8.2
	高速道路モード	km/ℓ	9.4	9.5
主要燃費改善対策			筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング	
■エンジン				
型式			V35A-FTS	
種類			V型6気筒インタークーラー付ツインターボ	
使用燃料			無鉛プレミアムガソリン	
総排気量		ℓ	3.444	
内径×行程		mm	85.5×100.0	
最高出力[NET]		kW(PS)/r.p.m.	260(353)/4,800～5,200	
最大トルク[NET]		N·m(kgf·m)/r.p.m.	650(66.3)/2,000～3,600	
燃料供給装置			EFI(電子制御式燃料噴射装置)	
燃料タンク容量		ℓ	80	

		GX550	
		“version L”	“OVERTRAIL＋”
		AWD	
■駆動装置			
駆動方式		4輪駆動	
トランスミッション		Direct Shift-10AT(電子制御10速オートマチック)	
第1速		4.923	
第2速		3.257	
第3速		2.349	
第4速		1.944	
第5速		1.532	
第6速		1.193	
第7速		1.000	
第8速		0.801	
第9速		0.661	
第10速		0.613	
後退		4.307	
減速比		3.307	
サスペンション	前/後	ダブルウイッシュボーン(スタビライザー付)/トレーリングリンク車軸(スタビライザー付)	
ブレーキ	前/後	ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク	

＊1. 車両型式の末尾に“version L”は(L)、“OVERTRAIL＋”は(O)が付きます。
＊2. ヒッチメンバー(カバー付)を装着した場合、全長は5,015mmとなります。
＊3. 社内測定値。
＊4. パノラマルーフ装着時は1,200mmとなります。
＊5. ムーンルーフを非装着の場合、1,210mmとなります。
＊6. ヒッチメンバー(カバー付)を装着した場合、10kg増加します。
＊7. パノラマルーフを装着した場合、10kg増加します。
＊8. ムーンルーフを非装着した場合、10kg減少します。

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客さまの使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※エンジン出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。

■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値
■製造事業者:トヨタ自動車株式会社

見積シミュレーションはこちら >

PRICE LIST

レクサス GX550 価格表

●：標準装備　（　）内は消費税抜き価格

■ 車両価格表

	GX550	
	“version L”	“OVERTRAIL＋”
メーカー希望小売価格（消費税抜き）＊1	13,150,000 円 （11,954,545円）	12,400,000 円 （11,272,727円）

■ メーカーオプション価格表

▌ボディカラー		
ソニックチタニウム＆ブラック〈M06〉	—	77,000円 （70,000円）
チタニウムカーバイドグレー＆ブラック〈M07〉	—	77,000円 （70,000円）
ムーンデザート＆ブラック〈M08〉	—	77,000円 （70,000円）
テレーンカーキマイカメタリック＆ブラック〈M09〉	—	77,000円 （70,000円）
▌エクステリア		
ヒッチメンバー（カバー付）	77,000円 （70,000円）	
▌機能装備		
ムーンルーフ（チルト＆スライド式）	●	● 非装着の場合－110,000円 （－100,000円）＊2
パノラマルーフ（電動サンシェード・UVカット機能・挟み込み防止機能・調光機能付）	154,000円 （140,000円）	—
▌インテリア		
“マークレビンソン”プレミアムサラウンドサウンドシステム	240,900円 （219,000円）	

＊1.　価格にはオプション価格は含まれません。
＊2.　ムーンルーフ（チルト＆スライド式）は非装着も選択できます。
※価格はスペアタイヤ、タイヤ交換用工具付の価格です。
※価格はメーカー希望小売価格＜'26年9月現在のもの＞で参考価格です。価格はレクサス販売店が独自に定めていますので、詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※保険料、税金（除く消費税）、登録料などの諸費用は別途申し受けます。

■ リサイクル料金表　自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

全車	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
	14,780円	2,800円	—	130円	290円	18,000円

※リサイクル料金は'26年9月時点の金額。
※リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者（譲渡人）は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者（譲受人）からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



P06、P25、P40、P41

Photo: 海外仕様車。



P26、P28、P29（左）

Photo: GX550 “version L”。ボディカラーはマーキュリーグレーマイカ〈1H9〉。ヒッチメンバー（カバー付）、パノラマルーフ（電動サンシェード・UVカット機能・挟み込み防止機能・調光機能付）はメーカーオプション。

P26、P28、P29（右）

Photo: GX550 “OVERTRAIL＋”。ボディカラーのムーンデザート＆ブラック〈M08〉、ヒッチメンバー（カバー付）はメーカーオプション。



P34、P35

Photo: GX550 “OVERTRAIL＋”。インテリアカラーは “OVERTRAIL＋” ブラック。ボディカラーのムーンデザート＆ブラック〈M08〉、“マークレビンソン” プレミアムサラウンドサウンドシステムはメーカーオプション。



P39（左）

Photo: GX550 “version L”。インテリアカラーはブラック。

P39（右）

Photo: GX550 “OVERTRAIL＋”。インテリアカラーは “OVERTRAIL＋” シャトー。



P43

Photo: GX550 “version L”。ボディカラーはソニッククォーツ〈085〉。ヒッチメンバー（カバー付）はメーカーオプション。



P72

Photo: GX550 “version L”。ボディカラーはマーキュリーグレーマイカ〈1H9〉。インテリアカラーはサドルタン。パノラマルーフ（電動サンシェード・UVカット機能・挟み込み防止機能・調光機能付）、“マークレビンソン” プレミアムサラウンドサウンドシステムはメーカーオプション。



P73

Photo: GX550 “OVERTRAIL＋”。インテリアカラーは “OVERTRAIL＋” ブラック。ボディカラーのムーンデザート＆ブラック〈M08〉、“マークレビンソン” プレミアムサラウンドサウンドシステムはメーカーオプション。



P92

Photo: GX550 “OVERTRAIL＋”。ボディカラーのムーンデザート＆ブラック〈M08〉はメーカーオプション。

※写真の一部は合成です。
※室内写真には機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルが含まれています。
※室内写真の計器盤は機能説明のために各ランプを点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。
※ナビゲーション画面および一部のディスプレイは合成です。
※装備および機能紹介の写真の一部はイメージです。
※一部の画像は海外仕様など、実際の仕様と異なる場合があります。
※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。
※L tex（エルテックス）は本革に近い風合いと手触りを追求した合成皮革です。
※Apple CarPlay / Android Auto™をご利用の際は通信料が発生します。契約携帯電話会社の料金プランなどをご確認の上ご利用ください。
※G-Linkセンターとは、車両へのコネクティッドサービス専用に構築したデータセンターのことです。
※G-Linkは、新車・CPO（レクサス認定中古車）をご購入いただいたお客さまに限り、ご提供いたします。ご利用にはG-Linkのご契約が必要です。G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。G-Linkは、LTE（Long Term Evolution）通信を利用しており、電波の届かない場所ではご利用になれません。G-Linkはトヨタコネクティッド（株）およびトヨタ自動車（株）が提供するサービスです。
※ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、ナビデータを車載機に保持しているためG-Linkを契約されない場合でもナビゲーション機能をご利用いただけます（一部機能に制限がかかります）。
※バージョンおよびシートマテリアルにより、シート各部の素材や色が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、タイヤ空気圧警告表示、スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）の電波およびおくだけ充電®の充電動作が医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。タイヤ空気圧警告表示については、各ホイールハウス内に搭載された発信アンテナから約45cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）については、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。おくだけ充電のご使用にあたっては、医師とよくご相談ください。電波発信および充電機能を停止することもできます。詳しくはレクサス販売店にご相談ください。
※本革シートの一部に合成皮革を使用しています。

ABBREVIATION

- ABS: Anti-lock Brake System
- AHS: Adaptive High-beam System
- AVS: Adaptive Variable Suspension system
- AWD: All Wheel Drive
- BSM: Blind Spot Monitor
- D-4ST: Direct-injection 4 stroke gasoline engine Superior version with Turbo
- ELR: Emergency Locking Retractor
- EPS: Electric Power Steering
- E-KDSS: Electronic-Kinetic Dynamic Suspension System
- FCTA: Front Cross Traffic Alert
- LCA: Lane Change Assist
- LDA: Lane Departure Alert
- LTA: Lane Tracing Assist
- OTA: Over The Air
- PDA: Proactive Driving Assist
- PKSB: Parking Support Brake
- PTC: Positive Temperature Coefficient（自己温度制御システム）
- RSA: Road Sign Assist
- SEA: Safe Exit Assist
- SRS: Supplemental Restraint System（乗員保護補助装置）
- TFT: Thin Film Transistor
- TMN: Traffic Movement Notification
- TRC: Traction Control
- VSC: Vehicle Stability Control

TRADEMARK

- G-Linkは東京ガス株式会社の登録商標で、使用許諾を受けて使用しています。
- “ヘルプネット®”は（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- AppleおよびAppleロゴ、Apple CarPlay、iPhoneは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android、Android Auto™は、Google LLCの商標です。
- Bluetooth®はBluetooth SIG,Inc.の商標です。
- ブレードスキャン®は株式会社小糸製作所の登録商標です。
- マークレビンソンおよびClari-Fi™（クラリファイ）はハーマンインターナショナルインダストリーズ社の商標です。
- ハイレゾオーディオロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。
- ウルトラスエード®は東レ株式会社の登録商標です。
- 「VICS」は一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 「おくだけ充電」、「おくだけ充電」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- トルセン®、TORSEN®は（株）ジェイテクトの登録商標です。
- nanoe、ナノイーおよびnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。
- 「ITS Connect」は、ITS Connect推進協議会の登録商標です。
- “LEXUS” “D-4ST” “VSC” “TRC”はトヨタ自動車（株）の商標です。